

平成 29 年度

新入生の生活に関する調査報告書

平成 29 年 9 月

お茶の水女子大学

はじめに

この報告書は、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センターが平成 23 年度から実施している「新入学生（学部）とその保護者を対象に実施した調査」の平成 29 年度版です。

調査の目的は、学生本人および保護者の大学へのニーズを明らかにすることによって、本学の学生・キャリア支援活動をより効果的に行うための基礎資料とすることであり、新入学生およびその保護者を調査対象として実施してきました。調査内容は、出身高校、家族、卒業後の進路志望、学生生活の経済的基礎、学生支援活動への期待（入学生調査）、家計支持者の職業、世帯年収、学歴、学生支援活動への期待（保護者調査）などです。

この調査は、学生の保護者を対象とした学内で唯一の公的調査として位置づけられており、大学としてより充実した学生生活を支援する上での貴重な資料として活用させていただいております。

末筆となりますが、本調査にご協力してくださった本年度新入学生とその保護者の皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 29 年 9 月吉日

国立大学法人 お茶の水女子大学
理事 副学長
学生・キャリア支援センター長
三浦 徹

平成 29 年度新入生調査報告書のポイント

1. **新入生の 86.6%は「お茶大を第一志望」として入学している**
 - ・本学が第一志望である新入生は 86.6%（昨年度より 4.0 ポイント減少）
2. **特にこの 1 年で頑張ろうと思う活動は「大学の授業」と「友達との交流」である**
 - ・この 1 年で頑張ろうと思う活動（複数回答）は、「大学の授業」99.3%、「友達との交流」77.0%が多い。今回調査から項目に加えた「留学」と回答した新入生は、25.2%である。
3. **卒業後の進路希望として、大学院進学希望が全体で 49%であり、理学部は特に多い**
 - ・卒業後の進路希望（複数回答）は、「民間企業に就職する」57.7%、「大学院などに進学する（海外含む）」49.0%、「公務員」33.7%、「教師など専門職」24.5%である。
4. **実家から通学する学生は 54.2%、自宅外学生は 45.8%であり、仕送りがない学生は約 1 割**
 - ・入学後の住居の予定として、実家から通学 54.2%、賃貸アパートやマンション居住予定は 34.2%、国際学生宿舎は 17.8%、お茶大 SCC は 10.4%である。
 - ・実家から「仕送りはない」と回答した学生は 8.7%（昨年度より 1.2 ポイント減少）
5. **大学に期待する学生支援活動は「就職支援」**
 - ・大学の学生支援活動への期待（複数回答）は、「就職支援」に期待する人が 79.2%と最も多く、次いで「進路相談」66.6%である。保護者調査でも「就職支援」への期待は 85.5%と高い。

目次

調査の概要

第1章 「新入生調査」の結果

- (1) 出身高校
- (2) 家族構成
- (3) これまでの進路選択や学生生活
- (4) 大学入学後の生活の予定
- (5) 将来の進路

第2章 「新入生の保護者調査」の結果

- (1) 家庭の暮らし向き
- (2) 親の職業・学歴
- (3) 大學生活の不安・心配事

第3章 新入生および保護者調査の結果 ―奨学金・学生寮に関するクロス集計―

- (1) 問題・目的
- (2) 奨学金に関する結果
- (3) 学生寮に関する結果
- (4) 奨学金と学生寮について、過年度との比較

第4章 考察および今後の課題

- (1) 平成29年度新入生の特徴と考察
- (2) 奨学金と学生寮に関する考察
- (3) 学生・キャリア支援における課題

付表

1. 調査票（新入生調査）
2. 調査票（保護者調査）
3. 基礎集計表（新入生調査）
4. 基礎集計表（保護者調査）

執筆担当者

三浦 徹（副学長、学生・キャリア支援センター センター長）
担当：はじめに

中川 まり（学生・キャリア支援センター 准教授）
担当：1章、2章、4章（1）（3）、

三浦 憂紀（学生・キャリア支援センター アソシエイトフェロー）
担当：調査の概要、3章、4章（2）、付表3、付表4

調査の概要

- **目的：**

入学を予定している学生の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的とし、次の4点から構成される。

1. 新入生の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を、入学時から行うための情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定し、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭・進路などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

- **調査時期：**2017年3月

- **調査方法：**

質問紙調査票の郵送による送付・返送である。一般入試合格者および保護者に対しては、他の入学手続関係書類に調査票および調査票返送用封筒を同封し、他の書類とともに回答の返送を依頼した。その他の選考による合格者および保護者には、別途、調査票および調査返送用封筒を送付し、返送を求めた。

- **分析対象：**

回答をいただいたが、調査データの使用許可を得ることができなかった回答者を分析対象者から除いた。よって対象者は、平成29年度学部入学者406名、保護者409名である。調査別の詳細は以下の通りである。

1. 「新入生を対象とした調査（新入生調査）」

平成29年度学部入学者486名。有効回答数406名（入学者のうち83.5%）。

学部別内訳	文教育学部	163名(入学者のうち76.8%)
	理学部	125名(同89.9%)
	生活科学部	117名(同86.6%)
	学部不明	1名

2. 「新入生の保護者を対象とした調査（新入生保護者調査）」

平成29年度学部入学生の保護者486名。有効回答数409名（入学者のうち84.1%）。

- **実施主体：**

国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

- **個人情報について：**

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めている。

（詳細は、http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html 参照）

調査票は、大学で付けたID番号で管理をし、回答者の氏名や住所などは記載せずに回答・返送を求めた。

参考文献

日本学生支援機構（2016）

「平成 26 年度 学生生活調査」

http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/12.html

お茶の水女子大学（2016）

「平成 28 年度 新入生の生活に関する調査報告書」

総務省統計局（2011）

『平成 22 年国勢調査』

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センター（2008）

「全国大学生調査 第一次～第三次調査 基礎集計表」

http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/resource/kiso2008_01.pdf

全国大学生生活協同組合連合会（2017）

「第 52 回 学生生活実態調査の概要報告」

<http://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

第1章 「新入生調査」の結果

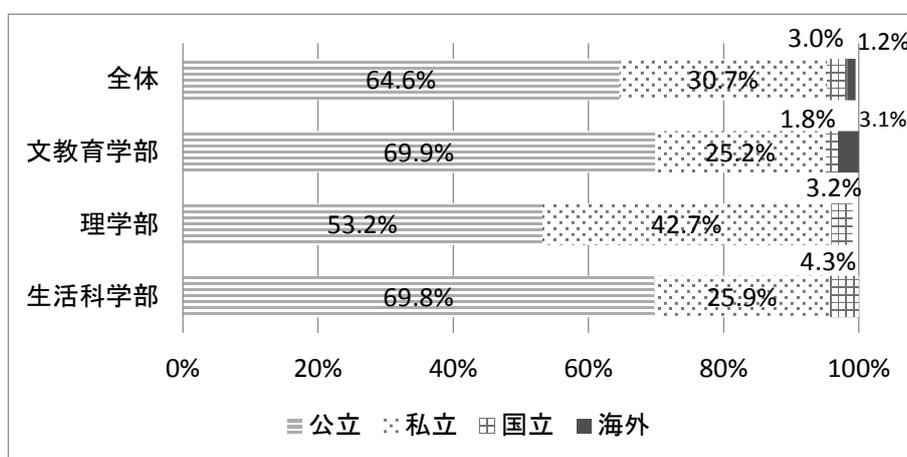
(1) 出身高校

はじめに出身高校について①設置者、②種類、③学科を示す。図表では新入生全体と学部別の内訳を示した。

① 設置者

図表 1-1 に出身高校の設置者についての結果を示す。出身高校の設置者について「国立」「公立」「私立」「海外」「高等学校卒業程度認定試験（高卒認定）」から選択してもらい回答を得た。

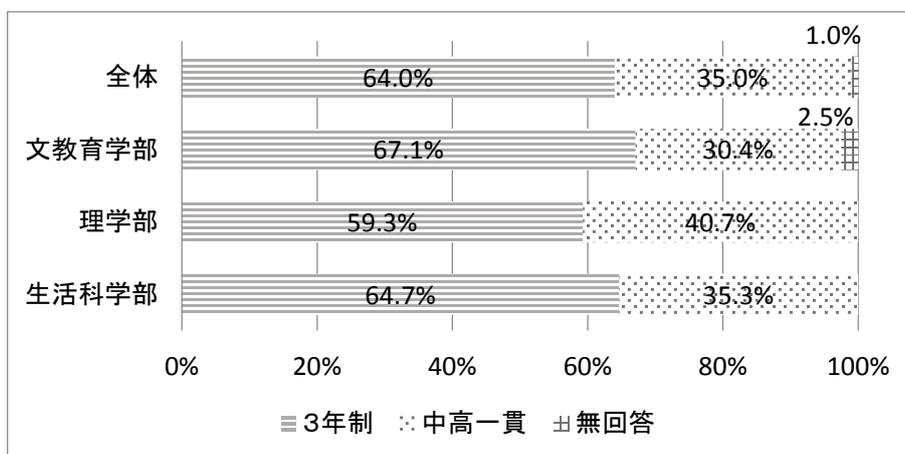
全体では、「公立」64.6%、「私立」30.7%、「国立」3.0%、「海外」1.2%であった。学部別では、文教育学部と生活科学部は「公立」の割合が高く、69.9%と69.8%である。この傾向は、平成28年度および平成27年度新入生でも同様であった（お茶の水女子大学 2016）。



図表 1-1 出身高校の設置者

② 種類

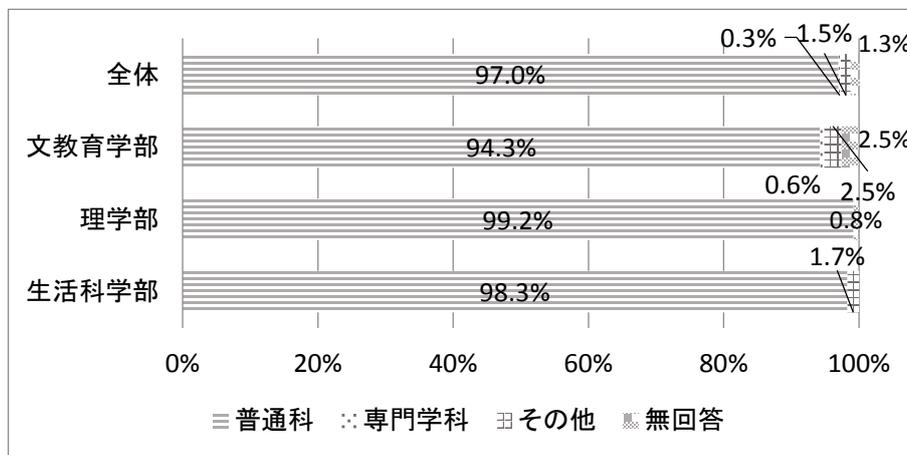
図表 1-2 に出身高校の種類について、「3年制」「中高一貫」の別に示す。全体では、「3年制」が64.0%、「中高一貫」35.0%と昨年とほぼ同様であった。



図表 1-2 出身高校の種類

③ 学科

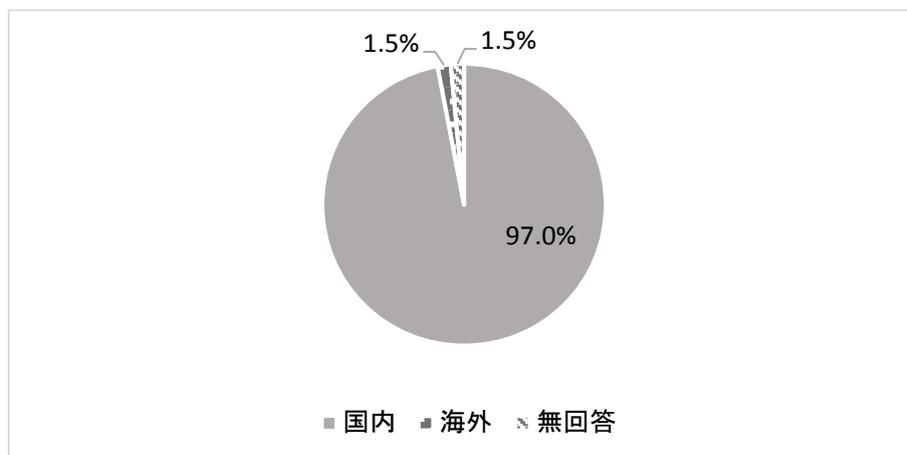
図表 1-3 に出身高校の学科を「普通科（理数科も含む）」「総合学科」「専門学科（商業・工業、家庭、農業科など）」「その他」別に示す。全体の 97.0%が「普通科」であり、学部別でも大きな差異はない。



図表 1-3 出身高校の学科

④ 出身高校の所在地

図表 1-4 に出身高校の所在地を「国内」「海外」別に示す。全体の 97.0%が「国内」であり、1.5%が海外の高校を卒業している。



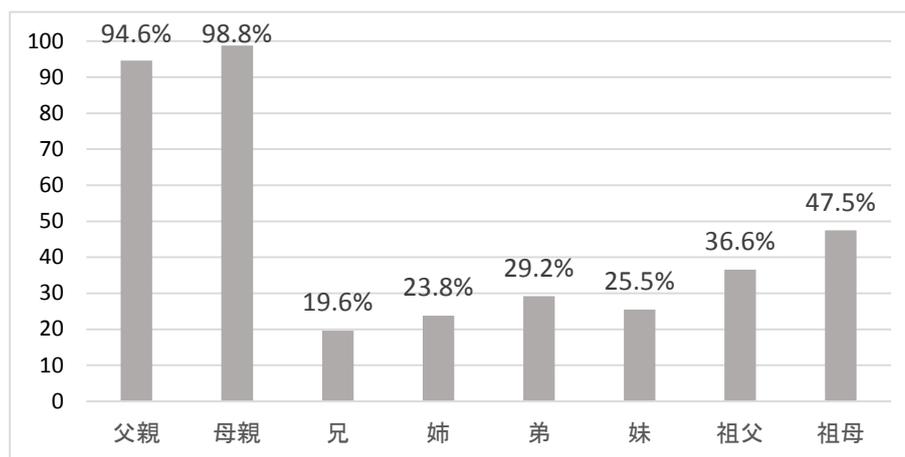
図表 1-4 出身高校の所在地

(2) 家族構成

新入生の家族構成について、①家族構成、②高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数、④私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数について示す。

① 家族構成

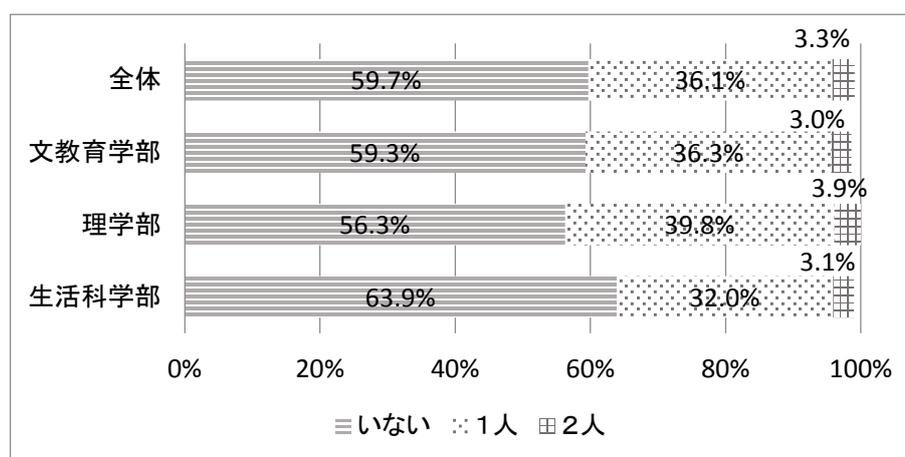
図表 2-1 に新入生の家族構成に関する結果を示す。同居を問わず家族構成について、複数選択可として回答を得た。今年度の新入生の家族構成について、祖母がいる学生は 47.5%と、平成 28 年度新入生での 44.0%と比較して多い割合である。



図表 2-1 家族構成

② 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-2 は、大学（大学院）・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）に正規の学生として在学する、または、来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）を尋ねた結果である。全体の 59.7%が「いない」、1人」は 36.1%、「2人」が 3.3%である。平成 28 年度も同様の傾向であった。

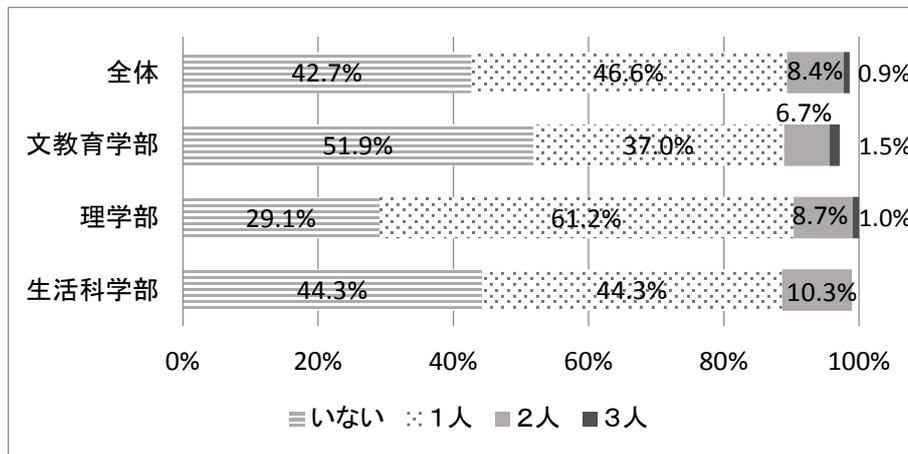


図表 2-2 高等教育機関在籍（予定含む）のきょうだい数

③ 私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数

図表 2-3 は、私立の大学（大学院）・短期大学・高校・中学・小学校に正規の学生として在学する、または来年度から進学予定のきょうだい数（自分を除く）について尋ねた結果である。

全体の 42.7%が「いない」、46.6%が「1人」、8.4%が「2人」である。理学部の新入生は、私立学校在籍するきょうだいをもつ人の割合が他学部よりも多い。



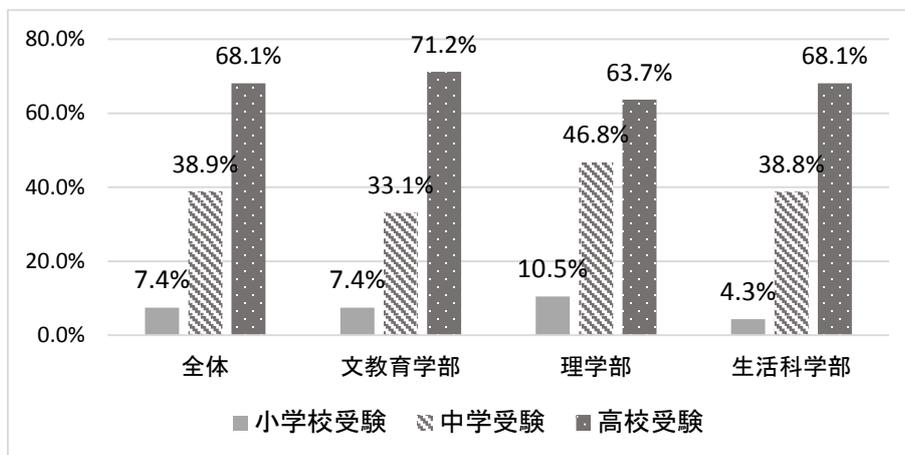
図表 2-3 私立学校在籍（予定含む）のきょうだい数

(3) これまでの進路選択や学生生活

本節では、新入生のこれまでの進路選択や学生生活について、①これまでの受験経験、②本学の受験を決めた時期、③本学の志望の度合い、④高校卒業から現在までの間に経験したことについて示す。

① これまでの受験経験

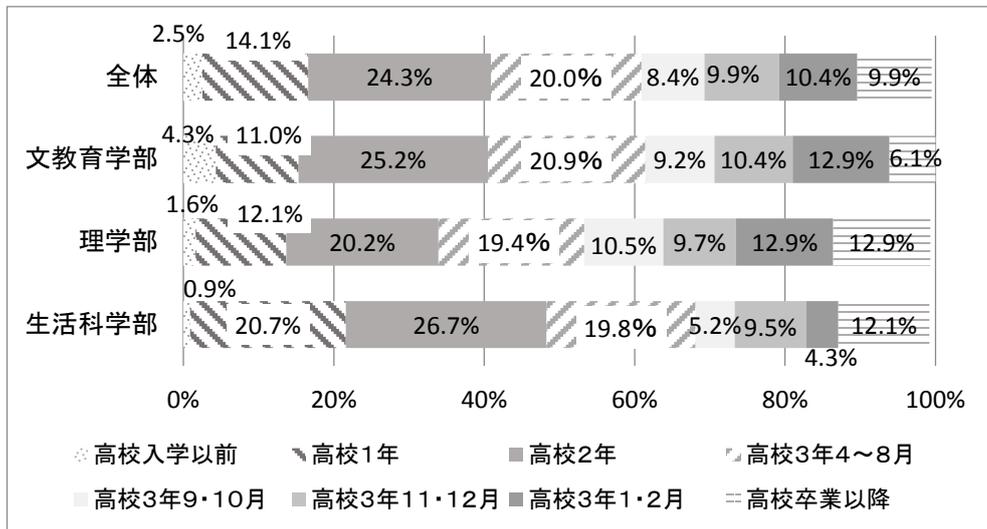
図表 3-1 は、中学校の受験の経験について尋ねた結果である。全体の 7.4%が小学校受験を、全体の 38.9%が中学受験を経験し、高校受験は全体の 68.1%が経験している。この傾向は、平成 28 年度新入生でも同様に見られる。「第 2 回 大学生の学習・生活実態調査」(Benesse 教育研究開発センター 2013)における大学生の中学受験経験率は 27.8%と比較すると、本学の新入生の中学受験経験率は高い方に偏っている。



図表 3-1 これまでの受験経験

② 本学の受験を決めた時期

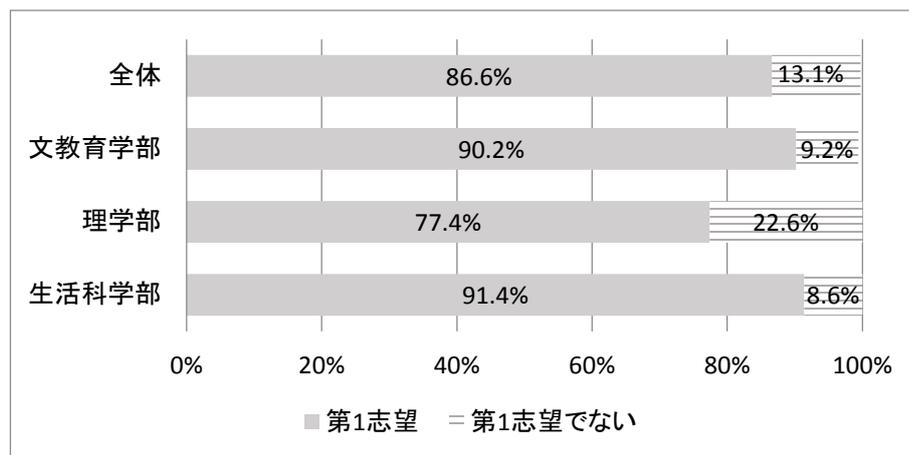
本学の受験を決めた時期について、その時期を尋ねた結果が図表 3-2 である。全体では「高校 2 年」が 24.3%と最も高く、「高校 3 年 4～8 月」20.0%がそれに続いている。学部別では、理学部は高校 3 年の 9 月以降に本学の受験を決めた割合が多いことが特徴である。



図表 3-2 本学の受験を決めた時期

③ 本学の志望の度合い

図表 3-3 に、受験時に本学が第一志望であったか否かについて尋ねた結果を示す。全体でみると 86.6%の新入生が本学を第一志望としており、昨年度 90.6%より 4.0 ポイント程度低下した（お茶の水女子大学 2016）。学部別では、文教育学部、生活科学部は 9 割以上の新生が本学を第一志望と回答しているが、これに対して理学部での第一志望の割合は 77.4%と低い。



図表 3-3 本学の志望の度合い

④ 高校卒業から現在までの間に経験したこと

高校卒業から現在までに経験したことについて、「大学生の学習・生活実態調査」を参考に、複数回答可として尋ねた結果が図表 3-4 である。

「浪人」は全体で14.6%であり、「この中にはない」が全体の72.8%である。浪人は平成28年度では16.8%で、今年度は2.2ポイント減である。学部別では、浪人の割合が異なり、文教育学部が5.5%と少なく、生活科学部は22.4%、理学部は19.4%である。平成27年度と比べると、生活科学部では浪人の占める割合が17.4%から22.4%と5ポイント増加し、文教育学部は5.7ポイント、理学部は6.1ポイント減少した。今年度の新入生には、高校卒業から調査時点までの間に海外留学をしたものはいなかった。

図表 3-4 高校卒業から現在までの間に経験したこと

	他の高等教育機関 入学	浪人	この中には ない	無回答
全体	1.2%	14.6%	72.8%	11.9%
文教育学部	0.6%	5.5%	81.6%	12.3%
理学部	0.0%	19.4%	64.5%	16.1%
生活科学部	3.4%	22.4%	69.0%	6.9%

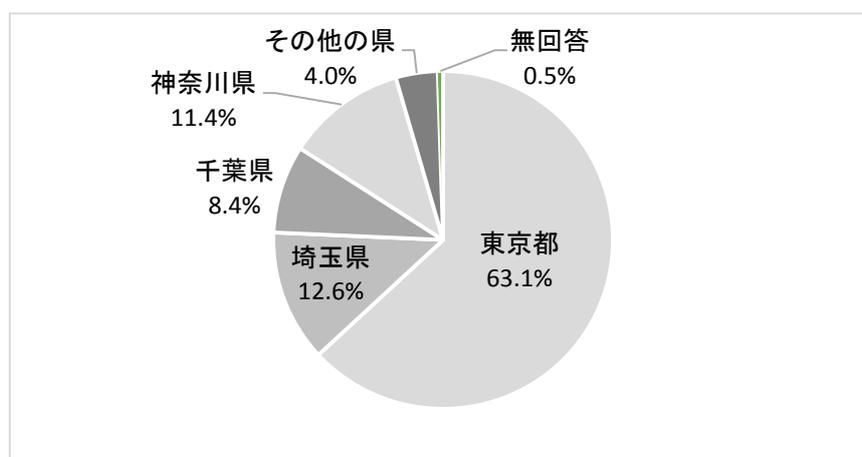
(4) 大学入学後の生活の予定

本節では、新入生の大学入学後の生活の予定についての調査結果を示す。

調査項目は、①大学入学後に居住予定の都道府県、②大学入学後の住居の予定、③1か月の家賃の予算、④1か月あたりの仕送り予定金額、⑤大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動、⑥アルバイト活動の予定、⑦授業料の負担予定、⑧大学生活での不安・心配事、⑨本学の学生支援活動への期待についてである。

① 大学入学後に居住予定の都道府県

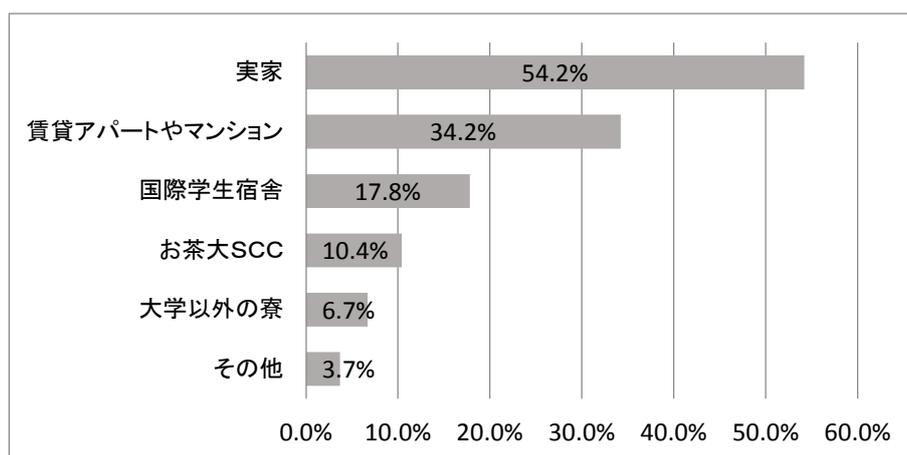
図表 4-1 に大学入学後に居住予定の都道府県について示す。全体では、東京都が63.1%と最も高く、埼玉県、千葉県、神奈川県と続き、例年と同様の傾向である。



図表 4-1 大学入学後に居住予定の都道府県

② 大学入学後の住居の予定

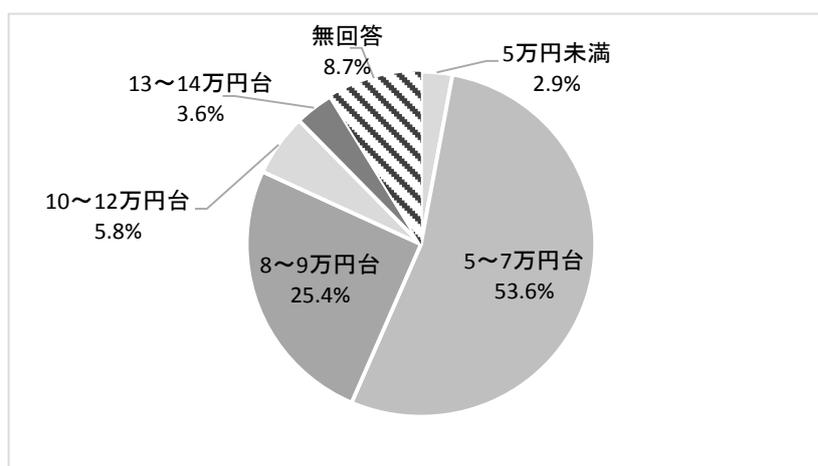
図表 4-2 は、大学入学後に予定している住居について、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「実家」が 54.2%を占め、次いで、「賃貸アパートやマンション」34.2%、「国際学生宿舎」17.8%、「お茶大 SCC」10.4%といった学生寮が続いている。この結果は平成 28 年度新入生では実家と回答した人は 57.1%であり、今年度は 54.2%とやや実家外の割合が多くなった（お茶の水女子大学 2016）。



図表 4-2 大学入学後に予定している住居

③ 1か月の家賃（管理費込み）の予算

図表 4-3 は、1 か月の家賃（管理費込み）の予算（千円未満は四捨五入）について、「賃貸アパートやマンション」に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7 万円」が 53.6%と最も多く、次いで「8～9 万円」25.4%である。両者を合わせると約 8 割の学生が 1 か月の家賃として 5～9 万円を予定していることがわかる。平成 28 年度新入生では「5～7 万円」は 60.1%、「8～9 万円」は 22.3%であり、今年度は「8～9 万円」の高い家賃を予定している学生が多い。

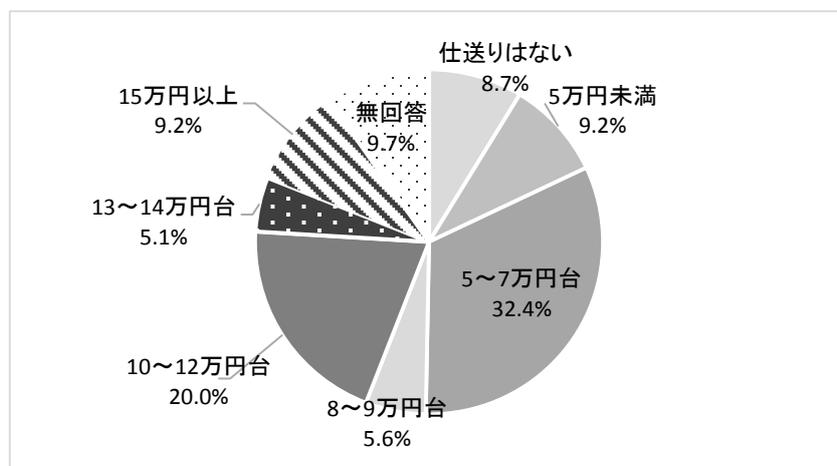


図表 4-3 1か月の家賃（管理費込み）の予算

④ 1か月あたりの仕送り予定金額

図表 4-4 は、1か月あたりの仕送り予定金額（万円未満は四捨五入）について、「実家」以外に居住予定の者に尋ねた結果である。「5～7万円」が32.4%と最も多く、次いで「10～12万円」20.0%という結果である。一方で「仕送りはない」8.7%を含め、仕送り予定が10万円未満の学生は55.9%である。「仕送りがない」新生は、平成27年度は4.8%、平成28年度は9.9%、今年度は8.7%見られた（お茶の水女子大学 2016）。

なお「第52回 学生生活実態調査の概要報告」（全国大学生生活協同組合連合会 2017）によれば、下宿生のうち、仕送り金額が5～10万円の学生は38.8%と最も多く、仕送り10万円以上29.2%を超え、減少傾向である。そして仕送り0の割合は8.0%、5万円未満は15.8%である。この調査と本調査を比較すると、自宅外に居住する学生の仕送り金額は、全国の大学生の平均的な水準であるといえる。

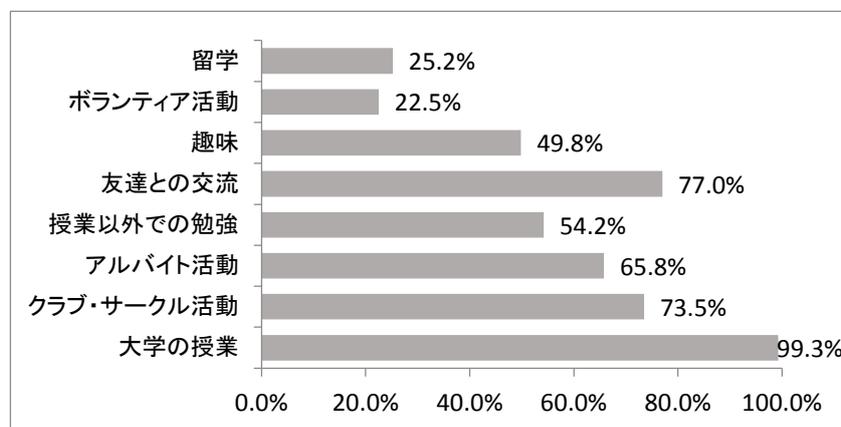


図表 4-4 1か月あたりの仕送り予定金額

⑤ 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動

図表 4-5 に、入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動について、複数回答可として尋ねた結果を示す。「大学の授業」が99.3%と例年通り最も高い。続いて、「友達との交流」77.0%、「クラブ・サークル活動」が73.5%と全体の7割を超えている。

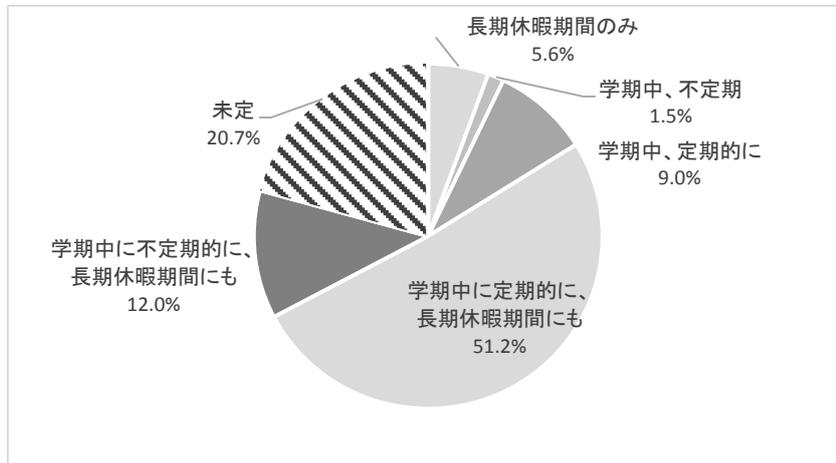
今年度の調査から新たに「留学」を加えたところ、新生のうち25.2%が留学について力を入れたいと回答している。



図表 4-5 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動

⑥ アルバイト活動の予定

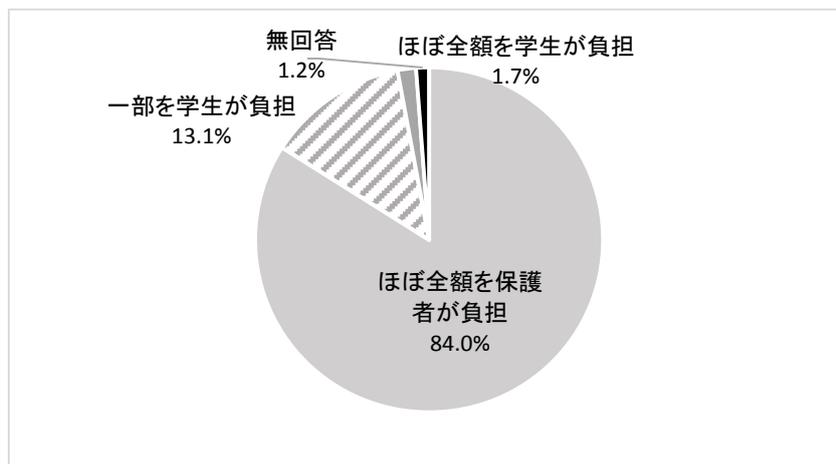
図表 4-6 は、入学後のアルバイト活動の予定について、その予定のある者に対して尋ねた結果である。最も多いのは「学期中に定期的に、長期休暇期間にも」51.2%と昨年度 48.7%より 2.5ポイント増加した。また学期中に定期的なアルバイト活動を予定している学生は約 6 割であり、昨年と同様の傾向である。



図表 4-6 アルバイト活動をする予定の時期や頻度

⑦ 授業料の負担予定

図表 4-7 は、授業料の負担予定について尋ねた結果である。「ほぼ全額を保護者が負担」が 84.0%である。「一部を学生が負担（奨学金、アルバイトなどを含む）」は、13.1%であった。「ほぼ全額を学生が負担」する新入生は 1.7%である。



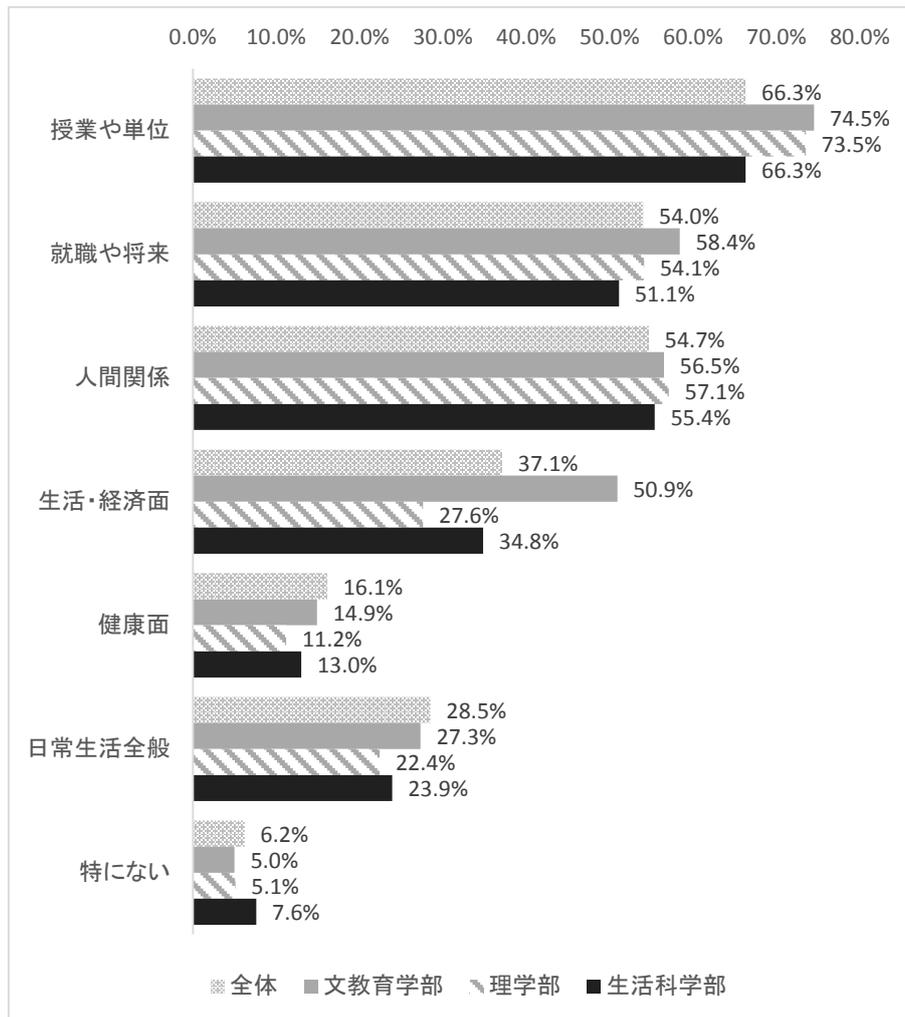
図表 4-7 授業料の負担予定

⑧ 大学生活での不安・心配事

図表 4-8 は、全国大学生生活協同組合連合会が実施している「保護者に聞く新入生調査」の調査項目を参考に、大学生活が始まって心配なことについて複数回答可として尋ねた結果である。

「特になし」は全体の 6.2%であり、学部別では生活科学部では 7.6%と高い。最も多い項目は「授業や単位」が全体の 66.3%であり、「人間関係」54.7%、「就職や将来」54.0%がそれに続いている。これら上位 3 項目の割合は例年ほぼ同様である。学部別では、文教育学部は「生活・経済面」

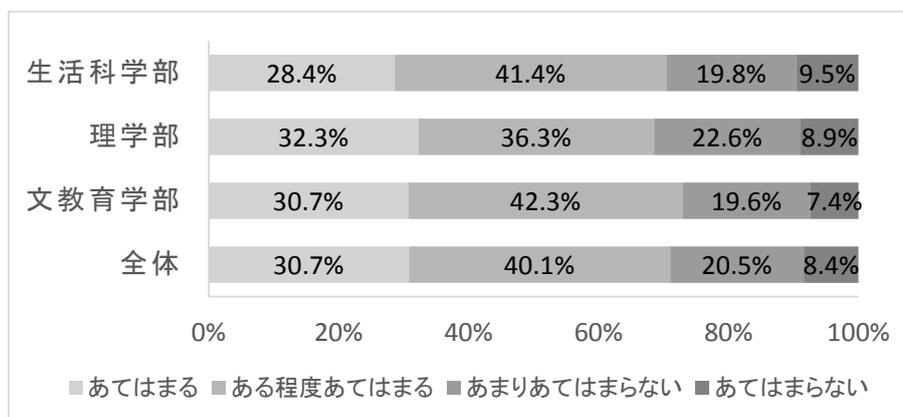
についての回答が 50.9%と他学部より高い。



図表 4-8 大学生活が始まって心配なこと

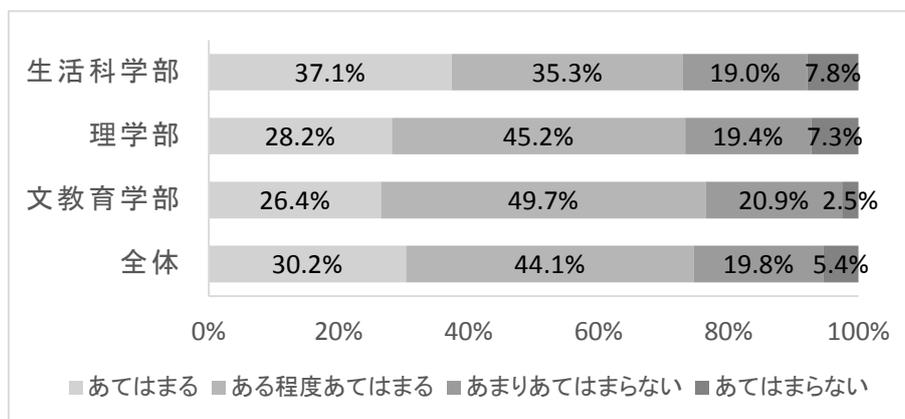
さらに図表 4-9 から図表 4-12 に大学入学後の不安・心配事に対する今の気持ちについて 4 件法で尋ねた結果を示す。

図 4-9「充実したキャンパスライフを送れるか」については、心配事として「あてはまる」「ある程度あてはまる」と回答した新生は、全体で 30.7%、40.1%であった。

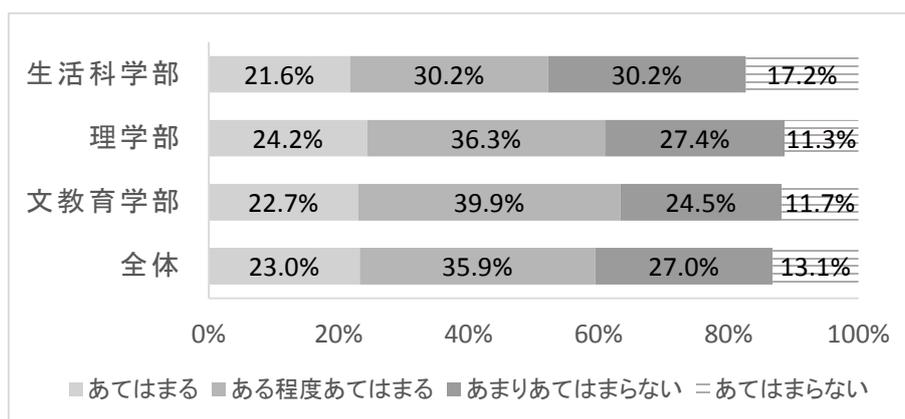


図表 4-9 充実したキャンパスライフを送れるか

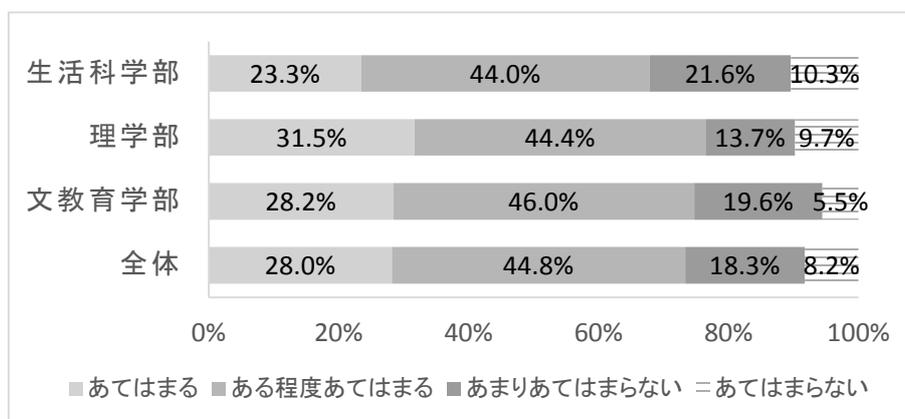
図表 4-10 「授業についていけるか」を不安に思う割合は、全体で「あてはまる」30.2%、「ある程度あてはまる」44.1%と最も高い。図表 4-11 「将来の目標が見つかるか」については、全体で「あてはまる」23.0%、「ある程度あてはまる」35.9%である。文教育学部では、「あてはまる」と「ある程度あてはまる」がやや高い。図表 4-12 「卒業後ちゃんと就職できるか」については、理学部の該当率が高く「あてはまる」31.5%、「ある程度あてはまる」44.4%である。



図表 4-10 授業についていけるか



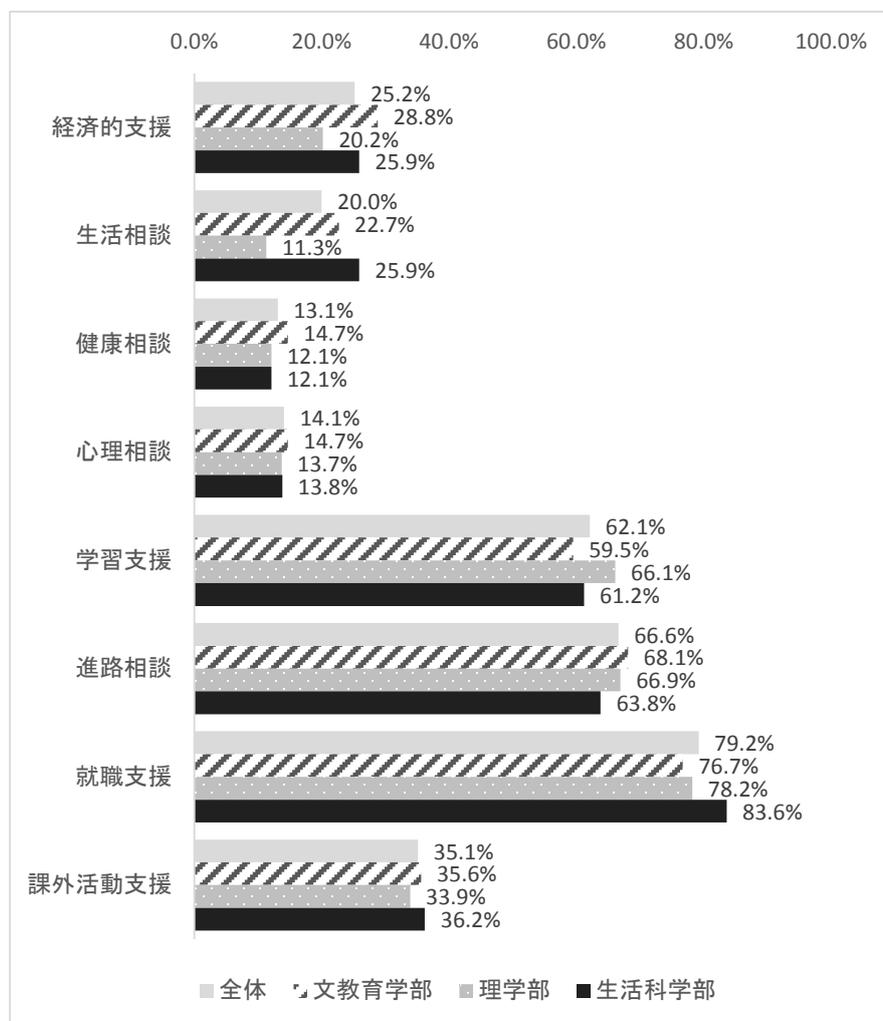
図表 4-11 将来の目標が見つかるか



図表 4-12 卒業後ちゃんと就職できるか

⑨ 本学の学生支援活動への期待

図表 4-13 は、本学の学生支援活動に期待することについて、複数回答可として尋ねた結果である。全体では、「就職支援」が 79.2%と最も高く、次いで「進路相談」66.6%、「学習支援」62.1%となっている。学部別では、文教育学部は「進路相談」を期待する学生が 68.1%と、全体より高い割合である。生活科学部は「経済的支援」25.9%、「就職支援」83.6%などが全体に比較して高い。理学部では、「学習支援」66.1%と他学部比べて期待する学生が多い割合である。



図表 4-13 本学の学生支援活動への期待

(5) 将来の進路

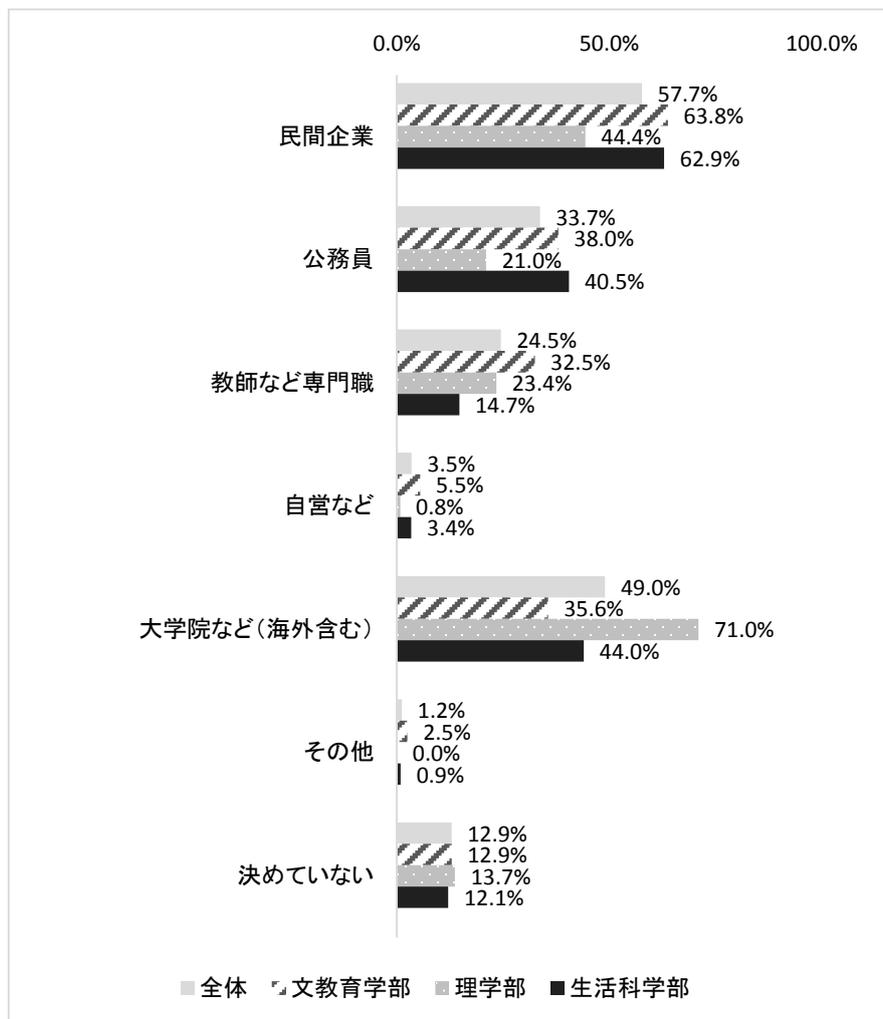
本節では、新入生の将来の進路について①大学卒業後の進路希望、②大学卒業後のキャリアについての考え、③就職や将来に関する親の関与について示す。

① 大学卒業後の進路希望

図表 5-1 は、大学卒業後の進路希望について、複数回答可として尋ねたものである。

全体でみると、「民間企業」が最も高く 57.7%、「大学院など（海外含む）」がそれに続いて 49.0%であった。ただし「大学院など（海外含む）」は学部による差異も大きく、理学部では 71.0%であるが、文教育学部では 35.6%程度であった。これらの傾向は、平成 28 年度新入生でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。

「公務員」を志望する新入生は全体の 33.7%、「教師など専門職」を志望する新入生は全体の 24.5%である。学部別の特徴として、公務員をする新入生は、生活科学部、文教育学部に多く、教師など専門職は圧倒的に文教育学部が他学部比べて多い割合である。そして、進路を決めていない学生も 12.9%ほど見受けられる。

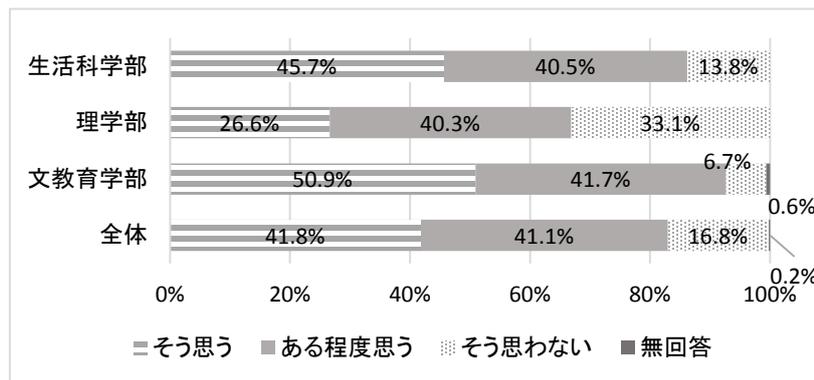


図表 5-1 大学卒業後の進路希望

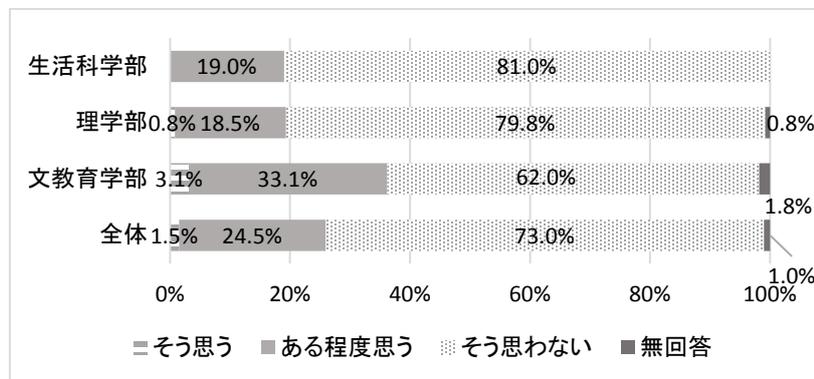
② 大学卒業後のキャリアについての考え

全国大学生調査コンソーシアム/東京大学 大学経営・政策研究センターが2007年に実施した「全国大学生調査」を参考に、「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する9項目について3件法で尋ねた結果のうち、6項目の結果を図表5-2から図表5-7に示す。

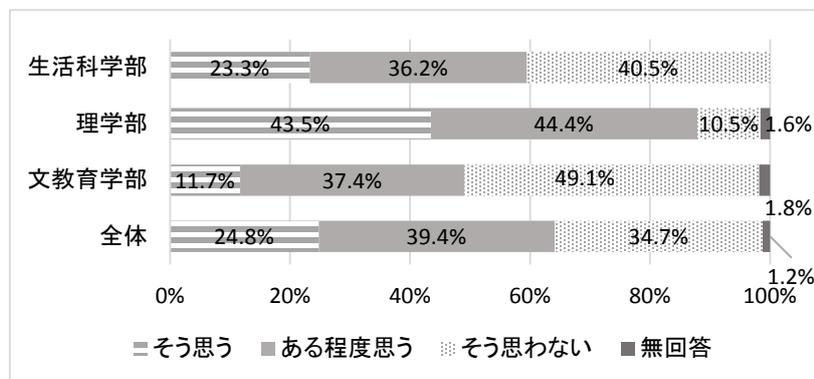
図表5-2から図表5-5は、「卒業後の進路」について尋ねた結果である。「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」について、全体で「そう思う」「ある程度思う」と回答した人（該当率）は82.9%である。一方で「すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない」の該当率は26.0%である。この結果は、これまでの新入生と同様の傾向であり、新入生が大学卒業後すぐに正規雇用を志向していることがうかがえる（お茶の水女子大学 2016）。



図表 5-2 すぐに就職して正社員・正規の職員になる



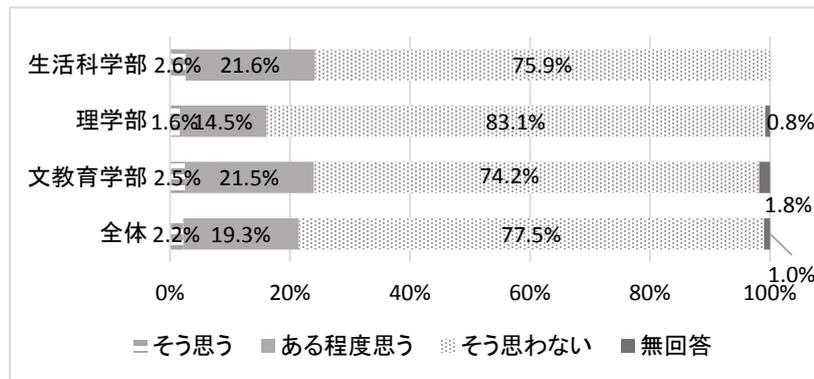
図表 5-3 すぐに就職するが正社員・正規の職員にこだわらない



図表 5-4 すぐに大学院などに進学する

「すぐに大学院などに進学する」の全体での該当率は64.2%である。特に理学部が高く、理学部の該当率は87.9%であり、これまでの新入生と同様である（お茶の水女子大学 2016）。

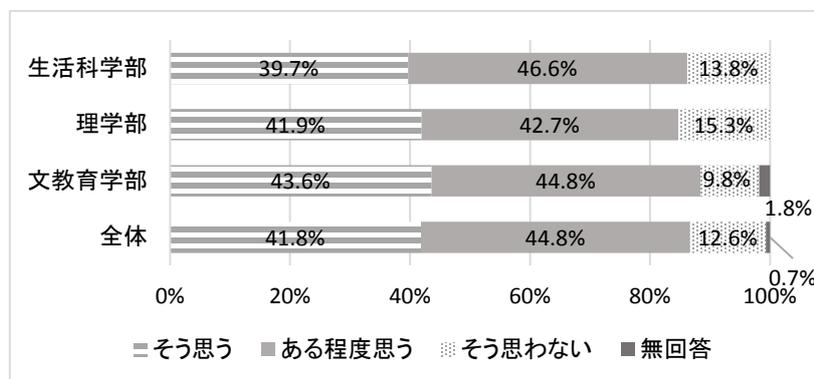
「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」は、全体での該当率は21.5%と例年に比較して低い割合である。「そう思わない」と回答した新入生の割合は理学部が83.1%と他学部と比較して高いことが特徴である。



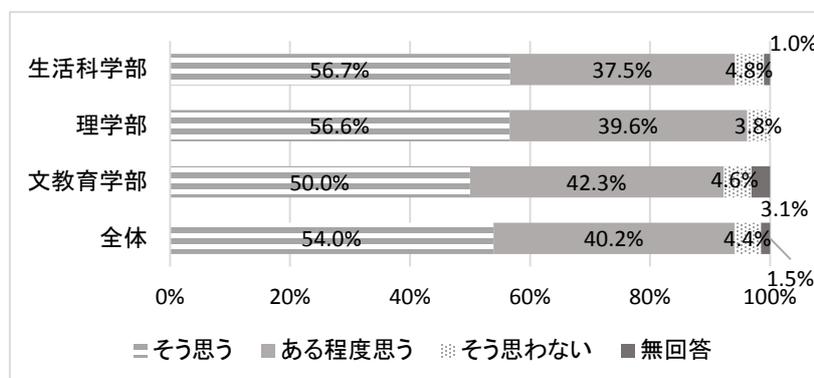
図表 5-5 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない

次に図表 5-6 と図表 5-7 は、「就職後の勤務・退職」について尋ねた結果である。

いずれの項目も学部による大きな差異はみられず、「最初の就職先にできるだけ長く勤める」に該当する人は全体の86.6%に及んでいる。新入生の時点では初職を継続することの意識は高い。



図表 5-6 最初の就職先にできるだけ長く勤める



図表 5-7 結婚・出産後も仕事を続ける

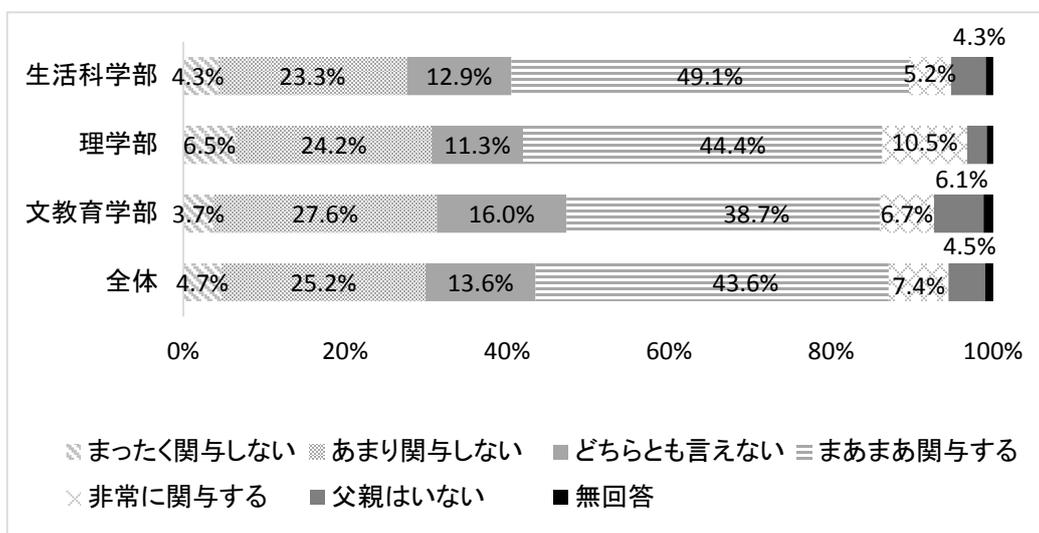
図表 5-7 「結婚・出産後も仕事を続ける」の該当率は全体で 94.2%であり、「そう思わない」に回答した人は全体では 4.4%である。結婚・出産後も就業を継続する意志があるものが 9 割以上を占める。昨年度までの調査項目は「結婚・出産したら仕事をやめる」としており、平成 28 年度では「そう思わない」と回答した新生入生は 70.7%であった。これと比較すると今年度の新生入生は結婚・出産を経ても就業継続をする意思をもつものの割合が多いことが特徴である。

③ 就職や将来に関する親の関与

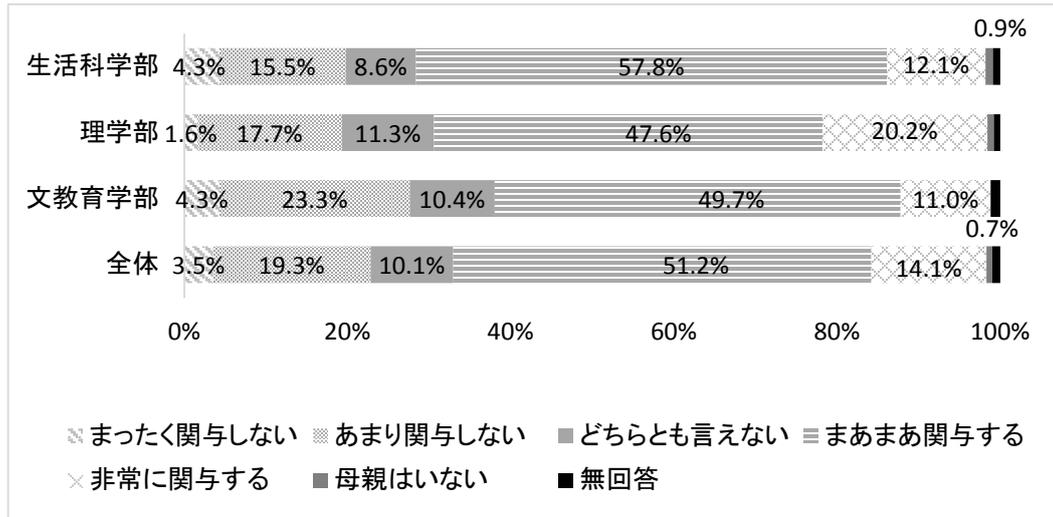
就職や将来に関する親の関与について「あなたのご両親は、あなたの就職や将来のことにに関して、どれくらい関与しますか。」として 5 件法で尋ねた。図表 5-8 に父親の関与についての結果を、図表 5-9 に母親の関与についての結果を示す。

はじめに父親の関与について、平成 29 年度新生入生は、就職や将来のことにに関して、全体の 51.0%に父親の関与がある（「非常に関与する」＋「まあまあ関与する」）と回答している。同様に母親に関しては、全体の 65.3%に母親の関与がある。父親、母親ともに半数以上の割合で関与していることから、大学卒業後の進路に対する支援活動については、保護者への進路支援活動の説明および保護者が進路選択に果たす役割などについて大学から情報を提供することが有益であることが考えられた。

学部別では、理学部と生活科学部で親の関与する割合が多い。理学部では、父親が関与する割合が 54.9%と多く、母親の関与の割合も 67.8%と多い。特に理学部では父親および母親が「非常に関与する」の割合が多いことが特徴である。同様に生活科学部でも親が関与する割合が高く、父親の関与する割合が 54.3%、母親が関与する割合も 69.9%と高いことが特徴である。



図表 5-8 就職や将来のことに関する父親の関与



図表 5-9 就職や将来のことに関する母親の関与

第2章「新入生の保護者調査」の結果

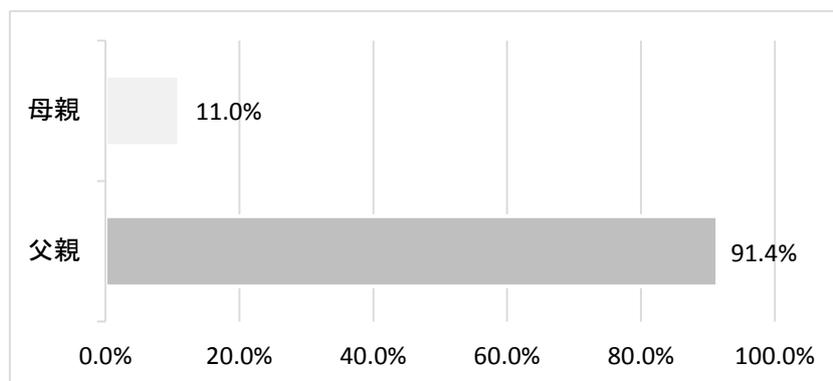
第2章では、新入生の保護者409名に対する調査結果について報告する。

(1) 家庭の暮らし向き

はじめに、新入生の家庭の暮らし向きについて、①主な家計支持者、②家計支持者の職業、③家計支持者の年収、④世帯年収、⑤大学入学後の家庭の暮らし向きについて示す。

① 主な家計支持者

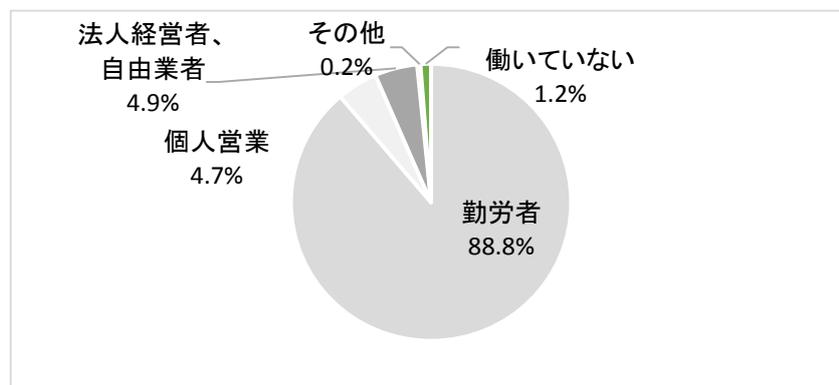
図表 1-1 は、新入生の主な家計支持者について尋ねた結果である。主な家計支持者は、全体の91.4%が「父親」、11.0%が「母親」である。複数回答を含むため、父親と母親と両方を回答した場合が含まれている。



図表 1-1 家計支持者

② 家計支持者の職業

図表 1-2 に主な家計支持者の職業について示す。家計支持者の職業は「勤労者」が全体の88.8%を占め、次いで「法人経営者、自由業者」が4.9%である。平成28年度新入生の保護者も、同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学2016）。

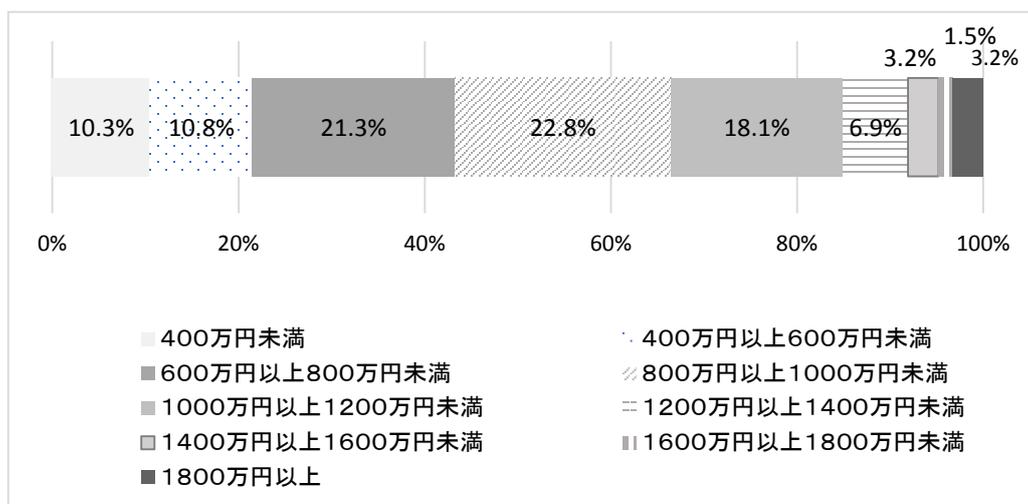


図表 1-2 家計支持者の職業

③ 家計支持者の年収

図表 1-3 に新入生の家計支持者の年収について示す。「800万円以上1000万円未満」22.8%が最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」21.3%、「1000万円以上1200万円未満」18.1%と続

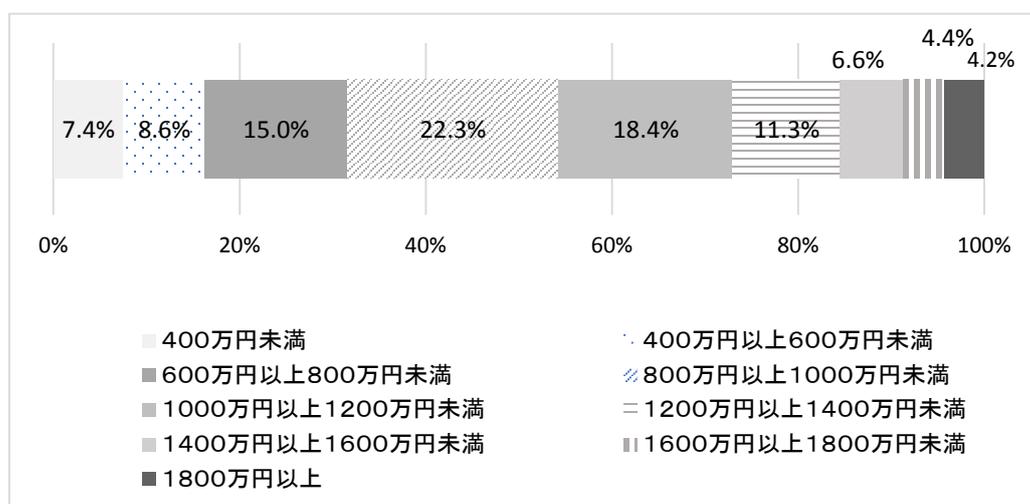
いている。この傾向は平成 28 年度新入生の保護者とほぼ同様である（お茶の水女子大学 2017）。



図表 1-3 家計支持者の年収

④ 世帯年収

さらに、新入生の家庭の世帯年収について、家計支持者同様に尋ねた結果が図表 1-4 である。全体で見ると、「800 万円以上 1000 万円未満」が 22.3%と最も高く、「1000 万円以上 1200 万円未満」18.4%、「600 万円以上 800 万円未満」15.0%がそれに続いている。

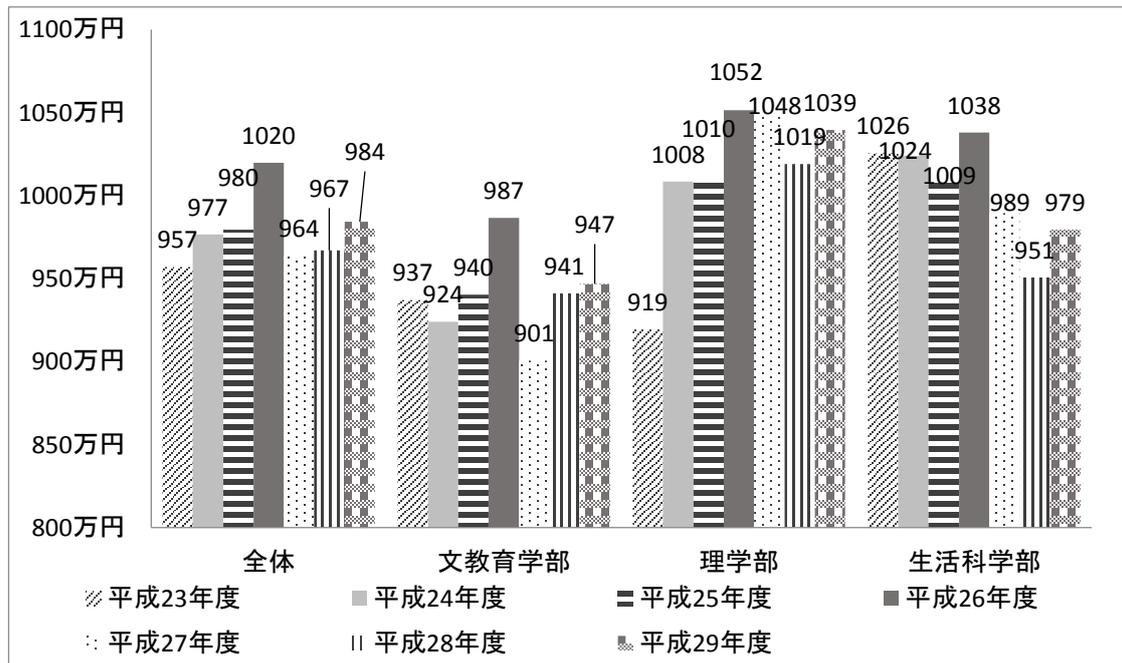


図表 1-4 世帯年収

『平成 26 年度学生生活調査』（日本学生支援機構 2016）によると、家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）について、世帯年収が 1000 万円を超える家庭は全体の 24.4%、国立大学・女子では 27.2%である。

それに対し図表 1-4 に示すように、本学新入生の家庭のうち、世帯年収が 1000 万円を超えている家庭は少なくとも全体の 46.7%を占めており、家庭の世帯年収は全国水準に比べて、高い方に偏っている。平成 28 年度新入生でも同様の傾向が示されている（お茶の水女子大学 2016）。参考に、図表 1-5 に、各カテゴリーの中央値に基づき、平成 23 年度以降の新入生の家庭の世帯年収平均（推計）を算出したものを示す。平成 26 年度新入生の平均世帯収入が他の年度より高いことが

特徴であり、そのほかは同程度の平均値で推移している。

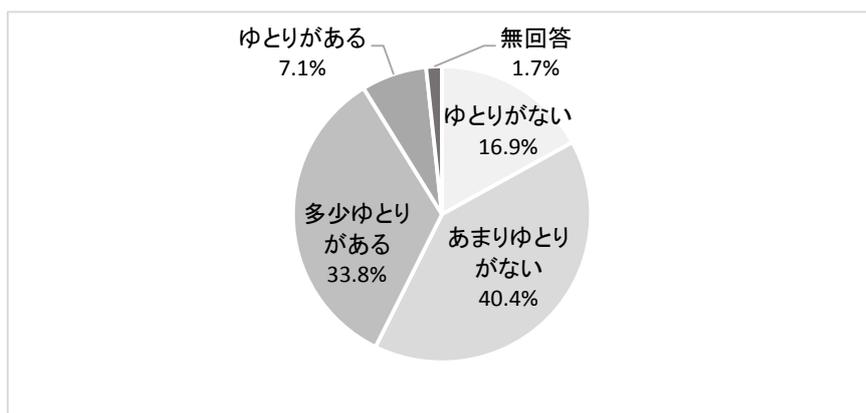


図表 1-5 世帯年収平均（推計）

⑤ 大学入学後の家庭の暮らし向き

図表 1-6 に、新入生が大学に入学した後の家庭の暮らし向きについて尋ねた結果を示す。

全体で見ると「あまりゆとりがない」が40.4%と最も高く、「ゆとりがない」16.9%と合わせると全体のおよそ6割の家庭が「ゆとりがない」と回答している。



図表 1-6 入学した後の家庭の暮らし向き

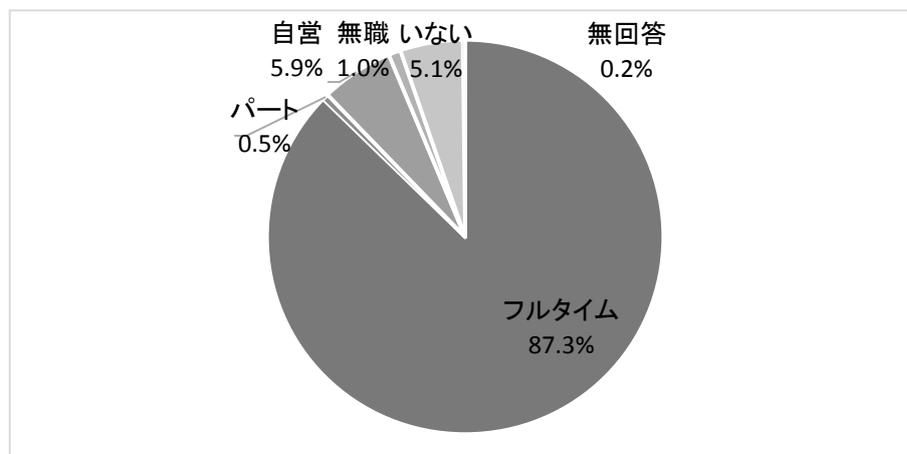
(2) 親の職業・学歴

本節では新入生の親の職業や学歴について、①親の勤務形態および職種、②親の学歴について示す。

① 親の勤務形態および職種

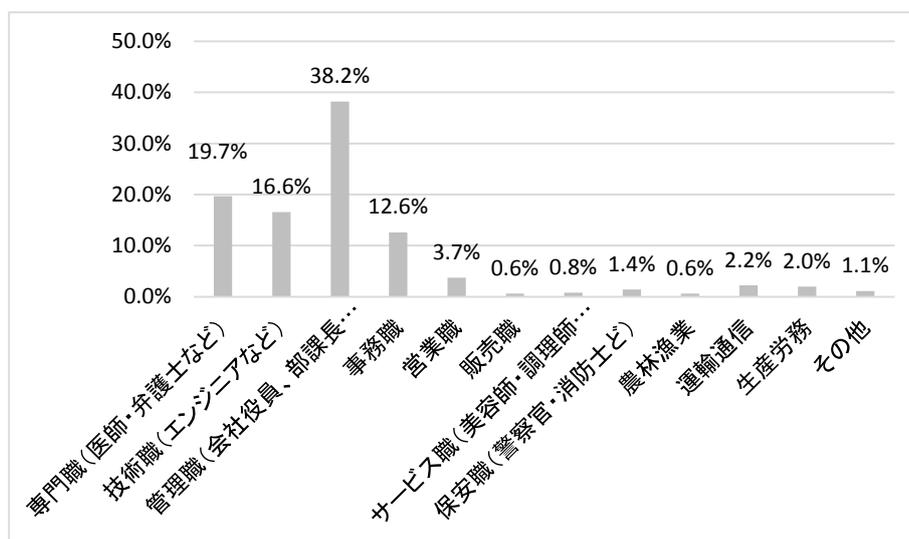
図表 2-1 は、新入生の父親の勤務形態について、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」「自営」

「無職」「いない」別に尋ねた結果である。新入生の父親の勤務形態は「フルタイム勤務」が 87.3% と約 9 割を占め、次いで「自営」が 5.9% である。これらの勤務形態の割合は例年と同様である。



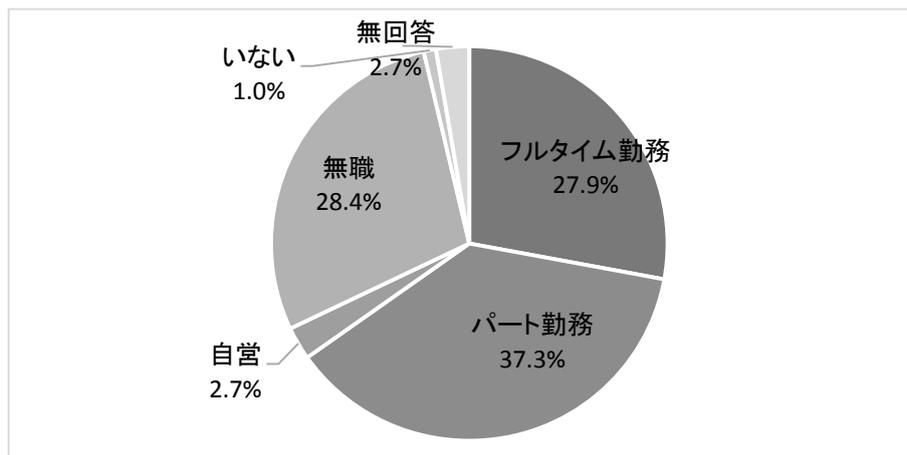
図表 2-1 父親の勤務形態

次にフルタイムで勤務する父親だけに職種について尋ねた結果を図表 2-2 に示す。最も多い職種は、管理職（会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など）38.2% である。次いで、専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）が 19.7%、技術職（エンジニア・情報処理技術者など）16.6% である。



図表 2-2 父親の職種

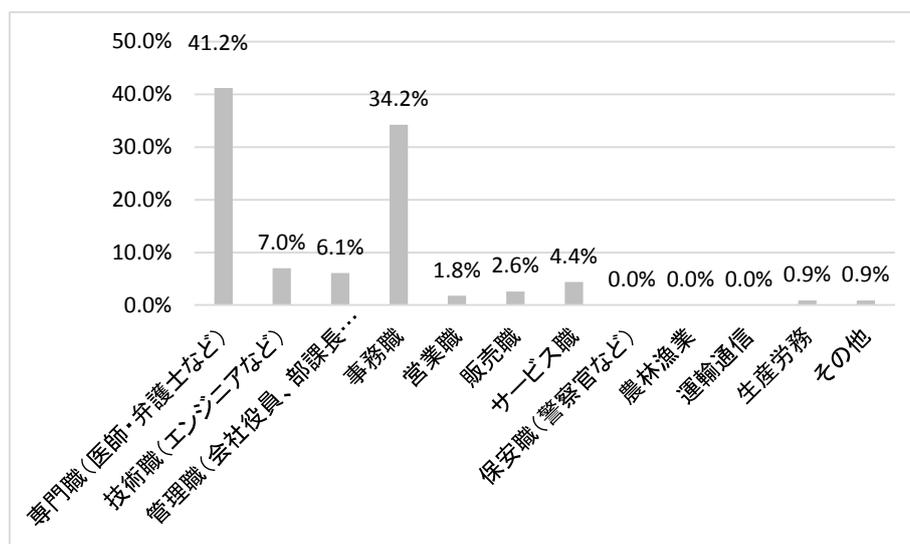
同様に、新入生の母親の勤務形態について尋ねた結果が図表 2-3 である。「パートタイム勤務」が全体の 37.3% で最も多く、「無職」28.4%、「フルタイム勤務」27.9% が続いており、平成 28 年度新入生とほぼ同じ傾向である（お茶の水女子大学 2016）。新入生の約 7 割の母親が就業していることが示されている。



図表 2-3 母親の勤務形態

次にフルタイムで勤務する母親だけに職種について尋ねた結果を図表 2-4 に示す。最も多い職種は、専門職（医師・弁護士・研究者・教師など）が 41.2%、事務職（庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など）34.2%である。その他は、技術職（エンジニアなど）7.0%、管理職（会社・団体の役員、部課長・工場長・支店長など）6.1%である。

父親と比較をすると、母親は専門職および事務職の割合がそれぞれ 3-4 割と高く、管理職は 6%と少ない。反対に父親は管理職の割合が 38.2%であり、高い割合を占めている。



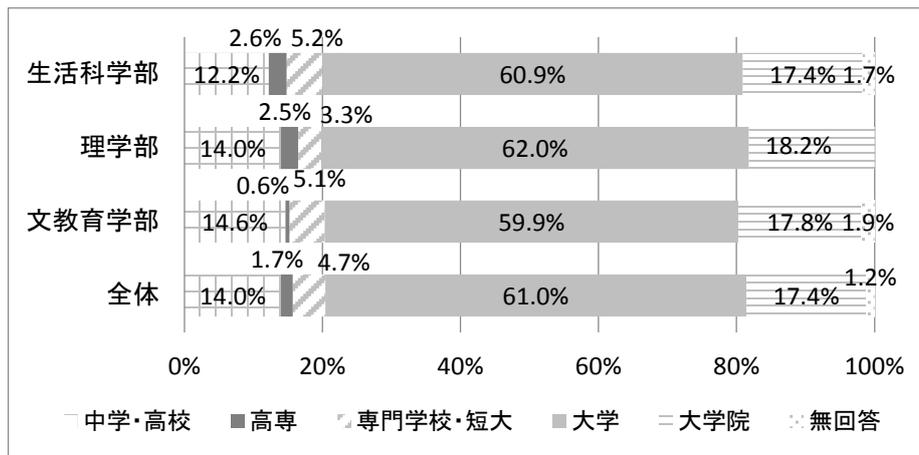
図表 2-4 母親の職種

② 親の学歴

図表 2-5 は、新入生の父親の最終学歴について尋ね、「大学院」「大学」「専門学校・短大」「高等専門学校」「中学・高校」別に示した結果である。新入生の父親の最終学歴は、全体で見ると、「大学」が 61.0%と最も高く、それに「大学院」17.4%、「中学・高校」14.0%が続き、例年も同様の傾向が示されている。

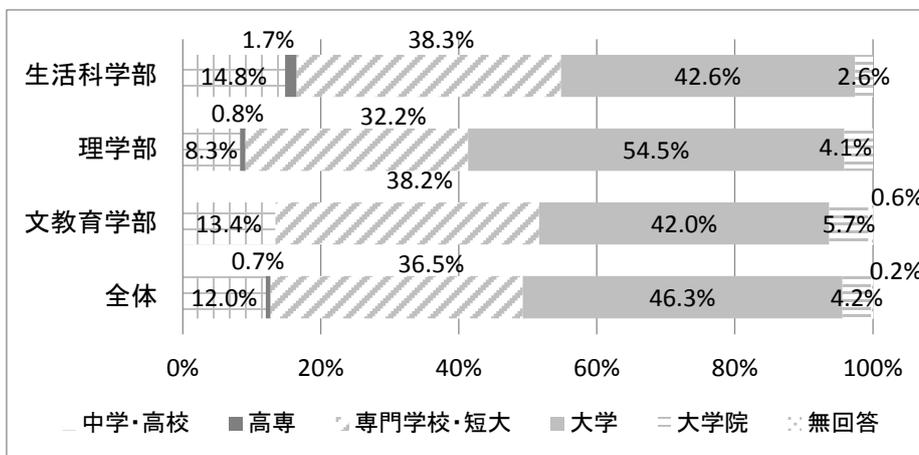
学部別では、「大学」「大学院」を合わせた割合が、理学部では 80.2%であり、父親の学歴が高い傾向が見られる。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である男性は 28.7%であり、これと比較すると平成 29 年度新入生の父親の学歴はかなり高

いほうに偏っており、この傾向も昨年と同様である。



図表 2-5 父親の最終学歴

同様に、新入生の母親の最終学歴について尋ねた結果が図表 2-6 である。平成 29 年度の新入生の母親の学歴は、全体で「大学」46.3%、「専門学校・短大」36.5%となり、「中学・高校」が 12.0% である。学部別では、理学部では「大学」が 54.5%と高く、また「大学・大学院」卒を合わせても理学部が 58.6%と高い割合となっている。『平成 22 年度国勢調査』（総務省統計局 2011）によると、最終学歴が大学・大学院である女性は 20.6%であり、これと比較すると父親の同様に平成 29 年度新入生の母親の学歴も高いほうに偏っている。



図表 2-6 母親の最終学歴

(3) 大学生生活の不安・心配事

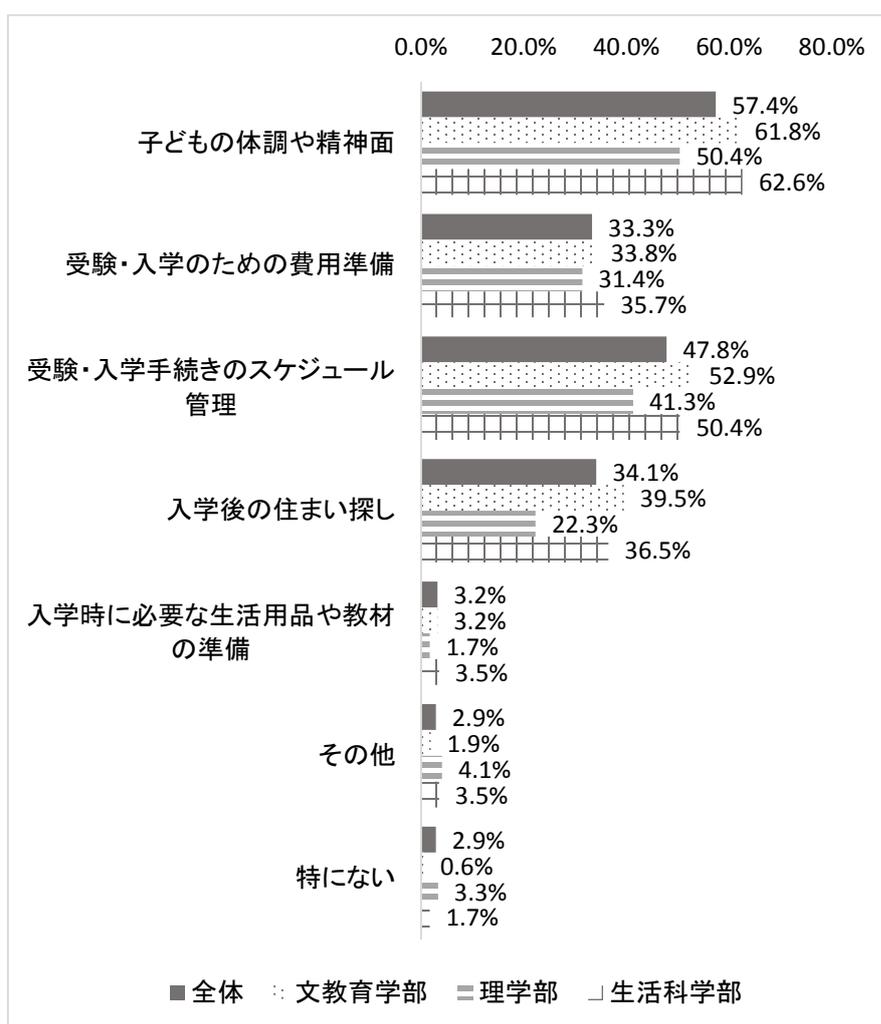
本節では保護者から見たご子女の大学生生活の不安・心配事について、①受験から入学までに困ったこと、②大学生活が始まって心配なこと、③本学の学生支援活動で期待するものを示す。

① 受験から入学までに困ったこと

図表 3-1 は、受験から入学までに困ったことについて、複数回答可として尋ねた結果である。

困ったことについては、「子どもの体調や精神面」が全体の 57.4%と最も高く、「受験・入学手続きのスケジュールの管理」が全体の 47.8%でそれに続いている。「特にない」は全体の 2.9%であった。平成 28 年度新入生の保護者では、「特にない」と回答した保護者は 16.0%であり、今年度はそれに比べると心配がない保護者の割合が少ない（お茶の水女子大学 2016）。

学部別では、理学部の保護者がいずれの項目においても困ったと回答する割合が他学部比べて低いことが特徴である。

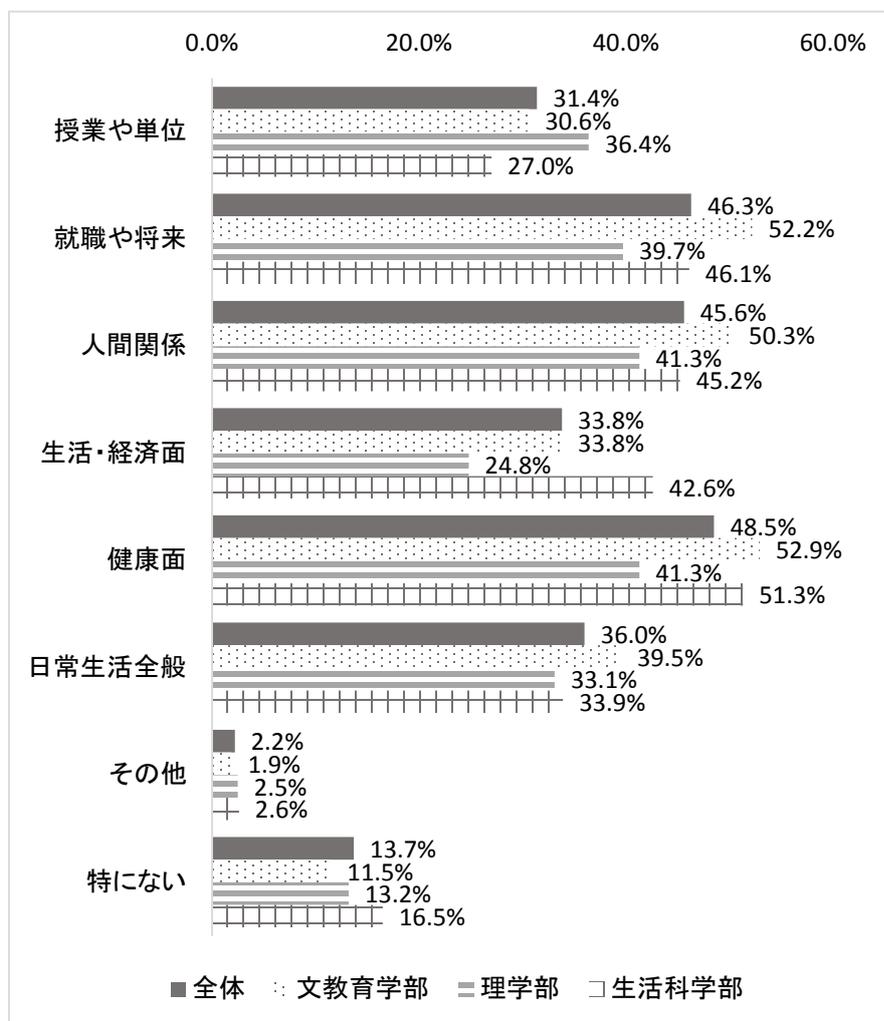


図表 3-1 受験から入学までに困ったこと

② 大学生活が始まって心配なこと

図表 3-2 は、大学生活が始まって心配なことについて、複数回答可として尋ねたものである。心配なことについては、全体で「健康面」48.5%、「就職や将来」46.3%が高い。続いて「人間関係」45.6%が多い割合となった。

学部別では、理学部では、「生活・経済面」「日常生活全般」を心配する保護者の割合が低い。

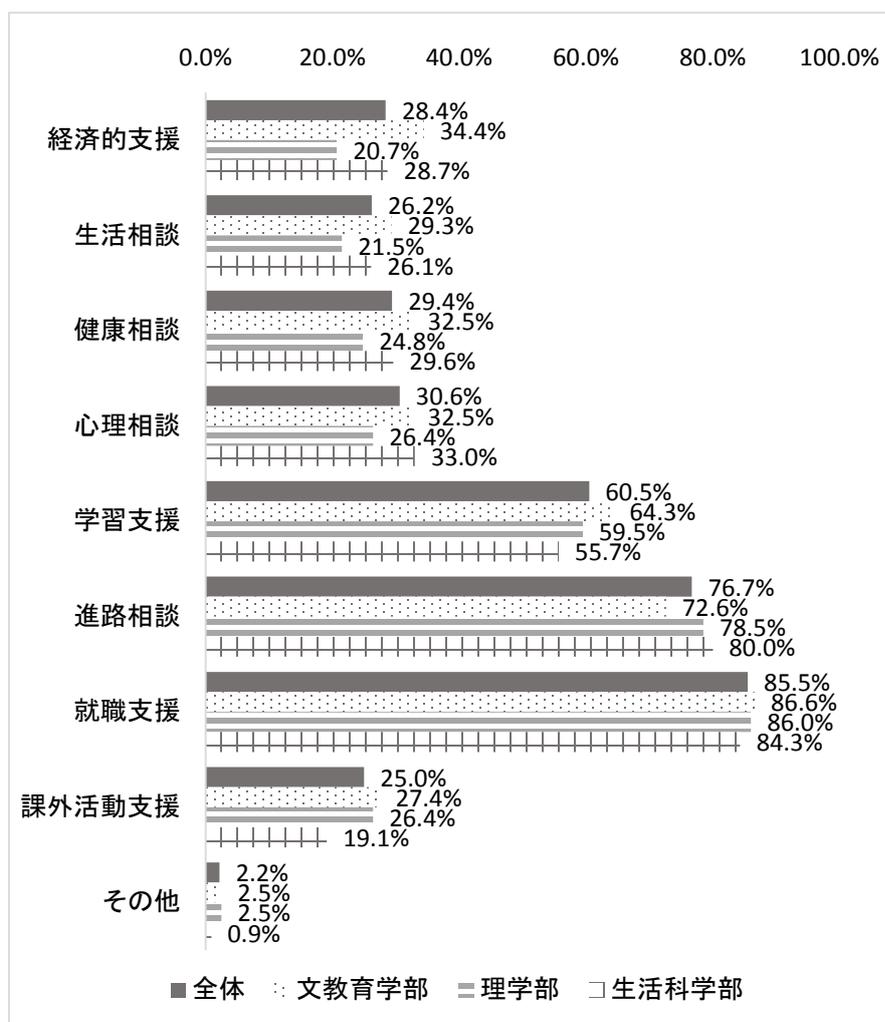


図表 3-2 大学生活が始まって心配なこと

③ 本学の学生支援活動で期待するもの

図表 3-3 は、「お茶大生の学習環境と生活・意識に関する調査」の調査項目を参考に、本学の学生支援活動に期待するものについて、複数回答可として尋ねた結果である。

「就職支援」が全体の 85.5% で最も高い。次いで「進路相談」76.7%、「学習支援」60.5% がそれに続くが、平成 28 年度新入生の保護者でも同様に示されている（お茶の水女子大学 2016）。学部別では、文教育学部では「経済的支援」34.5%、「学習支援」64.3% などが他の学部よりも期待が高く、生活科学部では、「進路相談」が 80.0% と他の学部より高いことが示された。



図表 3-3 本学の学生支援活動で期待するもの

第3章 新入生および保護者対象調査の結果報告

—奨学金・学生寮に関するクロス集計—

(1) 問題・目的

本章では、新入生および保護者を対象とした調査の中から、奨学金制度および学生寮に関する調査項目を取り上げ、それぞれの現状を明らかにし、昨年度の結果と比較して、今後の課題や展開を示唆することを目的とする。具体的には、以下の2点について明らかにする。

1. 新入生のうち、どのような学生が奨学金を認知しているのか、奨学金の受給経験があるのか、学生寮を認知しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。
2. 保護者のうち、どのような保護者が奨学金を希望しているのか、学生寮への入寮を希望しているのかを明らかにし、本学の奨学金制度および学生寮の今後の課題や展開を示唆する。

(2) 奨学金に関する結果

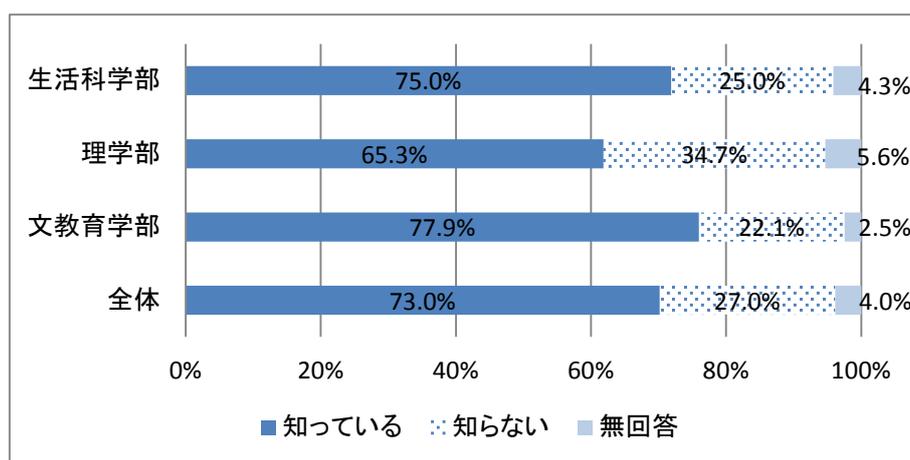
①新入生の結果

<奨学金等制度の認知と受給経験>

新入生の奨学金等制度の認知と受給経験について示したものが図表1-1～1-3である。

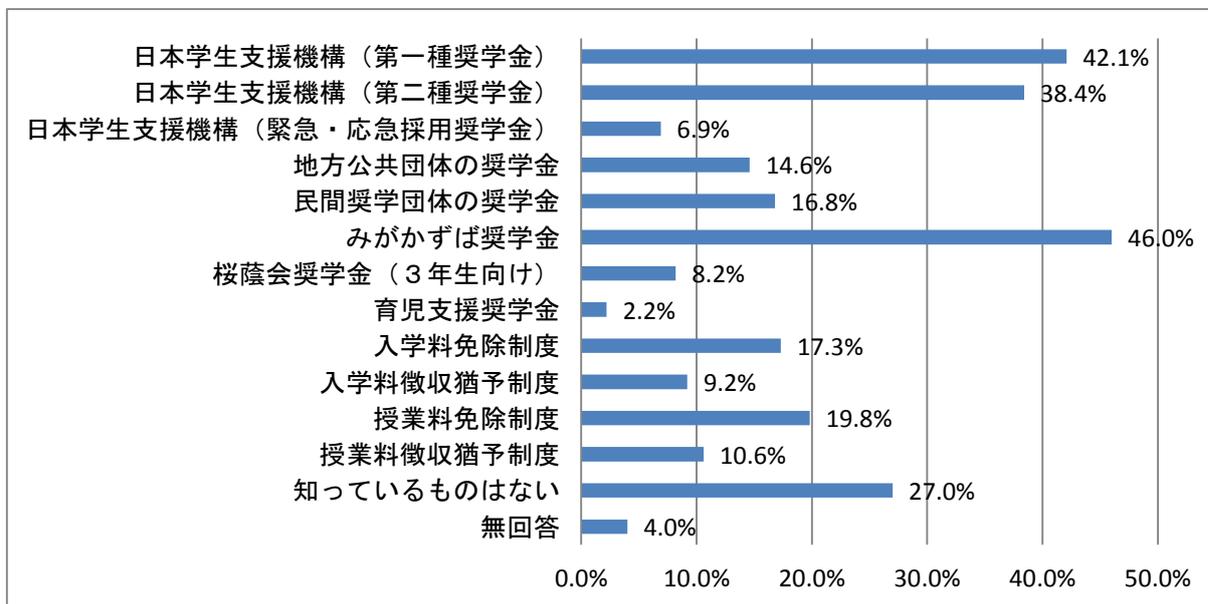
図表1-1は奨学金等制度の認知について、学部別に示している。奨学金等制度について、一つでも認知していれば「知っている」とした。

全体では73.0%の新入生が奨学金等制度について認知している。学部別にみると、理学部での認知度が他の学部と比べて10ポイント程度低い結果となっている。



図表1-1 学部別奨学金等制度の認知

図表1-2は、奨学金等制度の認知について、本学独自の制度も含め複数回答可として尋ねた結果である。最も認知度が高いものは本学独自の奨学金である「みがかずば奨学金」で46.0%である。それに次いで日本学生支援機構の奨学金の第一種・第二種が42.1%、38.4%と続いている。



図表1-2 奨学金等制度の認知

図表1-3は、これまで受けたことのある奨学金等制度について、複数回答可として尋ねた結果である。「特待生」が4.5%と最も多く、ほかの奨学金等制度の受給経験は2%程度と低い割合を示している。

図表1-3 制度別奨学金・学費免除等制度の受給経験

奨学金名称	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	学校独自の奨学金	民間奨学団体の奨学金	新聞社の奨学金	その他の奨学金	学費免除	特待生
受けたことがある	1.2%	1.7%	2.0%	1.5%	0.0%	0.7%	2.2%	4.5%

<奨学金等制度の認知と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような学生が奨学金等制度を認知しているのかを明らかにするため、「奨学金の認知」と各項目のクロス表を作成した。「奨学金の認知」は、それぞれの選択肢の中で一つでも認知していれば「知っている」として分析した。結果を図表1-4～1-9に示す。

図表1-4は「きょうだい数」と「奨学金認知」のクロス表である。きょうだい数と奨学金認知について有意な関連はみられなかった。

図表1-4 きょうだい数 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
きょうだい数	1人っ子	度数	47	16	63
		%	74.6%	25.4%	100.0%
	2人	度数	166	69	235
		%	70.6%	29.4%	100.0%
	3人以上	度数	68	24	92
		%	73.9%	26.1%	100.0%
合計		度数	281	109	390
		%	72.1%	27.9%	100.0%

p<.743

図表1-5は「出身高校設置者」と「奨学金認知」のクロス表である。公立・国立高校出身者は奨学金等制度について認知している割合が高く、私立高校出身者には奨学金等制度について認知している割合が低いという傾向がみられた。ただし出身高校の設置者と奨学金の認知について有意な関連は見られなかった。

図表1-5 出身高校設置者 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
出身高校 設置者	公立	度数	149	52	201
		%	74.1%	25.9%	100.0%
	私立	度数	72	46	118
		%	61.0%	39.0%	100.0%
	国立	度数	11	4	15
		%	73.3%	26.7%	100.0%
	海外	度数	2	1	3
		%	66.7%	33.3%	100.0%
合計		度数	234	103	337
		%	69.4%	30.6%	100.0%

p<.105

図表 1-6 は「奨学金受給経験」と「奨学金認知」のクロス表である。奨学金の受給経験がある場合には、奨学金等制度についても認知している割合が高いことが明らかとなった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表1-6 奨学金受給経験 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
奨学金 受給経験	経験なし	度数	242	103	345
		%	70.1%	29.9%	100.0%
	経験あり	度数	39	6	45
		%	86.7%	13.3%	100.0%
合計		度数	281	109	390
		%	72.1%	27.9%	100.0%

p<.012

図表 1-7 は「入学後の予定住居」と「奨学金認知」のクロス表である。入学後に予定している住居が実家以外（賃貸マンション・アパート、学生寮）の新入生は、奨学金等制度についても認知している割合が高いことが示された。

図表1-7 入学後の予定住居 と 奨学金認知 のクロス表

			本人票奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
入学後の 予定住居	実家以外	度数	143	34	177
		%	80.8%	19.2%	100.0%
	実家	度数	137	75	212
		%	64.6%	35.4%	100.0%
合計		度数	280	109	389
		%	72.0%	28.0%	100.0%

p<.001

図表1-8は「仕送り額」と「奨学金認知」のクロス表である。図表1-8での「仕送り額」は、入学後の予定住居を「実家以外」と回答した新入生の仕送り額を示している。仕送り額と奨学金認知との間に有意な関連はみられなかった。

図表1-8 仕送り額 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
仕送り額	仕送りなし	度数	14	3	17
		%	82.4%	17.6%	100.0%
	5万円未満	度数	15	2	17
		%	88.2%	11.8%	100.0%
	5万円以上 10万円未満	度数	53	17	70
		%	75.7%	24.3%	100.0%
	10万円以上	度数	53	12	65
		%	81.5%	18.5%	100.0%
合計		度数	135	34	169
		%	79.9%	20.1%	100.0%

p<.644

図表 1-9 は「学生寮認知」と「奨学金認知」のクロス表である。学生寮について認知している場合は、奨学金等制度についても認知している割合が高く、これは昨年度と同様の結果であった。

図表1-9 学生寮認知 と 奨学金認知 のクロス表

			奨学金認知		合計
			知っている	知らない	
学生寮認知	知っている	度数	213	37	250
		%	85.2%	14.8%	100.0%
	知らない	度数	68	72	140
		%	48.6%	51.4%	100.0%
合計		度数	281	109	390
		%	72.1%	27.9%	100.0%

p<.001

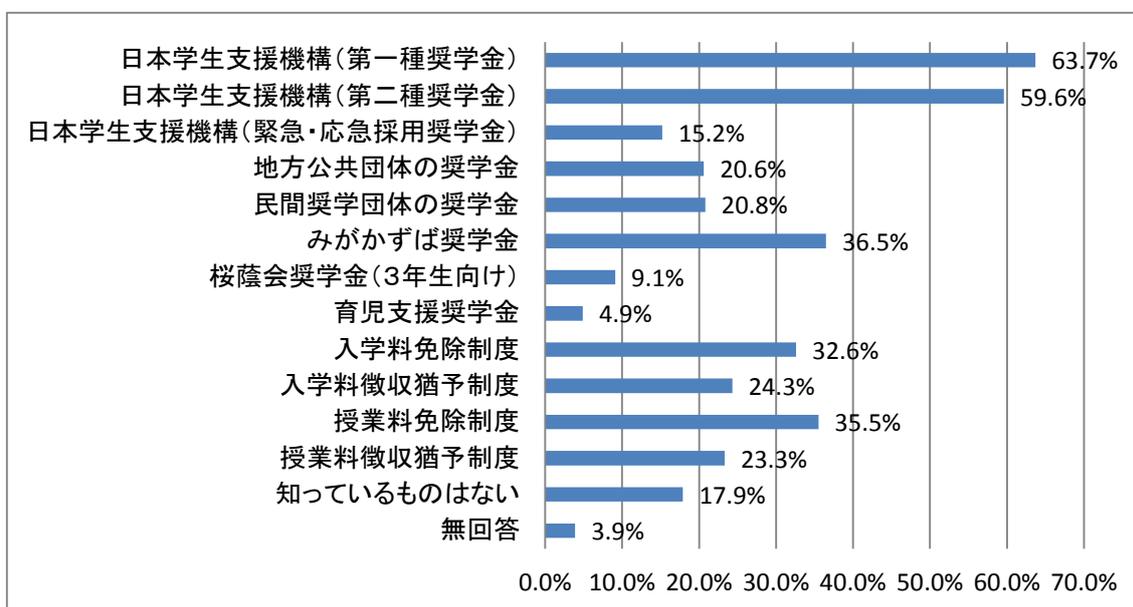
②保護者の結果

<奨学金等制度の認知・受給経験・利用希望>

保護者の票の奨学金等制度の認知、受給経験、利用希望について示したものが図表 2-1～2-3 である。

図表2-1は、保護者の奨学金・学費免除等の制度の認知について、本学独自の制度も含め複数回答可として尋ねた結果である。

奨学金制度に関しては、日本学生支援機構第一種が63.7%、第二種も59.6%と最も高い認知率である。本学独自の奨学金制度である「みがかずば奨学金」については36.5%で、これは平成27年度の保護者の31.5%よりも5ポイント高い認知率を示していた。「日本学生支援機構（第一種奨学金）」と「授業料免除制度」以外のものはすべて昨年度調査よりも2～5ポイント程度高い認知率であった。（お茶の水女子大学2016）



図表 2-1 保護者の奨学金等制度の認知度

図表2-2では本学入学予定のご子女がこれまで受けたことのある奨学金等制度について、複数回答可として保護者に尋ねた結果である。「特待生」が最も多く4.9%で、平成28年度調査の3.8%と比較して1.1ポイント高い結果となった。2番目に多い「学費免除」は3.2%で、こちらも昨年度調査の1.2%と比較して2ポイント高い結果を示している。（お茶の水女子大学2016）

また昨年度は「民間団体の奨学金」「その他の奨学金」の受給経験者は0であったが、今年度は、それぞれ1.2%、0.7%が「受給経験がある」と回答した。

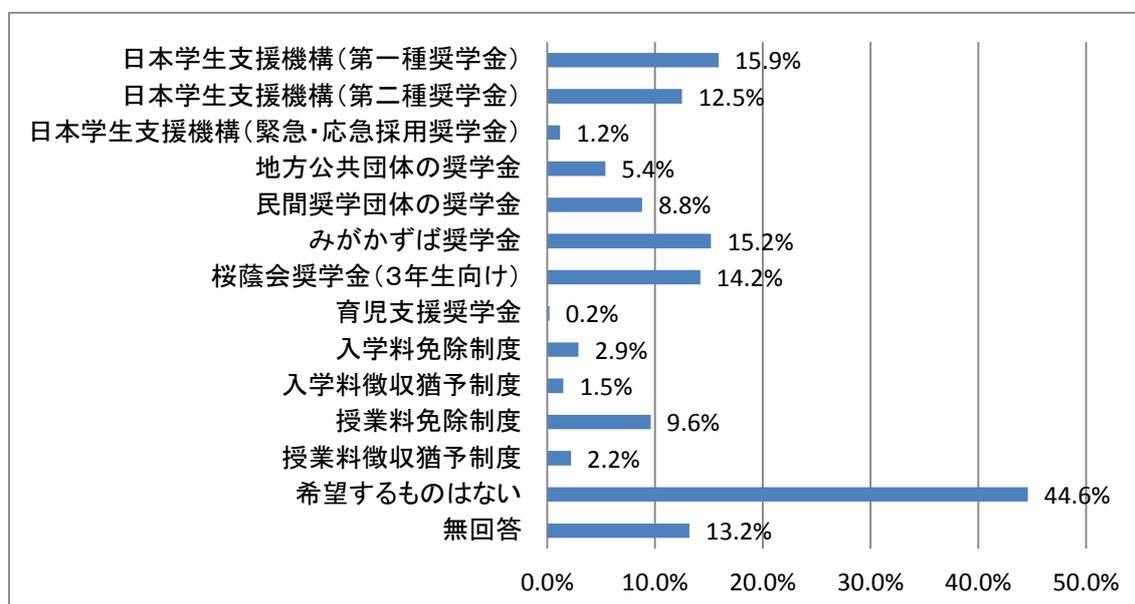
図表 2-2 制度別奨学金等制度の受給経験（保護者票）

奨学金名称	日本学生支援機構の奨学金	地方公共団体の奨学金	学校独自の奨学金	民間奨学団体の奨学金	新聞社の奨学金	その他の奨学金	学費免除	特待生
受けたことがある	0.5%	2.0%	2.0%	1.2%	0.0%	0.7%	3.2%	4.9%

図表 2-3 では大学入学後の奨学金等制度利用希望について、複数回答可として尋ねた結果である。

奨学金制度については、日本学生支援機構の第一種奨学金の利用希望が最も高く、15.9%であった。続いてみがかずば奨学金が15.2%、桜蔭会奨学金が14.2%と続く。平成28年度調査では、みがかずば奨学金の利用希望は11.7%、桜蔭会奨学金は9.6%であったが今年度調査ではそれぞれ3.5ポイント、4.6ポイント高い結果となった。本学独自の給付型奨学金の利用希望が増加している。

また、「日本学生支援機構（第一種奨学金）」と「日本学生支援機構（第二種奨学金）」、「日本学生支援機構（緊急応急採用）」以外の奨学金等制度すべて、平成28年度調査よりも高い利用希望の割合を示していた。特に「日本学生支援機構（第一種奨学金）」は昨年度20.4%とよりも4.5ポイント低い15.9%、「日本学生支援機構（第二種奨学金）」は昨年度15.7%よりも3.2ポイント低い12.5%であり、貸与型奨学金の利用希望が減少していることが推察される。



図表 2-3 奨学金等制度の利用希望

<奨学金希望と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような保護者が奨学金等制度の利用を希望しているか明らかにするため、「奨学金の希望」と各項目とのクロス表を作成した。それぞれの結果を図表 2-4～2-12 に示す。

図表 2-4 は「家計支持者」と「奨学金希望」のクロス表である。家計支持者が母親の場合、奨学金を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-4 家計支持者 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
家計支持者	父	度数	142	174	316
		%	44.9%	55.1%	100.0%
	母	度数	28	5	33
		%	84.8%	15.2%	100.0%
	本人	度数	3	4	7
		%	42.9%	57.1%	100.0%
合計		度数	173	183	356
		%	48.6%	51.4%	100.0%

p<.001

図表 2-5 は、「父親の就労形態」と「奨学金希望」のクロス表である。父親が「フルタイム勤務」もしくは「自営」の場合は奨学金を希望する割合が低く、「パートタイム勤務」、「無職」、もしくは父親が「いない」場合は奨学金を希望する割合が高いことが示された。平成 28 年度調査では父親の就労形態が「自営」の場合、奨学金を希望する割合が高いことが示されたが、今回の調査では、「自営」の場合、奨学金を希望する割合はわずかに低いことが示された。

図表2-5 父親の就労形態 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
父親の就労形態	フルタイム勤務	度数	138	169	307
		%	45.0%	55.0%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	1	0	1
		%	100.0%	0.0%	100.0%
	自営	度数	11	12	23
		%	47.8%	52.2%	100.0%
	無職	度数	3	1	4
		%	75.0%	25.0%	100.0%
	いない	度数	19	1	20
		%	95.0%	5.0%	100.0%
合計		度数	172	183	355
		%	48.5%	51.5%	100.0%

p<.001

図表2-6は、「母親の就労形態」と「奨学金希望」のクロス表である。母親の就労形態が「パートタイム勤務」あるいは「無職」である場合、奨学金を希望する割合が低く、それ以外の場合には奨学金を希望する割合が高い傾向がみられた。しかし「母親の就労形態」と「奨学金希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表2-6 母親の就労形態 と 奨学金希望 のクロス表

		奨学金希望		合計	
		希望する	希望しない		
母親の就労形態	フルタイム勤務	度数	52	47	99
		%	52.5%	47.5%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	61	72	133
		%	45.9%	54.1%	100.0%
	自営	度数	8	2	10
		%	80.0%	20.0%	100.0%
	無職	度数	47	55	102
		%	46.1%	53.9%	100.0%
	いない	度数	2	1	3
		%	66.7%	33.3%	100.0%
合計	度数	170	177	347	
	%	49.0%	51.0%	100.0%	

p<.232

図表2-7は「入学後の暮らし向き」と「奨学金希望」のクロス表である。入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている場合には奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-7 入学後の暮らし向き と 奨学金希望 のクロス表

		奨学金希望		合計	
		希望する	希望しない		
入学後の暮らし向き	ゆとりがない	度数	147	65	212
		%	69.3%	30.7%	100.0%
	ゆとりがある	度数	24	114	138
		%	17.4%	82.6%	100.0%
合計	度数	171	179	350	
	%	48.9%	51.1%	100.0%	

p<.001

図表2-8は「世帯年収」と「奨学金希望」のクロス表である。「1200万円以上」の選択肢を合算してクロス表を作成した。世帯年収が低い場合には奨学金を希望する割合が高く、世帯年収が高い場合には奨学金を希望する割合が低いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-8 世帯年収 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計	
			希望する	希望しない		
世帯年収	400万円未満	度数	28	1	29	
		%	96.6%	3.4%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	28	6	34	
		%	82.4%	17.6%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	35	16	51	
		%	68.6%	31.4%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	45	37	82	
		%	54.9%	45.1%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	16	48	64	
		%	25.0%	75.0%	100.0%	
	1200万円以上	度数	20	70	90	
		%	22.2%	77.8%	100.0%	
	合計		度数	172	178	350
			%	49.1%	50.9%	100.0%

p<.001

図表2-9は「家計支持者年収」と「奨学金希望」のクロス表である。「1200万円以上」の選択肢は合算してクロス表を作成した。家計支持者の年収が低い場合には奨学金を希望する割合が高く、家計支持者の年収が高い場合には奨学金を希望する割合が低いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-9 家計支持者年収 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計	
			希望する	希望しない		
家計支持者年収	400万円未満	度数	38	3	41	
		%	92.7%	7.3%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	31	9	40	
		%	77.5%	22.5%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	42	32	74	
		%	56.8%	43.2%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	36	44	80	
		%	45.0%	55.0%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	15	48	63	
		%	23.8%	76.2%	100.0%	
	1200万円以上	度数	10	42	52	
		%	19.2%	80.8%	100.0%	
	合計		度数	172	178	350
			%	49.1%	50.9%	100.0%

p<.001

図表2-10は「奨学金受給経験」と「奨学金希望」のクロス表である。これまでに奨学金受給経験がある場合には奨学金を希望する割合が高いことが示された。これは昨年度と同様の結果であった。

図表2-10 奨学金受給経験 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
奨学金 受給経験	経験なし	度数	137	173	310
		%	44.2%	55.8%	100.0%
	経験あり	度数	36	10	46
		%	78.3%	21.7%	100.0%
合計		度数	173	183	356
		%	48.6%	51.4%	100.0%

p<.001

図表 2-11 は「学生寮認知」と「奨学金希望」のクロス表である。昨年度同様に、学生寮を知っている場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。

図表2-11 学生寮認知 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮認知	知っている	度数	126	81	207
		%	60.9%	39.1%	100.0%
	知らない	度数	44	99	143
		%	30.8%	69.2%	100.0%
合計		度数	170	180	350
		%	48.6%	51.4%	100.0%

p<.001

図表2-12は「学生寮希望」と「奨学金希望」のクロス表である。昨年度同様に、学生寮を希望している場合、奨学金を希望する割合が高いことが示された。

図表2-12 学生寮希望 と 奨学金希望 のクロス表

			奨学金希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮希望	希望する	度数	69	18	87
		%	79.3%	20.7%	100.0%
	希望しない	度数	100	160	260
		%	38.5%	61.5%	100.0%
合計		度数	169	178	347
		%	48.7%	51.3%	100.0%

p<.001

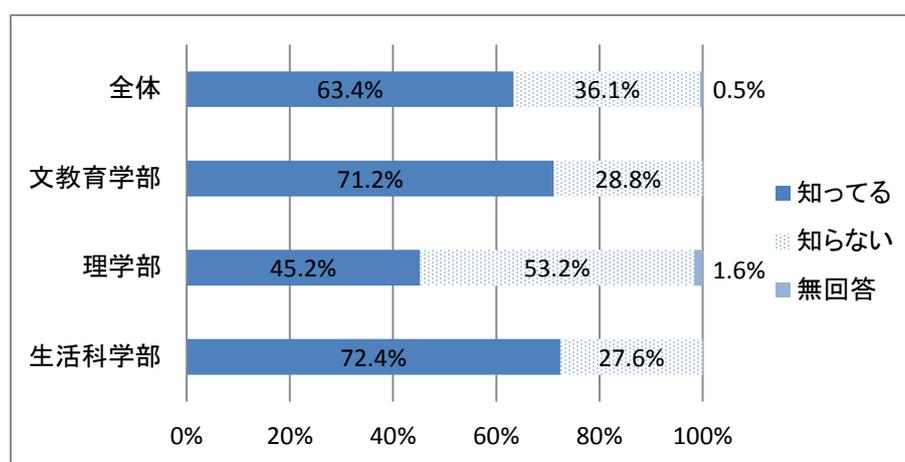
(3) 学生寮に関する結果

①新入生の結果

<学生寮の認知>

図表3-1は本学の学生寮の認知について、複数回答可として尋ね、学部別に集計した結果である。一つでも認知している学生寮があれば「知っている」とした。全体では63.4%の新入生が学生寮について認知している。これは平成28年度調査の71.5%と比べて8.1ポイント低い。

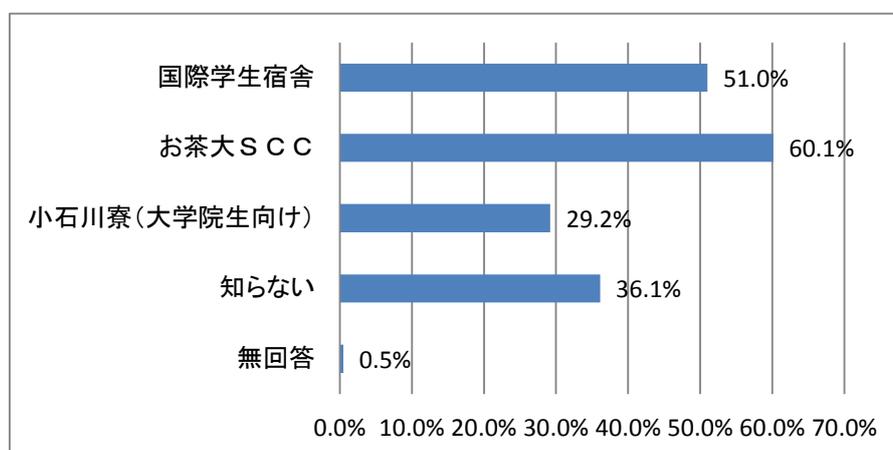
学部別にみると、理学部が他学部に比べて25ポイント以上低い結果となっており、これは昨年度調査でも同様の結果であった。



図表 3-1 本学の学生寮に対する認知（学部別）

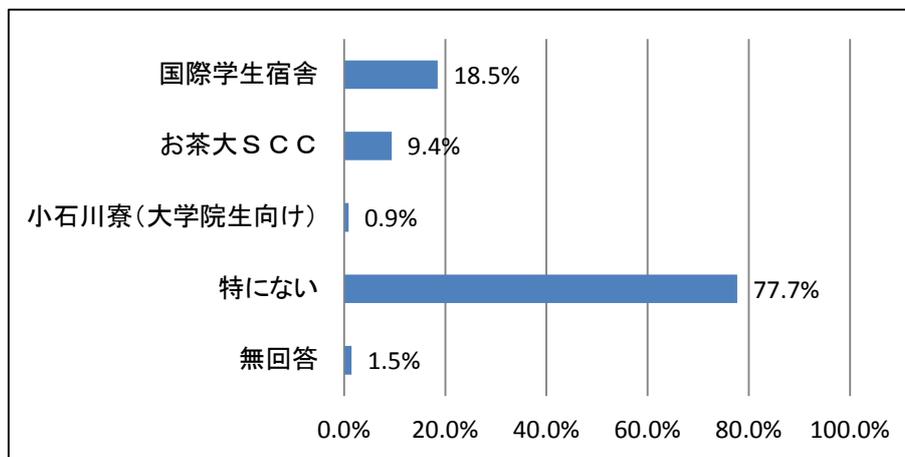
図表 3-2 では本学の学生寮に対する認知を複数回答可として尋ね、寮の種類別に集計した結果である。本学には国際学生宿舎（学部生対象）、お茶大 SCC（学部1・2年生対象）、小石川寮（大学院生対象）の3つの学生寮がある。

認知率はお茶大 SCC が 60.1% と最も高いが、平成 28 年度新入生の認知率 68.8% と比べると 8.7 ポイント低い結果となっている。また国際学生宿舎の認知率 51.0% は、平成 28 年度新入生の 54.5% と比べ 3.5 ポイント低くなっている。（お茶の水女子大学 2016）



図表 3-2 本学の学生寮に対する認知（寮別）

今年度の調査から新たに、新入生自身にも入寮を希望する学生寮を複数回答可として尋ねた。結果が図表 3-3 である。希望する学生寮を「特にない」と回答した新入生が最も多く 77.7%であった。国際学生宿舎を希望する学生は 18.5%、お茶大 SCC を希望する学生は 9.4%であった。



図表 3-3 本学の学生寮への入寮希望（寮別）

<学生寮の認知と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような新入生が本学の学生寮について認知しているか明らかにするため、「学生寮の認知」と各項目とのクロス表を作成した。それぞれ結果を図表 3-4～3-8 に示す。「学生寮の認知」は、本学の学生寮のうち、1つでも知っているものがあれば「知っている」とした。

図表3-4では「きょうだい数」と「学生寮認知」のクロス表である。きょうだい数と学生寮認知との間には有意な関連はみられなかった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表3-4 きょうだい数 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
きょうだい数	1人っ子	度数	43	25	68
		%	63.2%	36.8%	100.0%
	2人	度数	156	84	240
		%	65.0%	35.0%	100.0%
	3人以上	度数	59	37	96
		%	61.5%	38.5%	100.0%
合計		度数	258	146	404
		%	63.9%	36.1%	100.0%

p<.824

図表3-5は「出身高校設置者」と「学生寮認知」のクロス表である。公立高校出身者は学生寮について認知している割合が高く、私立高校出身者は学生寮について認知している割合が低い傾向が見られた。ただし、「出身高校設置者」と「学生寮認知」との間には有意な関連は見られなかった。

図表3-5 出身高校設置者 と 学生寮認知 のクロス表

		学生寮認知		合計	
		知っている	知らない		
出身高校 設置者	公立	度数	177	85	262
		%	67.6%	32.4%	100.0%
	私立	度数	70	53	123
		%	56.9%	43.1%	100.0%
	国立	度数	7	5	12
		%	58.3%	41.7%	100.0%
	海外	度数	3	2	5
		%	60.0%	40.0%	100.0%
	高卒 認定	度数	1	0	1
		%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	258	145	403
		%	64.0%	36.0%	100.0%

p<.299

図表3-6は「奨学金受給経験」と「学生寮の認知」のクロス表である。奨学金受給経験がある場合、学生寮について認知している割合が高いことが示された。

図表3-6 奨学金受給経験 と 学生寮認知 のクロス表

		学生寮認知		合計	
		知っている	知らない		
奨学金 受給経験	なし	度数	223	136	359
		%	62.1%	37.9%	100.0%
	あり	度数	35	10	45
		%	77.8%	22.2%	100.0%
合計		度数	258	146	404
		%	63.9%	36.1%	100.0%

p<.026

図表3-7では「入学後の予定住居」と「学生寮認知」のクロス表である。入学後の住居が実家以外（賃貸マンション・アパート、寮など）の場合には、学生寮について認知している割合が高いことが明らかになった。

図表3-7 入学後の予定住居 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計
			知っている	知らない	
入学後の 予定住居	実家以外	度数	157	28	185
		%	84.9%	15.1%	100.0%
	実家	度数	100	118	218
		%	45.9%	54.1%	100.0%
合計		度数	257	146	403
		%	63.8%	36.2%	100.0%

p<.001

図表 3-8 は「仕送り額」と「学生寮の認知」のクロス表である。図表 3-7 での「仕送り額」は、入学後の予定住居を「実家以外」と回答した新入生の仕送り額を示している。「仕送り額」と「学生寮の認知」の間には有意な関連は見られなかった。

図表3-8 仕送り額 と 学生寮認知 のクロス表

			学生寮認知		合計	
			知っている	知らない		
仕送り額	仕送りなし	度数	13	4	17	
		%	76.5%	23.5%	100.0%	
	5万円未満	度数	17	1	18	
		%	94.4%	5.6%	100.0%	
	5万円以上 10万円未満	度数	61	13	74	
		%	82.4%	17.6%	100.0%	
	10万円以上	度数	58	10	68	
		%	85.3%	14.7%	100.0%	
	合計		度数	149	28	177
			%	84.2%	15.8%	100.0%

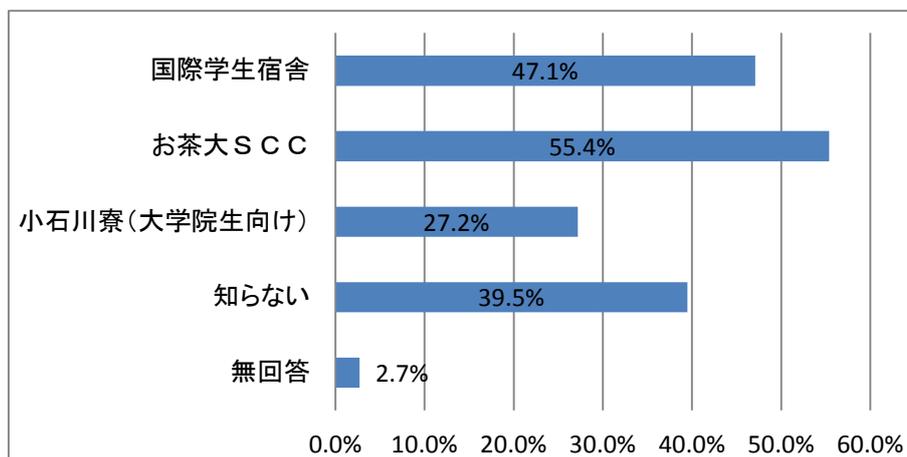
p<.491

②保護者の結果

<学生寮の認知と利用希望>

図表 4-1 では本学の学生寮に対する認知を複数回答可として尋ねた結果である。

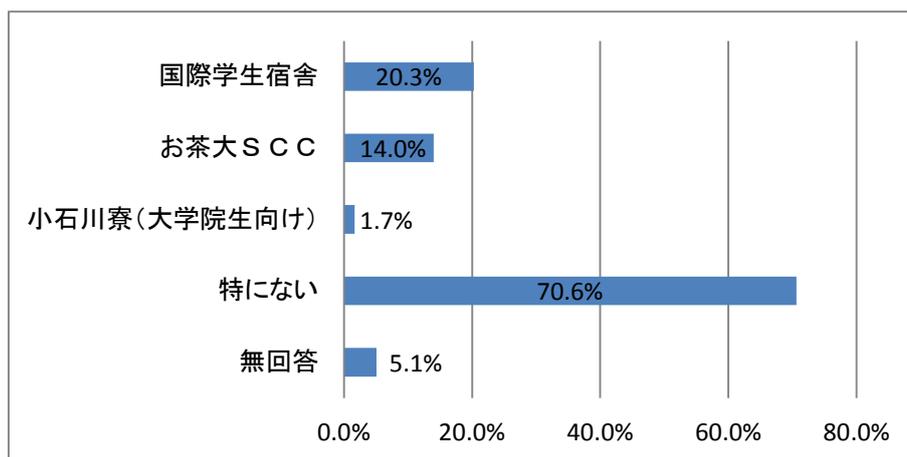
お茶大 SCC が 55.4%、国際学生宿舎がそれに続いて 47.1%の認知率である。全体の傾向として平成 28 年度の新入生の保護者と同じ傾向であった。



図表 4-1 保護者の学生寮認知

図表 4-2 は、本学の学生寮への入寮希望について複数回答可として尋ねた結果である。

「国際学生宿舎」への入寮希望が 20.3%であり、これは平成 28 年度新入生の保護者の 20.1%とほぼ同様の結果となった。次いで「お茶大 SCC」が 14.0%で、これは昨年度調査の 16.9%と比較して 2.9 ポイント低い割合を示している。また、「特にない」が 70.6%であり、これは平成 28 年度新入生の保護者の 65.6%と比べて 5 ポイント高い結果となった。



図表 4-2 本学の学生寮への入寮希望

<学生寮希望と属性などの項目とのクロス表>

次に、どのような保護者が学生寮を希望しているか明らかにするために「学生寮希望」とのクロス表を作成した。それぞれ結果を図表 4-3～4-10 に示す。

図表 4-3 では「家計支持者」と「学生寮希望」のクロス表である。家計支持者が母親である場合には学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度同様の結果であった。

図表4-3 家計支持者 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計	
		希望する	希望しない		
家計支持者	父	度数	79	269	348
		%	22.7%	77.3%	100.0%
	母	度数	18	16	34
		%	52.9%	47.1%	100.0%
	本人	度数	3	4	7
		%	42.9%	57.1%	100.0%
合計		度数	100	289	389
		%	25.7%	74.3%	100.0%

p<.001

図表 4-4 では「父親の就労形態」と「学生寮希望」のクロス表である。父親の就労形態が「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」、「自営」の場合には学生寮を希望する割合が低く、「無職」あるいは父親が「いない」場合には学生寮を希望する割合が高いことが示された。昨年度は「父親の就労形態」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表4-4 父親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

		学生寮希望		合計	
		希望する	希望しない		
父親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	80	257	337
		%	23.7%	76.3%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	0	2	2
		%	0.0%	100.0%	100.0%
	自営	度数	4	20	24
		%	16.7%	83.3%	100.0%
	無職	度数	2	2	4
		%	50.0%	50.0%	100.0%
	いない	度数	14	7	21
		%	66.7%	33.3%	100.0%
合計		度数	100	288	388
		%	25.8%	74.2%	100.0%

p<.001

図表 4-5 では「母親の就労形態」と「学生寮希望」のクロス表である。母親が「フルタイム勤務」もしくは「いない」場合には学生寮を希望する割合が高い傾向がみられた。ただし「母親の就労形態」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表4-5 母親の就労形態 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
母親の 就労形態	フルタイム勤務	度数	36	68	104
		%	34.6%	65.4%	100.0%
	パートタイム勤務	度数	30	118	148
		%	20.3%	79.7%	100.0%
	自営	度数	2	8	10
		%	20.0%	80.0%	100.0%
	無職	度数	27	87	114
		%	23.7%	76.3%	100.0%
	いない	度数	1	2	3
		%	33.3%	66.7%	100.0%
合計		度数	96	283	379
		%	25.3%	74.7%	100.0%

p<.128

図表 4-6 は「入学後の暮らし向き」と「学生寮の希望」のクロス表である。入学後の暮らし向きについて「ゆとりがない」と回答している場合、学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。

図表4-6 入学後の暮らし向き と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
入学後の 暮らし向き	ゆとりがない	度数	85	142	227
		%	37.4%	62.6%	100.0%
	ゆとりがある	度数	15	141	156
		%	9.6%	90.4%	100.0%
合計		度数	100	283	383
		%	26.1%	73.9%	100.0%

p<.001

図表 4-7 では「世帯年収」と「学生寮希望」のクロス表である。世帯年収について「1200万円以上」の選択肢は合算してクロス表を作成した。世帯年収が低いほど、学生寮を希望する割合が高いことが明らかになった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表4-7 世帯年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計	
			希望する	希望しない		
世帯年収	400万円未満	度数	15	15	30	
		%	50.0%	50.0%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	14	20	34	
		%	41.2%	58.8%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	21	37	58	
		%	36.2%	63.8%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	27	64	91	
		%	29.7%	70.3%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	11	61	72	
		%	15.3%	84.7%	100.0%	
	1200万円以上	度数	12	86	98	
		%	12.2%	87.8%	100.0%	
	合計		度数	100	283	383
			%	26.1%	73.9%	100.0%

p<.001

図表 4-8 は「家計支持者の年収」と「学生寮希望」のクロス表である。家計支持者の年収が低いほど、学生寮を希望する割合が高いことが明らかとなった。これは昨年度と同様の結果であった。

図表4-8 家計支持者年収 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計	
			希望する	希望しない		
家計支持者年収	400万円未満	度数	20	22	42	
		%	47.6%	52.4%	100.0%	
	400万円以上 600万円未満	度数	17	26	43	
		%	39.5%	60.5%	100.0%	
	600万円以上 800万円未満	度数	24	52	76	
		%	31.6%	68.4%	100.0%	
	800万円以上 1000万円未満	度数	25	66	91	
		%	27.5%	72.5%	100.0%	
	1000万円以上 1200万円未満	度数	8	65	73	
		%	11.0%	89.0%	100.0%	
	1200万円以上	度数	5	53	58	
		%	8.6%	91.4%	100.0%	
	合計		度数	99	284	383
			%	25.8%	74.2%	100.0%

p<.001

図表4-9は「奨学金受給経験」と「学生寮希望」のクロス表である。過去に奨学金の受給経験がある場合、学生寮を希望する割合が高いことが示された。昨年度は「奨学金受給経験」と「学生寮希望」との間には有意な関連は見られなかった。

図表4-9 奨学金受給経験 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
奨学金 受給経験	経験なし	度数	80	261	341
		%	23.5%	76.5%	100.0%
	経験あり	度数	20	28	48
		%	41.7%	58.3%	100.0%
合計		度数	100	289	389
		%	25.7%	74.3%	100.0%

p<.007

図表 4-10 が「学生寮認知」と「学生寮希望」のクロス表である。学生寮について認知している場合には、学生寮を希望する割合が高いことが示された。

図表4-10 学生寮認知 と 学生寮希望 のクロス表

			学生寮希望		合計
			希望する	希望しない	
学生寮 認知	知っている	度数	96	130	226
		%	42.5%	57.5%	100.0%
	知らない	度数	3	158	161
		%	1.9%	98.1%	100.0%
合計		度数	99	288	387
		%	25.6%	74.4%	100.0%

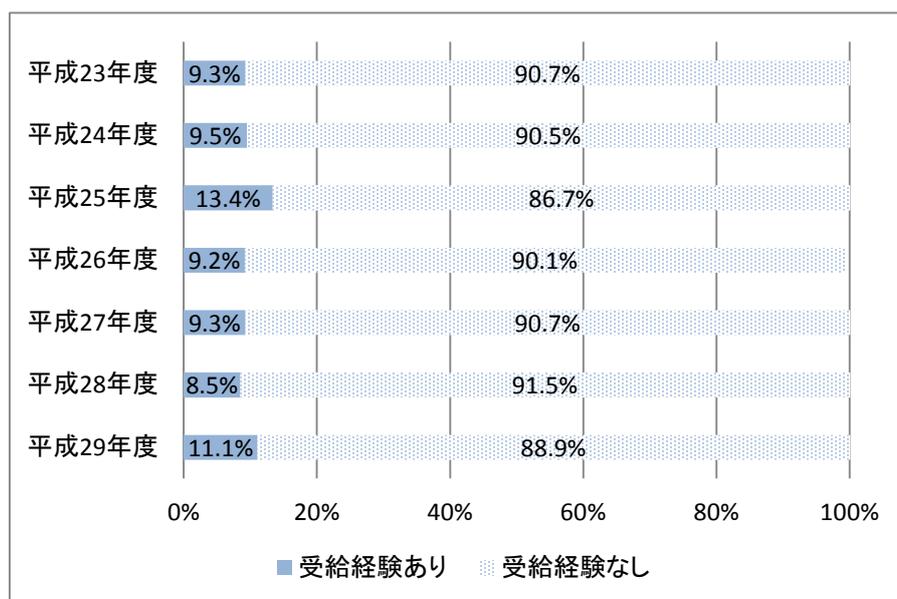
p<.001

(4) 奨学金と学生寮について、過年度との比較

①新入生

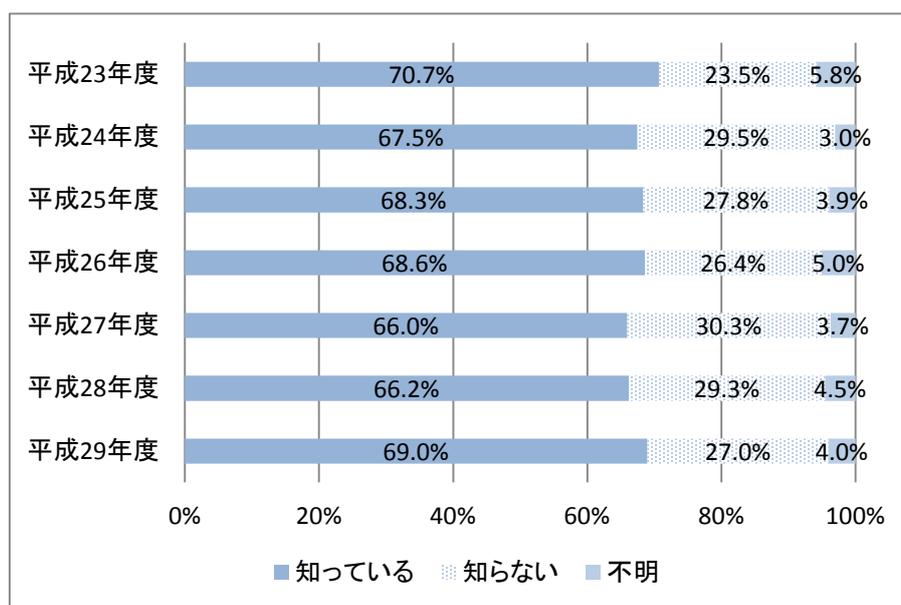
新入生の奨学金等制度受給経験、奨学金等制度の認知、学生寮の認知について過去6年間の結果と比較したものを図表5-1～5-3に示す。

図表5-1は新入生のこれまでの奨学金等制度の受給経験について過去6年間の結果と比較したものである。奨学金受給経験については「経験あり」が11.1%と昨年度より2.6ポイント増加しており、平成25年度調査以来4年ぶりに10%以上の割合を示している。



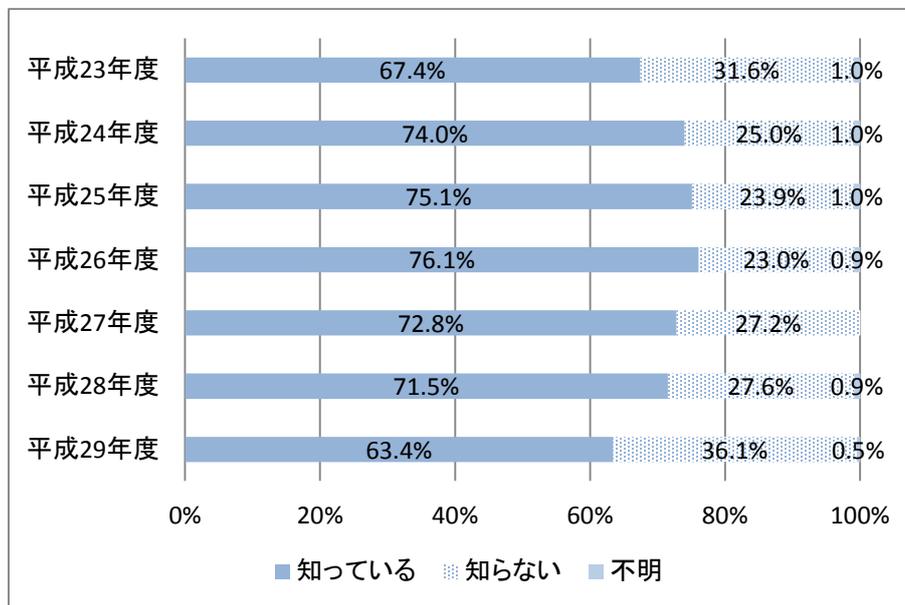
図表 5-1 新入生の奨学金等制度受給経験 過年度比較

図表5-2は新入生の奨学金等制度の認知について過去6年間の結果と比較したものである。奨学金等制度について認知している割合は、「知っている」が69.0%、「知らない」が27.0%であった。



図表 5-2 新入生の奨学金等制度の認知 過年度比較

図表 5-3 は新入生の学生寮認知についての過去 6 年間の結果と比較したものである。「知っている」が 63.4%であり、昨年度と比べて 8.1 ポイント減少している。学生寮認知については、平成 26 年度以降認知率が低下しているが、今年度調査では過去の調査の中で最も低い認知率を示している。

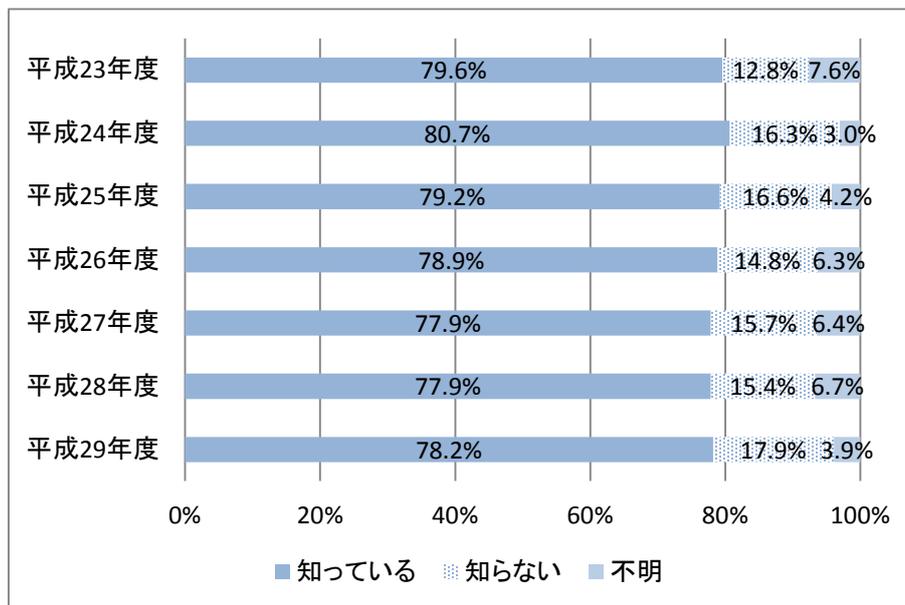


図表 5-3 新入生の学生寮の認知 過年度比較

②保護者

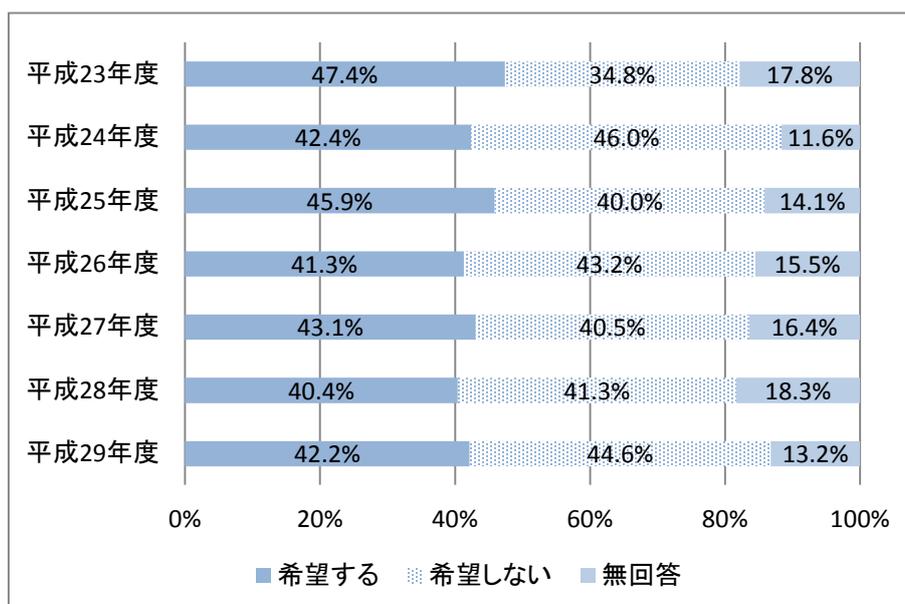
保護者の奨学金等制度の認知・希望、学生寮の認知・希望について過去6年間の結果と比較したものを図表6-1～6-4に示す

図表6-1は保護者の奨学金等制度の認知について過去6年間の結果と比較したものである。「知っている」が78.2%、「知らない」が17.9%であった。「知らない」と回答した割合は過去の調査の中で最も多い割合であった。



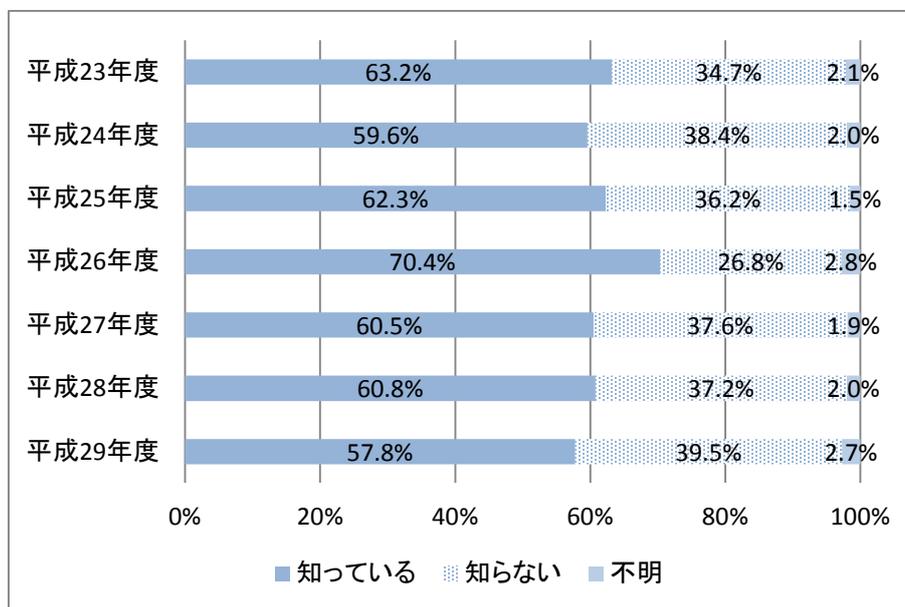
図表 6-1 保護者の奨学金等制度の認知 過年度比較

図表6-2は保護者の奨学金等制度の利用希望について過去5年間の結果と比較したものである。「希望する」が42.2%であり、昨年度の40.4%と比較して2.2ポイント増加している。



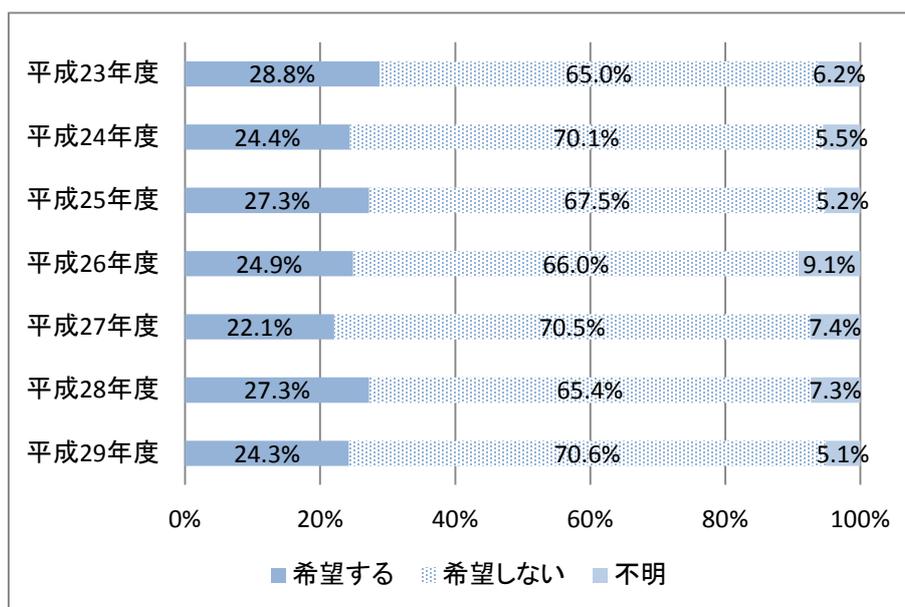
図表 6-2 保護者の奨学金等制度の利用希望 過年度比較

図表 6-3 は保護者の学生寮の認知について過去 6 年間の結果と比較したものである。「知っている」が 57.8%、「知らない」が 39.5%であり、これは過去の調査の中で最も低い認知率を示している。



図表 6-3 保護者の学生寮の認知 過年度比較

図表 6-4 は保護者の学生寮利用希望について過去 6 年間の結果と比較したものである。「希望する」が 24.3%であり、昨年度と比較して 3 ポイント減少している。また「希望しない」と回答した割合は過去の調査の中で最も高く 70.6%であった。



図表 6-4 保護者の学生寮利用希望 過年度比較

第4章 考察および今後の課題

(1) 平成29年度新入生の特徴と考察

第1章、第2章に示した平成29年度新入生調査より明らかになった特徴をまとめる。

1. 新入生の86.6%は「お茶大を第一志望」として入学している

平成29年度新入生において、本学が第一志望である新入生は86.6%と約9割である。昨年度より4.0ポイント減少したものの約9割が第一志望校として入学をしている。特に生活科学部は、本学を第一志望とした学生の割合は91.4%であり、非常に高い。

2. 特にこの1年で頑張ろうと思う活動は「大学の授業」と「友達との交流」である

前述の通り、これまでの学習の成果を発揮して、第一志望である本学に入学した学生は学ぶ意欲も高い。質問項目「大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動」において「大学の授業」に回答した学生は99.3%である。大学としては、学生の高い学びに対する意欲を十分に理解し、教育の質の向上と安心して学ぶことができる学生支援をすることが求められる。次いで「友達との交流」は77.0%である。今回の調査から新たに項目に加えた「留学」に回答した新入生は25.2%であり、グローバルな学びを、留学を通じて求める姿も見受けられた。

3. 卒業後の進路希望として、大学院進学希望が全体で49%であり、理学部は特に多い

大学卒業後の進路希望について、複数回答可として尋ねた結果、全体では「民間企業に就職する」57.7%である。次いで「大学院などに進学する（海外含む）」49.0%、「公務員」33.7%、「教師など専門職」24.5%であった。大学院への進学希望は学部による差異も大きく、理学部では71.0%であるが、文教育学部では35.6%程度であった。

4. 実家から通学する学生は54.2%、自宅外学生は45.8%であり、仕送りがない学生は約1割

入学後の住居の予定として複数回答可として尋ねた結果、全体で「実家から通学」は54.2%、賃貸アパートやマンション居住予定は34.2%、国際学生宿舎は17.8%、お茶大SCCは10.4%であった。また、自宅外通学の学生において、実家から「仕送りはない」と回答した学生は8.7%となり、昨年度より1.2ポイント減少した。こうした学生への経済的支援は必要である。

5. 大学に期待する学生支援活動は「就職支援」

大学の学生支援活動への期待（複数回答）は、「就職支援」に期待する人が79.2%と最も多く、次いで「進路相談」66.6%である。保護者調査でも「就職支援」への期待は85.5%と高く、これは例年通りの傾向である。

(2) 奨学金と学生寮に関する考察

第3章で述べた学生支援における奨学金・学生寮の結果についてまとめ、考察する。

①奨学金

奨学金等制度について新入生の結果をまとめると、「奨学金受給経験のある者」、「入学後の予定住居が実家以外の者」、「学生寮を認知している者」は奨学金等制度を認知している割合が高いことが示された。

また保護者調査の結果では、「家計支持者が母親の者」、「父親の就労形態がパートタイム勤務・無職の者」、「母親の就労形態がフルタイム勤務・自営の者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」、「世帯年収が低い者」、「家計支持者の年収が低い者」、「奨学金受給経験のある者」、「学生寮を認知している者」、「学生寮を希望している者」について、奨学金等制度の利用を希望する割合が高いことが示された。

奨学金等制度の認知について過去6年の結果と比較すると、新入生の認知率は平成28年度までは低下していたが、平成29年度調査では69.0%の認知率を示しており、これは平成23年度調査に次いで過去2番目に高い認知率であった。一方で保護者の認知率は、平成29年度調査では78.2%と、新入生の認知率よりは高い結果を示しているが、「知らない」と回答した割合が17.9%であり、これは過去6年の結果と比較して最も高い割合であった。

保護者が奨学金等制度について「知らない」と回答した割合が過去最高であった一方で、奨学金等制度の種類別に認知を尋ねた結果（複数回答）では、「日本学生支援機構（第一種奨学金）」と「授業料免除」を除いたすべての奨学金等制度の認知が昨年度より2~5ポイント程度高い割合を示していた（第3章図表2-1）。このことをふまえると、複数の奨学金について情報を入手できている者がいる一方で、全く情報を入手できていない者もいることが推察される。より多くの学生への支援が行き届くよう、引き続き情報の周知に努める必要がある。

②学生寮

学生寮について新入生の結果をまとめると、「奨学金受給経験のある者」「入学後の予定住居が実家以外の者」は学生寮を認知している割合が高いことが示された。

また保護者調査の結果では、「家計支持者が母親もしくは本人の者」、「父親が無職あるいは父親がいない者」、「母親がフルタイム勤務もしくは母親がいない者」、「入学後の暮らし向きにゆとりがないと感じている者」、「世帯年収の低い者」、「家計支持者年収の低い者」、「奨学金受給経験がある者」、「学生寮を認知している者」について、学生寮を希望する割合が高いことが示された。

過去6年の調査結果と比較すると、新入生・保護者共に、これまでの調査結果の中で最も低い認知率を示していた。また保護者が学生寮への入寮を「希望しない」と回答した割合は、過去の調査の中で最も高い割合であった。そもそも情報を入手していなければ、選択することもできない。引き続き広報を強化していくことが求められる。

また本学の学部新入生向けの学生寮としては、寮費が安価であり、外国人留学生も入居する国際学生宿舎と、単純な住まいとしてのみならず教育寮としての側面も持つお茶大SCCの2つがある。これら学生寮のメリット・魅力を広く告知し、多くの情報を入手した上でそれぞれが自分にあった選択ができるようにしていく必要がある。

(3) 学生・キャリア支援における課題

平成 29 年度新入生調査および保護者調査を通じて得られた、本学における学生・キャリア支援の課題は次の 3 点である。

① それぞれの志望する進路を実現するキャリア支援の実践

平成 29 年度の新入生は、約 9 割が第一志望として本学に入学し、高い意欲と勤勉さを持った学生である。今年度の新入生は、大学院への進路希望が 5 割程度と多いことが特徴である。また、民間企業、公務員、教員など様々な可能性の中でも具体的に進路を考えているようである。こうした学生が納得できるキャリアを歩めるようなキャリア支援の実践が本学では求められている。進路相談や就職支援への期待が、新入生自身はもとより保護者からも求められている。こうしたニーズを大学として十分に認識し、進路相談や就職（キャリア）支援の利用促進を行い、学生のニーズに応えるとともに、教職員が就職環境について把握した上で支援を充実させていくことが引き続き求められている。

大学としては、低学年から参加できるキャリア支援行事の提供、きめ細かく多様なキャリア支援活動、キャリアデザインプログラムの浸透を目指し、リーダーシップ教育部門とも連携して進めていく必要がある。学生には、高い知識と教養、専門性を活かせるように自分のキャリアを考えるとともに、リーダーシップとコンピテンシーを涵養できるようキャリア支援・キャリア教育を実践することが課題である。

また、本学は保護者である父親・母親が、学生の進路や就職に関与を高くお持ちであることも特徴である。保護者の方々には、毎年実施する後援会総会での就職・進路情報の提供、および大学ホームページを活用しての年間を通じた情報提供など、さらに要請に応じていく必要があるだろう。

② 経済的支援の充実

平成 29 年度は、実家から通学予定の新入生が 54.2%と自宅生の割合が少なく、自宅外通学の学生が約 45%と多いことが特徴である。そして自宅外通学のうち「賃貸アパートやマンション」に居住予定の学生が受ける仕送り金額は、月額 10 万円未満の学生が 55.9%と半数以上である。また「仕送りがない」学生も 8.7%と 1 割に近い。

支援する大学側としては、これらの現状を十分に認識し、日本学生支援機構の奨学金をはじめとし、本学独自の奨学金や経済的支援を学生および保護者に十分に広報することが第一に重要である。また周知することに加え、学生からの相談を教職員がきめ細かく学生支援部門につないでいくことが求められる。すべての学生が、心配がなく学業に専念できるような経済的支援を充実させることが継続的な課題である。

③ 大学院博士（前期）課程在学者へのキャリア支援の充実

本学は、学部卒業後の進路として大学院進学を希望する新入生が全体で 49.0%、特に理学部では 71.0%と多いことは継続的な傾向である。よって学生支援としては、修士修了者へのキャリア支援・キャリア教育を引き続き充実させていく必要がある。これに関して、平成 29 年度より大学院でのキャリア副専攻として「公務員」「教員」コースを設けた。これらのコースでは修士課程修了後に高い専門性を生かしたキャリア形成ができるように、実践力・応用力を身に付けることを目的としている。大学院では、院生が進学時から学生自身が明確なキャリアプランを築きながら、修士課程の 2 年間においても研究や学びと並行してキャリアについて見直すことができるような、大学からのキャリア支援の提供が望まれる。

新入生生活調査

<入学予定者用>

(一般入試合格者および私費外国人留学生)

お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、お茶の水女子大学に合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、みなさんのご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはございません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、()内に具体的な内容を記入して下さい。()内に書ききれない場合は、欄外にご記入下さい。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、あなたや保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**指定の期日（別紙参照）までに返送をお願いいたします。**

それでは、よろしくお願いいたします。

II. これまでの進路選択や学生生活について、お聞きします。

(1) 出身小学校・中学の設置者について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。
転校している場合は、小学校6年次、中学3年次の学校について、お答えください。

小学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ⑳

中学校は → 1 国立 2 公立 3 私立 4 海外 ㉑

(2) あなたは小学校・中学・高校に入学するために受験をしましたか。
それぞれあてはまるものに○をつけてください。

小学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉒

中学校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉓

高校は → 1 受験をした 2 受験をしていない 3 覚えていない ㉔

(3) 本学の受験を決めた時期について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。高等学校卒業程度認定試験合格者は、今回の受験前の1年間を高校3年としてお考えください。

1. 高校入学以前 4. 高校3年4～8月 7. 高校3年1・2月 ㉕

2. 高校1年 5. 高校3年9・10月 8. 高校卒業以降 ㉖

3. 高校2年 6. 高校3年11・12月

(4) 受験時には、本学を第一志望としていましたか。

1. はい 2. いいえ ㉗

* (5) 高校卒業から現在までの間に経験したこと**すべて**に○をつけてください。

1. 高卒後、他の高等教育機関（高専、専門学校、短大、他の大学など）に入学した ㉘

2. 高卒後、フルタイムで働いた

3. 高卒後、浪人した ㉙

4. 高卒後、海外留学をした

5. この中にはない

(6) 高校時代に、熱心に取り組んでいた活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

1. 高校の授業 4. 授業以外での勉強 7. ボランティア活動 ㉚

2. 部活動 5. 友達との交流 8. その他 () ㉛

3. アルバイト活動 6. 趣味 9. 特にない

Ⅲ. 大学入学後の学生生活について、お聞きします。

(1) 大学入学後に居住予定の都道府県**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 東京都 | 4. 神奈川県 |
| 2. 埼玉県 | 5. その他の県 () |
| 3. 千葉県 | |
- ③7

* (2) 大学入学後に予定している住居**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 実家 | 4. 大学の寮 (お茶大 SCC) |
| 2. 実家以外の賃貸アパートやマンション | 5. 大学以外の寮 |
| 3. 大学の寮 (国際学生宿舎) | 6. その他 () |
- ③8

(3) 【(2) で「賃貸アパートやマンション」に○をつけた方にお伺いします】

1か月の家賃 (管理費込み) の予算をご記入ください。千円未満は四捨五入してください。

万 千円

③9~④0

(4) 【(2) で「2~6 (実家以外)」に○をつけた方にお伺いします】

1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはない

④1④2

【全員の方に】

⑩=2

(5) 大学に入学後、特にこの1年で頑張ろうと思う活動として、あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 大学の授業 | 4. 授業以外での勉強 | 7. ボランティア活動 |
| 2. クラブ・サークル活動 | 5. 友達との交流 | 8. その他 () |
| 3. アルバイト活動 | 6. 趣味 | 9. 特にない |
- ⑪

(6) 【(5) で「アルバイト活動」に○をつけた方にお伺いします】

アルバイト活動をどの程度する予定ですか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 長期休暇期間 (夏、冬、春休み) のみ | 5. 学期中に不定期的に、長期休暇期間にも |
| 2. 学期中、不定期 | 6. その他 () |
| 3. 学期中、定期的に | 7. 未定 |
| 4. 学期中に定期的に、長期休暇期間にも | |
- ⑫

【全員の方に】

(7) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- 1. ほぼ全額を保護者が負担予定
- 2. 一部をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む) ⑬
- 3. ほぼ全額をあなたが負担予定 (奨学金、アルバイトなども含む)

* (8) これまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	⑭
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑮⑯
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑰⑱
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑲⑳
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉑㉒
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉓㉔
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉕㉖
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㉗㉘
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㉙㉚

(9) 以下の奨学金などの制度について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

- 1. 日本学生支援機構 (第一種奨学金)
- 2. 日本学生支援機構 (第二種奨学金)
- 3. 日本学生支援機構 (緊急・応急採用奨学金)
- 4. 地方公共団体の奨学金
- 5. 民間奨学団体の奨学金
- 6. みがかずば奨学金
- 7. 桜蔭会奨学金 (3年生向け)
- 8. 育児支援奨学金
- 9. 入学科免除制度
- 10. 入学科徴収猶予制度 ⑳
- 11. 授業料免除制度 ㉑
- 12. 授業料徴収猶予制度
- 13. 知っているものはない

(10) 本学の学生寮について、知っているもの**すべて**に○をつけてください。

- 1. 国際学生宿舎
- 2. お茶大 SCC
- 3. 小石川寮 (大学院生向け)
- 4. 知らない ㉒

(11) 以下の本学の学生寮について、入寮を希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- 1. 国際学生宿舎
- 2. お茶大 SCC
- 3. 小石川寮 (大学院生向け)
- 4. 特にない ㉓

(12) 大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- 1. 授業や単位
- 2. 就職や将来
- 3. 人間関係
- 4. 生活・経済面
- 5. 健康面
- 6. 日常生活全般 ㉔
- 7. その他 ()
- 8. 特にない

(13) 今の気持ち（不安・心配事）について、以下の項目はどの程度あてはまると思いますか。
あてはまる番号にそれぞれ**1つ**○をつけてください。

	あてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
・充実したキャンパスライフを送れるか	1	2	3	4
・友達ができるか	1	2	3	4
・大学になじめるか	1	2	3	4
・金銭面で負担がかからないか	1	2	3	4
・授業についていけるか	1	2	3	4
・進級や卒業ができるか	1	2	3	4
・将来の目標が見つかるか	1	2	3	4
・卒業後ちゃんと就職できるか	1	2	3	4

③6

③7

③8

③9

④0

④1

④2

④3

(14) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|------------|
| 1. 経済的支援 | 4. 心理相談 | 7. 就職支援 |
| 2. 生活相談 | 5. 学習支援 | 8. 課外活動支援 |
| 3. 健康相談 | 6. 進路相談 | 9. その他 () |
| | | 10. 特にない |

④4

IV. 将来の進路について、お聞きします。

* (1) 大学卒業後の進路について、どのような希望をもっていますか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 民間企業に就職する | 5. 大学院などに進学する (海外含む) |
| 2. 公務員になる | 6. その他 () |
| 3. 教師などの専門職につく | 7. 決めていない |
| 4. 自営など、1から3以外の形で就職する | |

④5

新入生生活調査

＜入学予定者の保護者用＞

(一般入試合格者)

ご子女が、お茶の水女子大学に入学を予定されているみなさまへ

この度は、ご子女のお茶の水女子大学合格おめでとうございます。お茶の水女子大学は、ご子女のご入学を歓迎し、今後の学生生活が実りあるものになるよう祈念しております。

さて、本学では、入学予定者およびその保護者の方にアンケートを実施いたします。これは、入学を予定している方の実情をふまえ、有益な学生支援の検討および実施を行うための資料とすることを目的としています。具体的には、

1. 新入生個々の大学教育や将来への多様なニーズを把握し、適切な学生支援事業を入学時から行うために、新入生個々の情報を得る。
2. 新入生の標準的な学生生活の状況を把握する。
3. 新入生の家庭状況からその経済的基盤を推定することにより、お茶の水女子大学における学生支援事業を改善するための基礎資料とする。
4. 国立大学入学者の学生生活・家庭状況・進路状況などに関する調査研究を行うための基礎資料とする。

上記4点を中心にするものです。

ご回答いただきました内容は、統計的に処理をします。個人としてのご回答が公表されることはありません。また、調査結果は上記の目的以外に使用することはありません。

調査票中、質問項目の左に*がついている項目は、本学入学後も、新入生個人の情報として、学生支援を行うために利用しますが、回答に含まれる個人情報には、お茶の水女子大学個人情報の管理に関する規則及び関係諸規定に基づき、厳格に管理いたします。

なお、アンケートにご協力いただけなかった場合でも、本学教育課程その他に不利益を被ることはございません。また、入学を辞退された方の個人情報は、入学辞退届を受理次第、破棄いたします。

どうかアンケートの趣旨をご理解賜り、ご協力いただけますよう、お願い申し上げます。

本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。

【実施主体】 国立大学法人 お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター

【問い合わせ先】 新入生生活調査担当 (03-5978-5147)

【個人情報について】

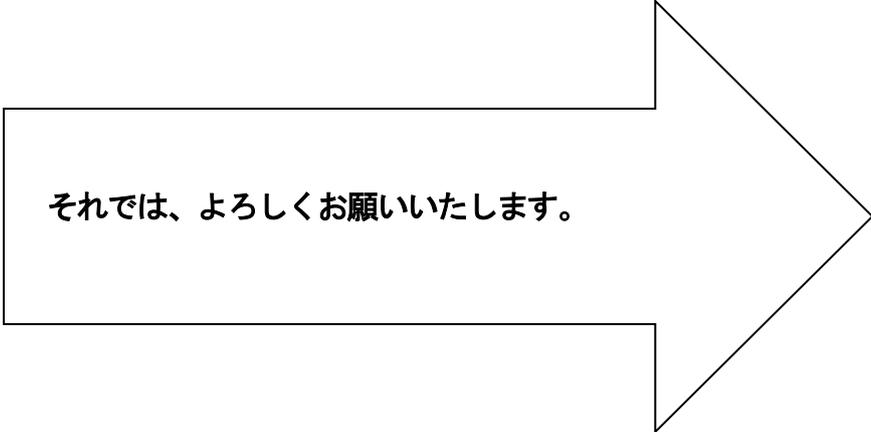
お茶の水女子大学では、個人情報の管理に関する規程および個人情報の公開に関する取扱要項等の規定を定めて、本学が保有する個人情報の適正な管理に努めています。

http://www.ocha.ac.jp/plaza/info_public/individual/index.html

以下のご回答にあたってのご注意をお読みのうえ、ご回答願います。

ご回答にあたってのお願い

- ・お答えは、黒鉛筆または黒ボールペンで、あてはまる回答についている数字を○でかこんでいただく場合と、マスの中に数字を記入する場合があります。「その他」にあてはまる時は、数字を○でかこみ、()内に具体的な内容を記入してください。()内に書ききれない場合は、欄外にご記入ください。
- ・質問番号順にお答え下さい。質問の中には、一部の方だけにだけおたずねするものがありますが、その場合は指示に従って下さい。
- ・「⑨⑩=01」とか⑪などの記号は、コンピュータで処理するためのものですので、質問やお答えとは関係ありません。
- ・表紙依頼文にも一部記載いたしましたが、アンケートの最後に、ご回答内容の研究調査へのデータ使用および皆様個人への学生支援のためのご回答の管理・登録への許可をお伺いしております。許可いただけない場合は、使用することはありません。
- ・アンケートは、大学で付けたID番号で管理をしております。**アンケート用紙には、ご子女や保護者の方のお名前、住所などは記載せず**ご回答、ご返送ください。
- ・ご回答いただきました調査票は、同封いたしました調査返送用封筒に入れていただき、**他の入学手続関係書類に同封し、締め切り期日までに返送をお願いいたします。**



それでは、よろしく願いいたします。

【全員の方に】

(7) ご子女が大学に入学した後のご家庭の暮らし向きについて、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ゆとりがない 2. あまりゆとりがない 3. 多少ゆとりがある 4. ゆとりがある ⑲

* (8) ご家庭の世帯年収（学校に在学する者を除く同一世帯全員の年収。税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満 4. 800万円以上1000万円未満 7. 1400万円以上1600万円未満
 2. 400万円以上600万円未満 5. 1000万円以上1200万円未満 8. 1600万円以上1800万円未満 ⑳
 3. 600万円以上800万円未満 6. 1200万円以上1400万円未満 9. 1800万円以上

* (9) 家計を主に支えている方の年収（税込）について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 400万円未満 4. 800万円以上1000万円未満 7. 1400万円以上1600万円未満
 2. 400万円以上600万円未満 5. 1000万円以上1200万円未満 8. 1600万円以上1800万円未満 ㉑
 3. 600万円以上800万円未満 6. 1200万円以上1400万円未満 9. 1800万円以上

(10) 本学に入学予定のご子女への、1か月あたりの仕送り予定額についてご記入ください。
 万円未満は四捨五入してください。

万円 0 仕送りはしない ㉒㉓

(11) 授業料の負担予定について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. ほぼ全額を保護者が負担予定
 2. 一部をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む） ㉔
 3. ほぼ全額をご子女本人が負担予定（奨学金、アルバイトなども含む）

* (12) 本学に入学予定のご子女がこれまでに受けたことのある奨学金・学費免除などの制度がございましたら、その**すべて**について、該当の番号に○をして、具体的な名称および給付型・貸与型についてご記入ください。

	具体的な名称	給付・貸与	
1. 日本学生支援機構の奨学金		1. 給与 2. 貸与	⑳㉑
2. 地方公共団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉒㉓
3. 学校独自の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉔㉕
4. 民間奨学団体の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉖㉗
5. 新聞社の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉘㉙
6. その他の奨学金		1. 給与 2. 貸与	㉚㉛
7. 学費免除		1. 給与 2. 貸与	㉜㉝
8. 特待生		1. 給与 2. 貸与	㉞㉟

(13) 以下の奨学金などの制度について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|----------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学料免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度 | ④② |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④③ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 知っているものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(14) 以下の奨学金などの制度について、希望されるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|---------------|----|
| 1. 日本学生支援機構（第一種奨学金） | 8. 育児支援奨学金 | |
| 2. 日本学生支援機構（第二種奨学金） | 9. 入学料免除制度 | |
| 3. 日本学生支援機構（緊急・応急採用奨学金） | 10. 入学料徴収猶予制度 | ④④ |
| 4. 地方公共団体の奨学金 | 11. 授業料免除制度 | ④⑤ |
| 5. 民間奨学団体の奨学金 | 12. 授業料徴収猶予制度 | |
| 6. みがかずば奨学金 | 13. 希望するものはない | |
| 7. 桜蔭会奨学金（3年生向け） | | |

(15) 以下の本学の学生寮について、ご存知のもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 知らない | ④⑥ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(16) 以下の本学の学生寮について、入寮を希望するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|
| 1. 国際学生宿舎 | 2. お茶大 SCC | 3. 小石川寮（大学院生向け） | 4. 特にない | ④⑦ |
|-----------|------------|-----------------|---------|----|

(17) 受験から入学までに困ったこと・悩んだこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------------------|--|--|---|----|
| 1. 子どもの体調や精神面のこと | | | | |
| 2. 受験・入学のための費用準備 | | | | |
| 3. 受験・入学手続きのスケジュールの管理 | | | | |
| 4. 入学後の住まい探し | | | | ④⑧ |
| 5. 入学時に必要な生活用品や教材の準備 | | | | |
| 6. その他（ | | | ） | |
| 7. 特にない | | | | |

(18) ご子女の大学生活が始まって心配なこと**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|----|
| 1. 授業や単位 | 5. 健康面 | |
| 2. 就職や将来 | 6. 日常生活全般 | ④⑨ |
| 3. 人間関係 | 7. その他（ | ） |
| 4. 生活・経済面 | 8. 特にない | |

(19) 本学の学生支援活動で、期待するもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 経済的支援 | 4. 心理相談 | 7. 就職支援 |
| 2. 生活相談 | 5. 学習支援 | 8. 課外活動支援 |
| 3. 健康相談 | 6. 進路相談 | 9. その他 () |
| | 10. 特になし | |

50

(20) ご両親の最終学歴について、それぞれあてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

父親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

51

母親は

1. 中学・高校 2. 高専 3. 専門学校・短大 4. 大学 5. 大学院

52

・研究調査のために、個人が特定されないデータとして、本調査の回答を用いる許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

53

・皆様のご子女に対する適切な学生支援を行うために、*のついた質問に対する回答を個人の情報として登録・管理する許可をいただけますか。

1. はい 2. いいえ

54

・ご子女がお茶の水女子大学に合格した際の受験番号をご記入ください。

()

56～62

・ご回答者とご子女との関係について、あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. その他 (続き柄は:)

63

ご協力、ありがとうございました。同封の返信用封筒に封入の上、他の入学関係書類に同封して、返送願います。

付表3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)1/6

			学部			
		総数	文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
I.(1)		404	163	124	116	1
	学部		40.3%	30.7%	28.7%	
I.(2)	出身高校設置者	404	163	124	116	1
	公立	64.6%	69.9%	53.2%	69.8%	0.0%
	私立	30.7%	25.2%	42.7%	25.9%	0.0%
	国立	3.0%	1.8%	3.2%	4.3%	0.0%
	海外	1.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	高等学校卒業程度認定試験	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
I.(2)	出身高校・種類	397	158	123	116	0
	該当者	64.0%	67.1%	59.3%	64.7%	0.0%
	3年制	35.0%	30.4%	40.7%	35.3%	0.0%
	中高一貫	1.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答					
I.(2)	出身高校・学科	397	158	123	116	0
	該当者	97.0%	94.3%	99.2%	98.3%	0.0%
	普通科(理数科も含む)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	総合学科	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	専門学科(商業・工業、家庭、農業科など)	1.5%	2.5%	0.0%	1.7%	0.0%
	その他	1.3%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%
	無回答					
I.(3)	出身都道府県	404	163	124	116	1
	総数	97.0%	96.3%	97.6%	98.3%	0.0%
	国内	1.5%	3.1%	0.8%	0.0%	0.0%
	海外	1.5%	0.6%	1.6%	1.7%	100.0%
	無回答					
I.(4)	高校3年次の住居	404	163	124	116	1
	総数	95.0%	95.1%	95.2%	95.7%	0.0%
	実家	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%
	実家以外の賃貸アパートやマンション	1.2%	0.6%	2.4%	0.9%	0.0%
	高校の寮	1.7%	2.5%	0.0%	2.6%	0.0%
	高校以外の寮	1.0%	0.6%	1.6%	0.9%	0.0%
	その他	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%
	無回答					
I.(5)	家族構成	404	163	124	116	1
	総数	94.6%	93.3%	96.0%	95.7%	0.0%
	父親	98.8%	99.4%	98.4%	99.1%	0.0%
	母親	19.6%	23.3%	13.7%	20.7%	0.0%
	兄	23.8%	20.9%	27.4%	24.1%	0.0%
	姉	29.2%	29.4%	28.2%	30.2%	0.0%
	弟	25.5%	22.1%	30.6%	25.0%	0.0%
	妹	36.6%	39.3%	37.9%	31.9%	0.0%
	祖父	47.5%	50.3%	45.2%	46.6%	0.0%
	祖母	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	夫	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	息子	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	娘	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%
	その他	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	無回答					
I.(6)-a	兄弟姉妹人数	335	135	103	97	0
	該当者	71.6%	73.3%	70.9%	70.1%	0.0%
	2人	25.4%	22.2%	27.2%	27.8%	0.0%
	3人	3.0%	4.4%	1.9%	2.1%	0.0%
	4人以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答					
I.(6)-b	第何子	335	135	103	97	0
	該当者	52.8%	51.9%	56.3%	50.5%	0.0%
	第一子	37.3%	37.8%	35.9%	38.1%	0.0%
	第二子	9.0%	8.9%	7.8%	10.3%	0.0%
	第三子	0.9%	1.5%	0.0%	1.0%	0.0%
	第四子以降	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答					
I.(7)	高等教育機関に進学している兄弟姉妹	335	135	103	97	0
	該当者	59.7%	59.3%	56.3%	63.9%	0.0%
	いない	36.1%	36.3%	39.8%	32.0%	0.0%
	1人	3.3%	3.0%	3.9%	3.1%	0.0%
	2人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4人以上	0.9%	1.5%	0.0%	1.0%	0.0%
	無回答					
I.(8)	私立の学校に進学している兄弟姉妹	335	135	103	97	0
	該当者	42.7%	51.9%	29.1%	44.3%	0.0%
	いない	46.6%	37.0%	61.2%	44.3%	0.0%
	1人	8.4%	6.7%	8.7%	10.3%	0.0%
	2人	0.9%	1.5%	1.0%	0.0%	0.0%
	3人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4人以上	1.5%	3.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	無回答					
II.(1)-a	小学校の設置者	404	163	124	116	1
	総数	3.2%	4.9%	1.6%	2.6%	0.0%
	国立	91.8%	89.0%	91.9%	95.7%	100.0%
	公立	4.0%	4.9%	5.6%	0.9%	0.0%
	私立	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%	0.0%
	海外	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答					

付表3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)2/6

			総数	学部			
				文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
Ⅱ.(1)-b	中学校の設置者	総数	404	163	124	116	1
		国立	6.4%	6.7%	6.5%	6.0%	0.0%
		公立	67.1%	71.8%	55.6%	72.4%	100.0%
		私立	25.2%	20.2%	37.1%	19.8%	0.0%
		海外	0.7%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%
		無回答	0.5%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
Ⅱ.(2)-a	小学校受験の有無	総数	404	163	124	116	1
		受験をした	7.4%	7.4%	10.5%	4.3%	0.0%
		受験をしていない	92.6%	92.6%	89.5%	95.7%	100.0%
		覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅱ.(2)-b	中学校受験の有無	総数	404	163	124	116	1
		受験をした	38.9%	33.1%	46.8%	38.8%	0.0%
		受験をしていない	61.1%	66.9%	53.2%	61.2%	100.0%
		覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅱ.(2)-c	高校受験の有無	総数	404	163	124	116	1
		受験をした	68.1%	71.2%	63.7%	68.1%	100.0%
		受験をしていない	31.7%	28.8%	35.5%	31.9%	0.0%
		覚えていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(3)	受験決定時期	総数	404	163	124	116	1
		高校入学以前	2.5%	4.3%	1.6%	0.9%	0.0%
		高校1年	14.1%	11.0%	12.1%	20.7%	0.0%
		高校2年	24.3%	25.2%	20.2%	26.7%	100.0%
		高校3年4~8月	20.0%	20.9%	19.4%	19.8%	0.0%
		高校3年9・10月	8.4%	9.2%	10.5%	5.2%	0.0%
		高校3年11・12月	9.9%	10.4%	9.7%	9.5%	0.0%
		高校3年1・2月	10.4%	12.9%	12.9%	4.3%	0.0%
		高校卒業以降	9.9%	6.1%	12.9%	12.1%	0.0%
		無回答	0.5%	0.0%	0.8%	0.9%	0.0%
Ⅱ.(4)	第一志望	総数	404	163	124	116	1
		はい	86.6%	90.2%	77.4%	91.4%	100.0%
		いいえ	13.1%	9.2%	22.6%	8.6%	0.0%
		無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅱ.(5)	高校卒業から大学入学までの間に経験したこと	総数	404	163	124	116	1
		高卒後、他の高等教育機関に入学した	1.2%	0.6%	0.0%	3.4%	0.0%
		高卒後、フルタイムで働いた	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		高卒後、浪人した	14.6%	5.5%	19.4%	22.4%	0.0%
		高卒後、海外留学をした	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		この中にはない	72.8%	81.6%	64.5%	69.0%	100.0%
		無回答	11.9%	12.3%	16.1%	6.9%	0.0%
Ⅱ.(5)	高校時代取り組んでいた活動	総数	404	163	124	116	1
		高校の授業	81.7%	86.5%	82.3%	75.0%	0.0%
		部活動	76.7%	76.7%	76.6%	76.7%	100.0%
		アルバイト活動	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
		授業以外での勉強	46.0%	50.3%	42.7%	44.0%	0.0%
		友達との交流	65.8%	68.1%	66.1%	62.1%	100.0%
		趣味	41.1%	46.0%	43.5%	31.9%	0.0%
		ボランティア活動	6.9%	12.3%	3.2%	3.4%	0.0%
		その他	7.9%	9.2%	6.5%	7.8%	0.0%
		特にない	0.5%	0.0%	0.8%	0.9%	0.0%
		無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(1)	居住予定の都道府県	総数	404	163	124	116	1
		東京都	63.1%	65.0%	56.5%	67.2%	100.0%
		埼玉県	12.6%	14.1%	14.5%	8.6%	0.0%
		千葉県	8.4%	8.6%	8.9%	7.8%	0.0%
		神奈川県	11.4%	8.0%	13.7%	13.8%	0.0%
		その他の県	4.0%	3.1%	6.5%	2.6%	0.0%
		無回答	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(2)	居住予定の住居	総数	404	163	124	116	1
		実家	54.2%	44.8%	68.5%	51.7%	100.0%
		実家以外の賃貸アパートやマンション	34.2%	38.7%	24.2%	38.8%	0.0%
		大学の寮(国際学生宿舎)	17.8%	20.9%	12.9%	19.0%	0.0%
		大学の寮(お茶大SCC)	10.4%	12.3%	8.1%	10.3%	0.0%
		大学以外の寮	6.7%	10.4%	1.6%	6.9%	0.0%
		その他	3.7%	4.9%	4.0%	1.7%	0.0%
		無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅲ.(3)	家賃	該当者	138	63	30	45	0
		5万円未満	2.9%	3.2%	0.0%	4.4%	0.0%
		5~7万円台	53.6%	52.4%	43.3%	62.2%	0.0%
		8~9万円台	25.4%	31.7%	30.0%	13.3%	0.0%
		10~12万円台	5.8%	4.8%	10.0%	4.4%	0.0%
		13~14万円台	3.6%	3.2%	10.0%	0.0%	0.0%
		15万円以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		無回答	8.7%	4.8%	6.7%	15.6%	0.0%

付表3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)3/6

				学部				
				文教育学部	理学部	生活科学部	無回答	
		総数						
Ⅲ.(4)	仕送り額	該当者	195	93	43	59	0	
		仕送りはない	8.7%	8.6%	14.0%	5.1%	0.0%	
		5万円未満	9.2%	9.7%	7.0%	10.2%	0.0%	
		5～7万円台	32.3%	30.1%	27.9%	39.0%	0.0%	
		8～9万円台	5.6%	5.4%	4.7%	6.8%	0.0%	
		10～12万円台	20.0%	19.4%	23.3%	18.6%	0.0%	
		13～14万円台	5.1%	5.4%	7.0%	3.4%	0.0%	
		15万円以上	9.2%	10.8%	11.6%	5.1%	0.0%	
	無回答	9.7%	10.8%	4.7%	11.9%	0.0%		
Ⅲ.(5)	入学後の活動	総数	404	163	124	116	1	
		大学の授業	99.3%	99.4%	99.2%	99.1%	100.0%	
		クラブ・サークル活動	73.5%	74.8%	67.7%	77.6%	100.0%	
		アルバイト活動	65.8%	68.1%	62.1%	66.4%	100.0%	
		授業以外での勉強	54.2%	61.3%	49.2%	50.0%	0.0%	
		友達との交流	77.0%	74.8%	77.4%	80.2%	0.0%	
		趣味	49.8%	57.1%	49.2%	40.5%	0.0%	
		ボランティア活動	22.5%	26.4%	15.3%	25.0%	0.0%	
		留学	25.2%	30.1%	19.4%	24.1%	0.0%	
		その他	1.7%	2.5%	0.8%	1.7%	100.0%	
		特になし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(6)	アルバイト活動予定	該当者	266	111	77	77	1	
		長期休暇期間(夏、冬、春休み)のみ	5.6%	9.0%	1.3%	5.2%	0.0%	
		学期中、不定期	1.5%	1.8%	2.6%	0.0%	0.0%	
		学期中、定期的に	9.0%	5.4%	9.1%	14.3%	0.0%	
		学期中に定期的に、長期休暇期間にも	51.1%	50.5%	45.5%	57.1%	100.0%	
		学期中に不定期に、長期休暇期間にも	12.0%	12.6%	13.0%	10.4%	0.0%	
		その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		未定	20.7%	20.7%	28.6%	13.0%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(7)	希望するアルバイト活動	該当者	28	14	10	4	0	
		家庭教師・塾講師	67.9%	78.6%	50.0%	75.0%	0.0%	
		商品などの販売(店員、レジ係など)	42.9%	35.7%	50.0%	50.0%	0.0%	
		サービス関係(接客、調理など)	57.1%	42.9%	70.0%	75.0%	0.0%	
		事務	21.4%	21.4%	30.0%	0.0%	0.0%	
		運搬、梱包、清掃等の労働	7.1%	7.1%	10.0%	0.0%	0.0%	
		その他	3.6%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(8)	授業料の負担予定	総数	404	163	124	116	1	
		ほぼ全額を保護者が負担予定	83.9%	84.7%	87.1%	79.3%	100.0%	
		一部をあなたが負担予定	13.1%	10.4%	10.5%	19.8%	0.0%	
		ほぼ全額をあなたが負担予定	1.7%	3.1%	1.6%	0.0%	0.0%	
		無回答	1.2%	1.8%	0.8%	0.9%	0.0%	
Ⅲ.(9)	受けたことのある奨学金	総数	404	163	124	116	1	
		日本学生支援機構の奨学金	1.2%	0.6%	0.8%	2.6%	0.0%	
		地方公共団体の奨学金	1.7%	0.6%	1.6%	3.4%	0.0%	
		学校独自の奨学金	2.0%	1.2%	3.2%	1.7%	0.0%	
		民間奨学団体の奨学金	1.5%	2.5%	0.8%	0.9%	0.0%	
		新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他の奨学金	0.7%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	
		学費免除	2.2%	2.5%	1.6%	2.6%	0.0%	
		特待生	4.5%	4.3%	7.3%	1.7%	0.0%	
	無回答	88.9%	89.0%	86.3%	91.4%	100.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	5	1	1	3	0	
		記入あり	60.0%	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%	
	記入なし	40.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-2 地方公共団体の奨学金	該当者	7	1	2	4	0	
		記入あり	71.4%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
	記入なし	28.6%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-3 学校独自の奨学金	該当者	8	2	4	2	0	
		記入あり	87.5%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
	記入なし	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	6	4	1	1	0	
		記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0	0	
		記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-6 その他の奨学金	該当者	3	2	1	0	0	
		記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-7 学費免除	該当者	9	4	2	3	0	
		記入あり	77.8%	75.0%	50.0%	100.0%	0.0%	
	記入なし	22.2%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	奨学金の具体的名称-8 特待生	該当者	18	7	9	2	0	
		記入あり	61.1%	85.7%	44.4%	50.0%	0.0%	
	記入なし	38.9%	14.3%	55.6%	50.0%	0.0%		

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)4/6

		総数	学部					
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答		
Ⅲ.(9)	該当者	5	1	1	3	0		
	奨学金／給与・貸与-1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	日本学生支援機構の奨学金	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	7	1	2	4	0		
	奨学金／給与・貸与-2	85.7%	100.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
	地方公共団体の奨学金	14.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	8	2	4	2	0		
	奨学金／給与・貸与-3	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	学校独自の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	6	4	1	1	0		
	奨学金／給与・貸与-4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	民間奨学団体の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	0	0	0	0	0		
	奨学金／給与・貸与-5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	3	2	1	0	0		
	奨学金／給与・貸与-6	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		
	その他の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	9	4	2	3	0		
	奨学金／給与・貸与-7	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
	学費免除	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(9)	該当者	18	7	9	2	0		
	奨学金／給与・貸与-8	88.9%	71.4%	100.0%	100.0%	0.0%		
	特待生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無回答	11.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(10)	奨学金の認知	総数	404	163	124	116	1	
		日本学生支援機構(第一種奨学金)	42.1%	44.2%	40.3%	41.4%	0.0%	
		日本学生支援機構(第二種奨学金)	38.4%	40.5%	35.5%	38.8%	0.0%	
		日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	6.9%	7.4%	6.5%	6.9%	0.0%	
		地方公共団体の奨学金	14.6%	17.8%	12.9%	12.1%	0.0%	
		民間奨学団体の奨学金	16.8%	22.1%	13.7%	12.9%	0.0%	
		みがかずば奨学金	46.0%	51.5%	34.7%	50.9%	0.0%	
		桜蔭会奨学金(3年生向け)	8.2%	11.7%	5.6%	6.0%	0.0%	
		育児支援奨学金	2.2%	1.8%	1.6%	3.4%	0.0%	
		入学料免除制度	17.3%	23.9%	13.7%	12.1%	0.0%	
		授業料徴収猶予制度	9.2%	12.9%	6.5%	6.9%	0.0%	
		授業料免除制度	19.8%	22.7%	15.3%	20.7%	0.0%	
		授業料徴収猶予制度	10.6%	14.1%	7.3%	9.5%	0.0%	
		知っているものはない	27.0%	22.1%	34.7%	25.0%	100.0%	
	無回答	4.0%	2.5%	5.6%	4.3%	0.0%		
Ⅲ.(11)	知っている学生寮	総数	404	163	124	116	1	
		国際学生寮	51.0%	55.8%	36.3%	60.3%	0.0%	
		お茶大SCC	60.1%	68.7%	41.9%	68.1%	0.0%	
		小石川寮(大学院生向け)	29.2%	27.6%	20.2%	41.4%	0.0%	
		知らない	36.1%	28.8%	53.2%	27.6%	100.0%	
		無回答	0.5%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	
Ⅲ.(11)	希望する学生寮 (※一般入試のみ)	総数	341	130	106	104	1	
		国際学生寮	18.5%	22.3%	9.4%	23.1%	0.0%	
		お茶大SCC	9.4%	11.5%	3.8%	12.5%	0.0%	
		小石川寮(大学院生向け)	0.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	
		知らない	77.7%	74.6%	88.7%	70.2%	100.0%	
		無回答	1.5%	0.8%	1.9%	1.9%	0.0%	
Ⅲ.(12)	心配なこと	総数	404	163	124	116	1	
		授業や単位	66.3%	63.2%	67.7%	69.0%	100.0%	
		就職や将来	54.0%	64.4%	46.0%	47.4%	100.0%	
		人間関係	54.7%	54.0%	58.1%	52.6%	0.0%	
		生活・経済面	37.1%	42.9%	29.0%	37.9%	0.0%	
		健康面	16.1%	15.3%	11.3%	22.4%	0.0%	
		日常生活全般	28.5%	33.7%	19.4%	31.0%	0.0%	
		その他	1.0%	1.2%	0.8%	0.9%	0.0%	
		特になし	6.2%	3.7%	8.1%	7.8%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-1	総数	404	163	124	116	1	
		あてはまる	30.7%	30.7%	32.3%	28.4%	100.0%	
		充実したキャンパスライフを送れる か	ある程度あてはまる	40.1%	42.3%	36.3%	41.4%	0.0%
		あまりあてはまらない	20.5%	19.6%	22.6%	19.8%	0.0%	
		あてはまらない	8.4%	7.4%	8.9%	9.5%	0.0%	
		無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	
		あてはまる(計)	70.8%	73.0%	68.5%	69.8%	100.0%	
	あてはまらない(計)	29.0%	27.0%	31.5%	29.3%	0.0%		
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-2	総数	404	163	124	116	1	
		あてはまる	33.2%	31.9%	33.9%	33.6%	100.0%	
		友達ができるか	ある程度あてはまる	35.9%	35.6%	39.5%	32.8%	0.0%
		あまりあてはまらない	22.5%	25.2%	17.7%	24.1%	0.0%	
		あてはまらない	8.2%	7.4%	8.9%	8.6%	0.0%	
		無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	
		あてはまる(計)	69.1%	67.5%	73.4%	66.4%	100.0%	
	あてはまらない(計)	30.7%	32.5%	26.6%	32.8%	0.0%		

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)5/6

			総数	学部			
				文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-3 大学になじめるか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	27.5%	25.2%	27.4%	30.2%	100.0%
		ある程度あてはまる	39.6%	39.3%	41.1%	38.8%	0.0%
		あまりあてはまらない	23.5%	24.5%	21.8%	24.1%	0.0%
		あてはまらない	8.9%	10.4%	9.7%	6.0%	0.0%
		無回答	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%
		あてはまる(計)	67.1%	64.4%	68.5%	69.0%	100.0%
	あてはまらない(計)	32.4%	35.0%	31.5%	30.2%	0.0%	
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-4 金銭面で負担が かからないか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	22.0%	23.3%	18.5%	24.1%	0.0%
		ある程度あてはまる	35.6%	35.6%	33.9%	37.1%	100.0%
		あまりあてはまらない	28.2%	27.0%	30.6%	27.6%	0.0%
		あてはまらない	13.1%	12.9%	16.9%	9.5%	0.0%
		無回答	1.0%	1.2%	0.0%	1.7%	0.0%
		あてはまる(計)	57.7%	58.9%	52.4%	61.2%	100.0%
	あてはまらない(計)	41.3%	39.9%	47.6%	37.1%	0.0%	
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-5 授業についていけるか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	30.2%	26.4%	28.2%	37.1%	100.0%
		ある程度あてはまる	44.1%	49.7%	45.2%	35.3%	0.0%
		あまりあてはまらない	19.8%	20.9%	19.4%	19.0%	0.0%
		あてはまらない	5.4%	2.5%	7.3%	7.8%	0.0%
		無回答	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%
		あてはまる(計)	74.3%	76.1%	73.4%	72.4%	100.0%
	あてはまらない(計)	25.2%	23.3%	26.6%	26.7%	0.0%	
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-6 進級や卒業ができるか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	15.1%	12.3%	15.3%	18.1%	100.0%
		ある程度あてはまる	35.1%	37.4%	37.1%	30.2%	0.0%
		あまりあてはまらない	39.1%	43.6%	34.7%	37.9%	0.0%
		あてはまらない	9.9%	6.1%	12.1%	12.9%	0.0%
		無回答	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%	0.0%
		あてはまる(計)	50.2%	49.7%	52.4%	48.3%	100.0%
	あてはまらない(計)	49.0%	49.7%	46.8%	50.9%	0.0%	
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-7 将来の目標が見つかるか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	23.0%	22.7%	24.2%	21.6%	100.0%
		ある程度あてはまる	35.9%	39.9%	36.3%	30.2%	0.0%
		あまりあてはまらない	27.0%	24.5%	27.4%	30.2%	0.0%
		あてはまらない	13.1%	11.7%	11.3%	17.2%	0.0%
		無回答	1.0%	1.2%	0.8%	0.9%	0.0%
		あてはまる(計)	58.9%	62.6%	60.5%	51.7%	100.0%
	あてはまらない(計)	40.1%	36.2%	38.7%	47.4%	0.0%	
Ⅲ.(13)	不安心配ごと-8 卒業後ちゃんと就職できるか	総数	404	163	124	116	1
		あてはまる	28.0%	28.2%	31.5%	23.3%	100.0%
		ある程度あてはまる	44.8%	46.0%	44.4%	44.0%	0.0%
		あまりあてはまらない	18.3%	19.6%	13.7%	21.6%	0.0%
		あてはまらない	8.2%	5.5%	9.7%	10.3%	0.0%
		無回答	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%	0.0%
		あてはまる(計)	72.8%	74.2%	75.8%	67.2%	100.0%
	あてはまらない(計)	26.5%	25.2%	23.4%	31.9%	0.0%	
Ⅲ.(14)	期待する学生支援活動	総数	404	163	124	116	1
		経済的支援	25.2%	28.8%	20.2%	25.9%	0.0%
		生活相談	20.0%	22.7%	11.3%	25.9%	0.0%
		健康相談	13.1%	14.7%	12.1%	12.1%	0.0%
		心理相談	14.1%	14.7%	13.7%	13.8%	0.0%
		学習支援	62.1%	59.5%	66.1%	61.2%	100.0%
		進路相談	66.6%	68.1%	66.9%	63.8%	100.0%
		就職支援	79.2%	76.7%	78.2%	83.6%	100.0%
		課外活動支援	35.1%	35.6%	33.9%	36.2%	0.0%
		その他	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	特にない	2.0%	2.5%	1.6%	1.7%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅳ.(1)	大学卒業後の進路	総数	404	163	124	116	1
		民間企業に就職する	57.7%	63.8%	44.4%	62.9%	100.0%
		公務員になる	33.7%	38.0%	21.0%	40.5%	100.0%
		教師などの専門職につく	24.5%	32.5%	23.4%	14.7%	0.0%
		自営など、1から3以外の形で就職する	3.5%	5.5%	0.8%	3.4%	0.0%
		大学院などに進学する(海外含む)	49.0%	35.6%	71.0%	44.0%	100.0%
		その他	1.2%	2.5%	0.0%	0.9%	0.0%
		決めていない	12.9%	12.9%	13.7%	12.1%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅳ.(2)	大学卒業後のキャリア-1 すぐに就職して最初から正社員・ 正規の職員になる	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	41.8%	50.9%	26.6%	45.7%	0.0%
		ある程度思う	41.1%	41.7%	40.3%	40.5%	100.0%
		そう思わない	16.8%	6.7%	33.1%	13.8%	0.0%
		無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Ⅳ.(2)	大学卒業後のキャリア-2 すぐに就職するが、正社員・正規 の職員にこだわらない	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	1.5%	3.1%	0.8%	0.0%	0.0%
		ある程度思う	24.5%	33.1%	18.5%	19.0%	0.0%
		そう思わない	73.0%	62.0%	79.8%	81.0%	100.0%
		無回答	1.0%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%

付表 3

新入生調査 基礎集計表 (入学予定者)6/6

		総数	学部				
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答	
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-3 すぐに大学院などに進学する	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	24.8%	11.7%	43.5%	23.3%	0.0%
		ある程度思う	39.4%	37.4%	44.4%	36.2%	100.0%
		そう思わない	34.7%	49.1%	10.5%	40.5%	0.0%
		無回答	1.2%	1.8%	1.6%	0.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-4 就職してから大学院への進学を考える	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	1.0%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%
		ある程度思う	12.9%	10.4%	16.9%	12.1%	0.0%
		そう思わない	85.1%	85.9%	81.5%	87.9%	100.0%
		無回答	1.0%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-5 資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	2.2%	2.5%	1.6%	2.6%	0.0%
		ある程度思う	19.3%	21.5%	14.5%	21.6%	0.0%
		そう思わない	77.5%	74.2%	83.1%	75.9%	100.0%
		無回答	1.0%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-6 卒業後すぐには就職しなくてもよい	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	6.7%	3.7%	12.1%	5.2%	0.0%
		ある程度思う	22.3%	19.0%	22.6%	26.7%	0.0%
		そう思わない	69.6%	75.5%	63.7%	67.2%	100.0%
		無回答	1.5%	1.8%	1.6%	0.9%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-7 最初の就職先にできるだけ長く勤める	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	41.8%	43.6%	41.9%	39.7%	0.0%
		ある程度思う	44.8%	44.8%	42.7%	46.6%	100.0%
		そう思わない	12.6%	9.8%	15.3%	13.8%	0.0%
		無回答	0.7%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-8 何年かして転職や独立をする	総数	404	163	124	116	1
		そう思う	3.2%	6.7%	0.8%	0.9%	0.0%
		ある程度思う	31.9%	26.4%	33.9%	37.9%	0.0%
		そう思わない	63.1%	64.4%	63.7%	60.3%	100.0%
		無回答	1.7%	2.5%	1.6%	0.9%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-9 結婚・出産後も仕事を続ける (一般入試票のみ)	総数	341	130	106	104	1
		そう思う	54.0%	50.0%	56.6%	56.7%	0.0%
		ある程度思う	40.2%	42.3%	39.6%	37.5%	100.0%
		そう思わない	4.4%	4.6%	3.8%	4.8%	0.0%
		無回答	1.5%	3.1%	0.0%	1.0%	0.0%
IV.(2)	大学卒業後のキャリア-9 結婚・出産したら仕事をやめる (推薦入試票のみ)	総数	63	33	18	12	0
		そう思う	1.6%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		ある程度思う	17.5%	27.3%	5.6%	8.3%	0.0%
		そう思わない	81.0%	69.7%	94.4%	91.7%	0.0%
		無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
IV.(3)	就職や将来への親の関与-a 父親	総数	404	163	124	116	1
		まったく関与しない	4.7%	3.7%	6.5%	4.3%	0.0%
		あまり関与しない	25.2%	27.6%	24.2%	23.3%	0.0%
		どちらとも言えない	13.6%	16.0%	11.3%	12.9%	0.0%
		まあまあ関与する	43.6%	38.7%	44.4%	49.1%	100.0%
		非常に関与する	7.4%	6.7%	10.5%	5.2%	0.0%
		父親はいない	4.5%	6.1%	2.4%	4.3%	0.0%
無回答	1.0%	1.2%	0.8%	0.9%	0.0%		
IV.(3)	就職や将来への親の関与-b 母親	総数	404	163	124	116	1
		まったく関与しない	3.5%	4.3%	1.6%	4.3%	0.0%
		あまり関与しない	19.3%	23.3%	17.7%	15.5%	0.0%
		どちらとも言えない	10.1%	10.4%	11.3%	8.6%	0.0%
		まあまあ関与する	51.2%	49.7%	47.6%	57.8%	0.0%
		非常に関与する	14.1%	11.0%	20.2%	12.1%	0.0%
		母親はいない	0.7%	0.0%	0.8%	0.9%	100.0%
無回答	1.0%	1.2%	0.8%	0.9%	0.0%		
[データ活用の許可]	総数	404	163	124	116	1	
	はい	99.5%	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
[個人情報登録の許可]	総数	404	163	124	116	1	
	はい	97.3%	95.7%	98.4%	98.3%	100.0%	
	いいえ	2.2%	3.1%	1.6%	1.7%	0.0%	
	無回答	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
[受験番号]	総数	404	163	124	116	1	
	記入あり	99.8%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	
	記入なし	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	
[お茶大入試方法]	総数	404	163	124	116	1	
	一般	84.2%	79.8%	84.7%	89.7%	100.0%	
	推薦(帰国含む)・文教育学部	5.9%	14.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	推薦(帰国含む)・理学部	3.2%	0.0%	9.7%	0.9%	0.0%	
	推薦(帰国含む)・生活科学部	1.7%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	
	AO	4.5%	4.9%	5.6%	2.6%	0.0%	
	高校 不明	0.5% 0.0%	0.6% 0.0%	0.0% 0.0%	0.9% 0.0%	0.0% 0.0%	

		総数	学部				
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答	
(1) 家計を支えている人	総数	408	157	121	115	1	
	父親	91.4%	89.2%	92.6%	93.9%	100.0%	
	母親	11.0%	14.0%	9.9%	7.8%	0.0%	
	入学予定者本人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(2) 家計を支えている人の職業	総数	408	157	121	115	1	
	勤労者	88.7%	86.6%	87.6%	91.3%	100.0%	
	個人営業	4.7%	5.7%	5.0%	3.5%	0.0%	
	法人経営者、自由業者	4.9%	3.8%	6.6%	5.2%	0.0%	
	農林水産業者	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	働いていない	1.2%	2.5%	0.8%	0.0%	0.0%	
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
(3) 父親の職業	総数	408	157	121	115	1	
	フルタイム勤務	87.3%	84.1%	88.4%	90.4%	100.0%	
	パートタイム勤務	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	
	自営	5.9%	7.0%	5.8%	5.2%	0.0%	
	無職	1.0%	1.3%	0.8%	0.0%	0.0%	
	いない	5.1%	7.0%	3.3%	4.3%	0.0%	
	無回答	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	
(4) 父親の職種	該当者	356	132	107	104	1	
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	19.7%	22.0%	19.6%	19.2%	0.0%	
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	16.6%	12.9%	20.6%	17.3%	100.0%	
	管理職(会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など)	38.2%	38.6%	36.4%	37.5%	0.0%	
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	12.6%	13.6%	12.1%	12.5%	0.0%	
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	3.7%	4.5%	2.8%	1.9%	0.0%	
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	0.6%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	0.8%	0.8%	0.0%	1.9%	0.0%	
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	1.4%	0.8%	0.9%	2.9%	0.0%	
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.6%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	2.2%	0.8%	3.7%	1.9%	0.0%	
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木作業員など)	2.0%	1.5%	1.9%	2.9%	0.0%	
	その他	1.1%	1.5%	0.9%	1.0%	0.0%	
	無回答	0.6%	0.0%	0.9%	1.0%	0.0%	
	(5) 母親の職業	総数	408	157	121	115	1
		フルタイム勤務	27.9%	29.9%	31.4%	20.9%	0.0%
パートタイム勤務		37.3%	35.7%	31.4%	47.8%	0.0%	
自営		2.7%	2.5%	4.1%	0.9%	0.0%	
無職		28.4%	28.7%	28.9%	27.8%	0.0%	
いない		1.0%	0.6%	0.8%	0.0%	100.0%	
無回答		2.7%	2.5%	3.3%	2.6%	0.0%	
(6) 母親の職種	該当者	114	47	38	24	0	
	専門職(医師・弁護士・研究者・教師など)	41.2%	40.4%	36.8%	54.2%	0.0%	
	技術職(エンジニア・情報処理技術者など)	7.0%	6.4%	2.6%	8.3%	0.0%	
	管理職(会社・団体の役員・部課長・工場長・支店長など)	6.1%	6.4%	10.5%	0.0%	0.0%	
	事務職(庶務・人事・経理・調査・企画・秘書・受付など)	34.2%	36.2%	39.5%	25.0%	0.0%	
	営業職(セールスマン・生命保険外交員など)	1.8%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	販売職(デパート・スーパーの店員など)	2.6%	2.1%	2.6%	4.2%	0.0%	
	サービス職(美容師・調理師・客室乗務員・旅行添乗員など)	4.4%	6.4%	2.6%	4.2%	0.0%	
	保安職(警察官・消防士・警備員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	農林漁業職(農業従事者・家畜飼育者・植木職・漁船船員など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	運輸通信職(鉄道機関士・運転手・船舶や航空機の操縦士など)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	生産労務職(機械組立修理工・食料品製造工・土木作業員など)	0.9%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	
	その他	0.9%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	
	無回答	0.9%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	
	(7) 入学後の暮らし向き	総数	408	157	121	115	1
		ゆとりがない	16.9%	17.2%	14.9%	17.4%	100.0%
あまりゆとりがない		40.4%	43.9%	30.6%	46.1%	0.0%	
多少ゆとりがある		33.8%	34.4%	39.7%	27.8%	0.0%	
ゆとりがある		7.1%	4.5%	10.7%	7.0%	0.0%	
無回答		1.7%	0.0%	4.1%	1.7%	0.0%	
(8) 世帯年収	総数	408	157	121	115	1	
	400万円未満	7.4%	8.9%	6.6%	6.1%	0.0%	
	400万円以上600万円未満	8.6%	7.6%	8.3%	9.6%	0.0%	
	600万円以上800万円未満	15.0%	16.6%	12.4%	14.8%	100.0%	
	800万円以上1000万円未満	22.3%	21.7%	27.3%	19.1%	0.0%	
	1000万円以上1200万円未満	18.4%	21.7%	13.2%	20.0%	0.0%	
	1200万円以上1400万円未満	11.3%	8.3%	9.9%	16.5%	0.0%	
	1400万円以上1600万円未満	6.6%	8.3%	3.3%	7.0%	0.0%	
	1600万円以上1800万円未満	4.4%	2.5%	9.1%	1.7%	0.0%	
	1800万円以上	4.2%	2.5%	8.3%	2.6%	0.0%	
	無回答	2.0%	1.9%	1.7%	2.6%	0.0%	
(9) 家計を支えている人の年収	総数	408	157	121	115	1	
	400万円未満	10.3%	11.5%	9.1%	10.4%	0.0%	
	400万円以上600万円未満	10.8%	10.8%	9.1%	11.3%	0.0%	
	600万円以上800万円未満	21.3%	25.5%	19.0%	17.4%	100.0%	
	800万円以上1000万円未満	22.8%	22.9%	25.6%	20.9%	0.0%	
	1000万円以上1200万円未満	18.1%	15.3%	18.2%	21.7%	0.0%	
	1200万円以上1400万円未満	6.9%	5.7%	6.6%	8.7%	0.0%	
	1400万円以上1600万円未満	3.2%	3.2%	1.7%	4.3%	0.0%	
	1600万円以上1800万円未満	1.5%	0.6%	3.3%	0.9%	0.0%	
	1800万円以上	3.2%	2.5%	5.8%	1.7%	0.0%	
	無回答	2.0%	1.9%	1.7%	2.6%	0.0%	

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)2/4

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
(10) 仕送り額(万円)	総数	408	157	121	115	1
	仕送りはしない	52.7%	45.2%	65.3%	49.6%	100.0%
	5万円未満	5.4%	7.6%	3.3%	5.2%	0.0%
	5~7万円台	14.0%	15.9%	9.9%	17.4%	0.0%
	8~9万円台	3.2%	3.2%	2.5%	4.3%	0.0%
	10~12万円台	11.5%	11.5%	9.1%	12.2%	0.0%
	13~14万円台	2.9%	4.5%	2.5%	0.9%	0.0%
	15万円台以上	6.9%	8.9%	5.0%	5.2%	0.0%
	無回答	3.4%	3.2%	2.5%	5.2%	0.0%
(11) 授業料の負担予定	総数	408	157	121	115	1
	ほぼ全額を保護者が負担予定	87.7%	85.4%	92.6%	87.0%	100.0%
	一部をご子女本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	9.8%	12.1%	4.1%	11.3%	0.0%
	ほぼ全額をご子女本人が負担予定(奨学金、アルバイトなども含む)	2.2%	2.5%	2.5%	1.7%	0.0%
	無回答	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%
(12) 受けたことのある奨学金	総数	408	157	121	115	1
	日本学生支援機構の奨学金	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%
	地方公共団体の奨学金	2.0%	0.6%	1.7%	4.3%	0.0%
	学校独自の奨学金	2.0%	1.3%	2.5%	1.7%	0.0%
	民間奨学団体の奨学金	1.2%	1.9%	0.8%	0.9%	0.0%
	新聞社の奨学金	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の奨学金	0.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	学費免除	3.2%	4.5%	1.7%	3.5%	0.0%
	特待生	4.9%	5.1%	7.4%	2.6%	0.0%
	無回答	88.2%	86.0%	87.6%	91.3%	100.0%
(12) 奨学金の具体的名称-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	2	1	0	1	0
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-2 地方公共団体の奨学金	該当者	8	1	2	5	0
	記入あり	75.0%	100.0%	100.0%	60.0%	0.0%
	記入なし	25.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-3 学校独自の奨学金	該当者	8	2	3	2	0
	記入あり	87.5%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%
	記入なし	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	5	3	1	1	0
	記入あり	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0	0
	記入あり	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-6 その他の奨学金	該当者	3	3	0	0	0
	記入あり	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	記入なし	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-7 学費免除	該当者	13	7	2	4	0
	記入あり	76.9%	85.7%	50.0%	75.0%	0.0%
	記入なし	23.1%	14.3%	50.0%	25.0%	0.0%
(12) 奨学金の具体的名称-8 特待生	該当者	20	8	9	3	0
	記入あり	65.0%	75.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	記入なし	35.0%	25.0%	33.3%	66.7%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-1 日本学生支援機構の奨学金	該当者	2	1	0	1	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸与	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-2 地方公共団体の奨学金	該当者	8	1	2	5	0
	給与	75.0%	100.0%	50.0%	80.0%	0.0%
	貸与	12.5%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	両方	12.5%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-3 学校独自の奨学金	該当者	8	2	3	2	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-4 民間奨学団体の奨学金	該当者	5	3	1	1	0
	給与	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-5 新聞社の奨学金	該当者	0	0	0	0	0
	給与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金/給与・貸与-6 その他の奨学金	該当者	3	3	0	0	0
	給与	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
(12) 奨学金／給与・貸与-7 学費免除	該当者	13	7	2	4	0
	給与	92.3%	85.7%	100.0%	100.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	7.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
(12) 奨学金／給与・貸与-8 特待生	該当者	20	8	9	3	0
	給与	90.0%	75.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	貸与	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	両方	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	10.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(13) 奨学金の認知	総数	408	157	121	115	1
	日本学生支援機構(第一種奨学金)	63.7%	67.5%	61.2%	61.7%	0.0%
	日本学生支援機構(第二種奨学金)	59.6%	63.1%	58.7%	58.3%	0.0%
	日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	15.2%	17.2%	15.7%	13.0%	0.0%
	地方公共団体の奨学金	20.6%	26.1%	14.9%	20.0%	0.0%
	民間奨学団体の奨学金	20.8%	29.3%	16.5%	15.7%	0.0%
	みがかずば奨学金	36.5%	38.9%	30.6%	38.3%	0.0%
	桜蔭会奨学金(3年生向け)	9.1%	12.7%	9.1%	3.5%	0.0%
	育児支援奨学金	4.9%	6.4%	5.0%	2.6%	0.0%
	入学料免除制度	32.6%	38.2%	25.6%	32.2%	0.0%
	入学料徴収猶予制度	24.3%	29.3%	19.8%	20.9%	0.0%
	授業料免除制度	35.5%	43.3%	28.9%	31.3%	0.0%
	授業料徴収猶予制度	23.3%	28.7%	19.8%	18.3%	0.0%
	知っているものはない	17.9%	14.6%	19.0%	20.0%	100.0%
	無回答	3.9%	3.2%	4.1%	5.2%	0.0%
(14) 奨学金の希望	総数	408	157	121	115	1
	日本学生支援機構(第一種奨学金)	15.9%	20.4%	11.6%	13.9%	0.0%
	日本学生支援機構(第二種奨学金)	12.5%	12.1%	11.6%	13.0%	0.0%
	日本学生支援機構(緊急・応急採用奨学金)	1.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	地方公共団体の奨学金	5.4%	7.6%	3.3%	4.3%	0.0%
	民間奨学団体の奨学金	8.8%	11.5%	10.7%	4.3%	0.0%
	みがかずば奨学金	15.2%	17.8%	10.7%	15.7%	0.0%
	桜蔭会奨学金(3年生向け)	14.2%	17.8%	12.4%	11.3%	0.0%
	育児支援奨学金	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	入学料免除制度	2.9%	3.2%	4.1%	1.7%	0.0%
	入学料徴収猶予制度	1.5%	1.9%	1.7%	0.9%	0.0%
	授業料免除制度	9.6%	12.7%	8.3%	7.0%	0.0%
	授業料徴収猶予制度	2.2%	3.8%	1.7%	0.9%	0.0%
	希望するものはない	44.6%	40.8%	47.1%	47.8%	100.0%
	無回答	13.2%	12.1%	14.0%	13.9%	0.0%
(15) 知っている学生寮	総数	408	157	121	115	1
	国際学生宿舎	47.1%	58.0%	28.9%	49.6%	0.0%
	お茶大SCC	55.4%	61.1%	40.5%	60.0%	0.0%
	小石川寮(大学院生向け)	27.2%	31.2%	19.0%	29.6%	0.0%
	知らない	39.5%	31.8%	57.9%	33.9%	100.0%
無回答	2.7%	2.5%	0.8%	4.3%	0.0%	
(16) 入寮を希望する学生寮	総数	408	157	121	115	1
	国際学生宿舎	20.3%	26.1%	12.4%	22.6%	0.0%
	お茶大SCC	14.0%	15.9%	9.1%	16.5%	0.0%
	小石川寮(大学院生向け)	1.7%	1.3%	1.7%	2.6%	0.0%
	特になし	70.6%	66.9%	81.0%	65.2%	100.0%
無回答	5.1%	5.1%	4.1%	4.3%	0.0%	
(17) 受験から入学までに困ったこと	総数	408	157	121	115	1
	子どもの体調や精神面のこと	57.4%	61.8%	50.4%	62.6%	100.0%
	受験・入学のための費用準備	33.3%	33.8%	31.4%	35.7%	0.0%
	受験・入学手続きのスケジュールの管理	47.8%	52.9%	41.3%	50.4%	0.0%
	入学後の住まい探し	34.1%	39.5%	22.3%	36.5%	0.0%
	入学時に必要な生活用品や教材の準備	3.2%	3.2%	1.7%	3.5%	0.0%
	その他	2.9%	1.9%	4.1%	3.5%	0.0%
	特になし	2.9%	0.6%	3.3%	1.7%	0.0%
無回答	8.8%	5.7%	14.9%	7.0%	0.0%	
(18) 心配なこと	総数	408	157	121	115	1
	授業や単位	31.4%	30.6%	36.4%	27.0%	0.0%
	就職や将来	46.3%	52.2%	39.7%	46.1%	100.0%
	人間関係	45.6%	50.3%	41.3%	45.2%	0.0%
	生活・経済面	33.8%	33.8%	24.8%	42.6%	0.0%
	健康面	48.5%	52.9%	41.3%	51.3%	0.0%
	日常生活全般	36.0%	39.5%	33.1%	33.9%	0.0%
	その他	2.2%	1.9%	2.5%	2.6%	0.0%
	特になし	13.7%	11.5%	13.2%	16.5%	0.0%
無回答	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	
(19) 期待する学生支援活動	総数	408	157	121	115	1
	経済的支援	28.4%	34.4%	20.7%	28.7%	0.0%
	生活相談	26.2%	29.3%	21.5%	26.1%	0.0%
	健康相談	29.4%	32.5%	24.8%	29.6%	0.0%
	心理相談	30.6%	32.5%	26.4%	33.0%	0.0%
	学習支援	60.5%	64.3%	59.5%	55.7%	0.0%
	進路相談	76.7%	72.6%	78.5%	80.0%	100.0%
	就職支援	85.5%	86.6%	86.0%	84.3%	100.0%
	課外活動支援	25.0%	27.4%	26.4%	19.1%	0.0%
	その他	2.2%	2.5%	2.5%	0.9%	0.0%
	特になし	0.5%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
無回答	0.7%	1.3%	0.8%	0.0%	0.0%	

付表 4

新入生調査 基礎集計表 (保護者)4/4

		総数	学部			
			文教育学部	理学部	生活科学部	無回答
(20) 両親の最終学歴・父親	総数	408	157	121	115	1
	中学・高校	14.0%	14.6%	14.0%	12.2%	0.0%
	高専	1.7%	0.6%	2.5%	2.6%	0.0%
	専門学校・短大	4.7%	5.1%	3.3%	5.2%	0.0%
	大学	61.0%	59.9%	62.0%	60.9%	100.0%
	大学院	17.4%	17.8%	18.2%	17.4%	0.0%
	無回答	1.2%	1.9%	0.0%	1.7%	0.0%
(20) 両親の最終学歴・母親	総数	408	157	121	115	1
	中学・高校	12.0%	13.4%	8.3%	14.8%	0.0%
	高専	0.7%	0.0%	0.8%	1.7%	0.0%
	専門学校・短大	36.5%	38.2%	32.2%	38.3%	0.0%
	大学	46.3%	42.0%	54.5%	42.6%	100.0%
	大学院	4.2%	5.7%	4.1%	2.6%	0.0%
	無回答	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
[データ活用の許可]	総数	408	157	121	115	1
	はい	99.5%	99.4%	99.2%	100.0%	100.0%
	いいえ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%
[個人情報登録の許可]	総数	408	157	121	115	1
	はい	93.4%	94.9%	92.6%	93.0%	0.0%
	いいえ	5.9%	4.5%	6.6%	6.1%	100.0%
	無回答	0.7%	0.6%	0.8%	0.9%	0.0%
[受験番号]	総数	408	157	121	115	1
	記入あり	99.8%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%
	記入なし	0.2%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%
[お茶大入試方法]	総数	408	157	121	115	1
	一般	81.6%	80.9%	84.3%	89.6%	100.0%
	推薦(帰国含む)・文教育学部	7.8%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	推薦(帰国含む)・理学部	3.7%	0.0%	9.9%	0.9%	0.0%
	推薦(帰国含む)・生活科学部	2.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%
	AO	4.4%	5.1%	5.8%	2.6%	0.0%
	高校	0.5%	0.6%	0.0%	0.9%	0.0%
	不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
[回答者の続柄]	総数	408	157	121	115	1
	父親	25.2%	28.0%	20.7%	25.2%	100.0%
	母親	74.3%	71.3%	78.5%	74.8%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	無回答	0.5%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%